



沖縄県薬剤師会報

No.313. 2022(令和4年) 6・7・8月号



沖縄県薬剤師会

／目／次／

表 彰	令和4年度那覇市政功労者表彰（新垣秀子先生）…………… 長嶺勇作 （ 1 ）
	令和4年度日本薬剤師会有功賞受賞 …………… （ 2 ）
	新垣勝子先生、新垣秀子先生、大城輝子先生、神山朝喜先生、 仲尾次貞夫先生、 仲宗根重弘先生、仲村英和先生、屋宜信秀先生
第86回 総 会	第86回定時総会会長演述…………… 前濱朋子 （ 3 ）
	第86回定時総会概要報告…………… 大城喜仁 （ 7 ）
第86回総会資料	令和3年度会務並びに事業経過報告および令和3年度決算、その他議題資料…………… （ 14 ）
ぶれいくたいむ	茶のみ話「名護岳」「僕らのSDGs」…………… 池間記世・亀谷浩昌 （ 41 ）
薬 事 情 報	新型コロナウイルスワクチン専門電話相談事業報告 …………… 吉田典子 （ 42 ）
	新型コロナウイルスワクチン専門電話相談事業協力薬剤師寄稿文 …………… 北池律文、諸見里めぐみ、山内一姫、詫摩敏康 （ 44 ）
	パキロビッド薬物相互作用対策に関する研修会報告…………… 宮里威一郎 （ 47 ）
ぶれいくたいむ	茶のみ話「ブルース・リーな父」…………… 大城尚美 （ 49 ）
転 載 記 事	医療従事者の冥福祈る 医師会・薬剤師会が参拝…………… （ 49 ）
実 務 実 習	第76回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップin九州・福岡 …………… 松田絵里菜・宮里威一郎 （ 50 ）
学 薬 部 会	令和4年度学校薬剤師部会新人研修会 …………… 仲田里穂 （ 52 ）
	学薬だより…………… 知名博樹 （ 53 ）
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊…………… 大城喜仁 （ 54 ）
D I	薬事情報おきなわ No. 270 …………… 薬事情報センター （ 55 ）
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…………… （ 71 ）
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第55回 リュウキュウマツ…………… 狩俣イソ （ 72 ）
リレー随筆	私のやりがいや楽しみ…………… 喜友名朝史 （ 74 ）
薬連だより	第26回参議院議員通常選挙結果報告 「神谷まさゆき」当選しました！ … 前濱朋子 （ 76 ）
	参議院選挙を終えて…………… 神谷まさゆき （ 77 ）
	神谷さんの当選を祝して…………… 藤井基之 （ 78 ）
	「選挙」は、私たち一人ひとりのために …………… 本田顕子 （ 79 ）
	神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会…………… 大城喜仁 （ 80 ）
	令和4年度沖縄県薬剤師連盟評議員会 …………… 大城喜仁 （ 86 ）
	政幸だより～神谷まさゆき中央後援会総会開催・2年間ありがとうございました～ …………… 神谷まさゆき （ 88 ）
	オレンジ日記～国会議員としての励み・薬剤師の窓口として～…………… 本田顕子 （ 89 ）
	国会レポート～薬機法改正案の審議・令和4年度補正予算～ …………… 藤井基之 （ 90 ）
転 載 記 事	地方議員との交流の場、相次いで発足 渡嘉敷氏「薬剤師もウイングを広げて」… （ 91 ）
	古謝氏政策発表、「薬学部新設と創薬活性化」 薬剤師計4人、参院選に立候補へ … （ 92 ）
	国会閉幕で事実上の選挙戦へ突入 薬系候補予定者の合同集会も…………… （ 93 ）
	参院選公示、薬剤師候補も第一声 18日間の選挙戦スタート…………… （ 94 ）
	当選は「さまざまな課題」と「国民の期待」表れ 神谷氏、薬業界全体の支援に感謝 （ 95 ）

・ 表 紙

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

「オーストリアの薬局」 photo by 成川 玲子（有限会社 成和興産）

	神谷氏が初当選、「現場の声に向き合い仕事」 参院沖縄選挙区、薬剤師候補敗北…	(96)
	薬剤師不足解消に奨学金の返還補助 薬学部のない県で広がる取り組み……………	(97)
	沖縄県難病相談支援センター難病情報誌「アンビシャス」連載記事…………… 吉田典子	(98)
	軽い風邪症状「まず市販薬で対応を」沖縄県薬、重症化リスク低い療養者向けメッセージ	(100)
会 務 報 告	令和4年4月～7月分 ……………	(101)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告（令和4年4月～7月分） ……………	(105)
計 報	川武政子先生、新垣順子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。……………	(107)
会 員 作 品	誌上ギャラリー（裏表紙）について……………	(110)
編 集 後 記	……………	(110)
お 知 ら せ	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！	(51)
	会報原稿募集のご案内…………… 広報委員会	(75)
	Facebookをご覧ください！……………	(100)
	沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧ください！……………	(107)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について……………	(107)
	おきなわ事業者復活支援金……………	(108)

令和4年度 那覇市政功労者表彰



新垣 秀子 先生、おめでとうございます



城間那覇市長から表彰授与される新垣秀子先生



お孫さんと、仲良しの吉田久子先生（右から2人目）・太田節子先生（右）と一緒に記念撮影

令和4年度那覇市政功労者表彰が、去る5月20日（金）午後3時からパレット市民劇場において執り行われた。本会会員の新垣秀子先生が、城間幹子那覇市長より賞状を授与された。

新垣秀子先生は、昭和58年から学校薬剤師として複数の学校を担当し、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校環境衛生の改善に貢献。また、「薬の正しい使い方」「薬物乱用防止教室」などの講話を行い、児童らの健康教育にも力を注ぎ、那覇市の学校保健の向上に貢献された。

（文：事務局 長嶺勇作）

令和4年度 日本薬剤師会有功賞 受賞



おめでとうございます

新垣 勝子先生 新垣 秀子先生 大城 輝子先生
神山 朝喜先生 仲尾次 貞夫先生 仲宗根 重弘先生
仲村 英和先生 屋宜 信秀先生



寸法：縦195mm × 横145mm
本体：木製（背面にスタンド有り）
レリーフ：鉄製（金塗装）
プレート：アルミ製（レーザー加工印刷）

※授賞者の功績を称え誇りを維持し、より親しみを感じて頂ける形として、日本薬剤師会の組織・会員委員会で検討した結果、これまでの表彰状および記念品を令和4年度から「表彰盾」に変更することになった。

※例年、同賞の伝達授与を6月の定時総会懇親会もしくは熟年の集いにて執り行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、表彰盾は発送にて対応することになった。

第86回定時総会 会長演述

第85回沖縄県薬剤師会定時総会の開催に当たり、一言申し述べさせていただきます。

新型コロナウイルス感染に関しては、3回目の接種が進み、任意ではありますが5～11歳の接種も始まったところです。しかしながら、沖縄県での警戒レベルは、6月17日の時点では未だ感染流行期のレベル2であります。この現状を踏まえ、本会は医療団体として、本日の総会も先に実施された臨時総会と同様、完全対面での開催は困難と判断いたしました。そのような中、会場へご参集いただきました代議員の皆様には心より御礼を申し上げます。そして、本日webでの出席を余儀なくされた代議員の皆様におかれましては、総会に先立ち、書面表決や委任による議決をいただいております。ご理解いただきましたことに感謝申し上げます。

コロナ感染対策としましては、医療用抗原定性検査キットを使用した検査実施、キットの販売に加え、自宅等療養者に対する処方箋受付・調剤、配達に関しましては平日夜間、土日にかかわらず、迅速にご対応いただきました会員薬局におかれましては、誠に感謝申し上げます。

4月の改定でのリフィル処方箋の導入は、「対物から対人へ」「立地から機能へ」と厚生労働省が「薬局ビジョン」で目指す薬局像を後押ししているといわれています。これに関しましては、5月25日開催の日本薬剤師会都道府県代表者会議におきまして日本薬剤師会の山本会長が、「薬剤師に対する期待が大きい反面、扱いを間違えると信頼は一気に失墜する」と苦言を呈されたところです。規制改

革により調剤の外部委託が論じられるなど、調剤あつての対人業務というところを改めて肝に銘じていかなければならないのではないのでしょうか。

コロナ禍において、例外的とはいえ、2021年度の保険調剤の動向では、医薬分業率は75.6%（前年度比0.4ポイント低下）と発表されました。加えて、後発医薬品の供給調整により、その割合も伸び悩んでいるところです。

このような局面において、我々薬剤師の力になるのが薬剤師国会議員です。来る7月の参議院議員選挙の沖縄選挙区に、本会理事ともゆかりがあり、自身も薬剤師で本会会員でもある古謝げんた氏を擁立しています。神谷まさゆき氏へのご支援とともに、古謝げんた氏へも会員の皆様の強力なご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

本年3月の臨時総会においてご承認いただいた事業計画並びに事業に係る予算に従って、新たな年度の事業がスタートいたしました。本日の定時総会においては、昨年度の事業に係る決算について慎重なご審議をいただきますようお願い申し上げます。

また、令和4年度も役職員と共に頑張ってまいります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

令和4年6月19日
会長 前濱 朋子

<第86回定時総会次第>

- 物故会員への黙祷
- 開会の辞
- 議長・副議長登壇挨拶
(点呼・宣告)
- 日程説明
- 会長あいさつ
- 報告 第1号 令和3年度会務並びに事業経過報告
第2号 令和3年度会務並びに会計監査報告
- 議案 第1号 令和3年度決算承認の件
- 地区薬剤師会代表質問
順番：①那覇地区 ②中部地区 ③宮古地区 ④北部地区 ⑤八重山地区 ⑥南部地区
- 一般関連質問
- 採 決 (議案第1号の採決)
- 閉会の辞

司会 常務理事 宮 城 幸 枝

副 会 長 中 村 克 徳
議 長 知 念 大 輔
副 議 長 又 吉 智 賀 子
常務理事 佐 藤 雅 美
会 長 前 濱 朋 子
常務理事 盛 本 直 也
監 事 江 夏 京 子
理 事 川 満 直 紀

副会長 村 田 美智子

〔第86回定時総会スナップ写真〕



代議員席側



理事・監事席側

[第86回定時総会スナップ写真]



物故会員への黙祷



開会の辞
中村 克徳 副会長



議長：知念 大輔代議員（左） 副議長：又吉 智賀子代議員（右）



会長あいさつ
前濱 朋子 会長



日程説明
佐藤 雅美 常務理事



報告第1号
盛本 直也 常務理事



報告第2号
江夏 京子 監事



議案第1号
川満 直紀 副会長

[第86回定時総会スナップ写真]

< 地区薬剤師会代表質問 >



神谷 朝斗志 代議員
(那覇地区代表)



新垣 慶朗 代議員
(中部地区代表)



下地 仁 代議員
(宮古地区代表)



屋嘉比 康作 代議員
(北部地区代表)



新嵩 由香 代議員
(八重山地区代表)



姫野 耕一 理事
新型コロナウイルス関連
質問答弁



石川 恵市 理事
会営薬局関連質問答弁



西川 裕 常務理事
研修シラバス履修・医薬品
供給関連質問答弁



知名 博樹 理事
試験検査センター新規事業案
関連質問答弁



阿部 義則 理事
薬剤師確保対策・薬学部創設
関連質問答弁



司会
宮城 幸枝 常務理事



閉会の辞
村田 美智子 副会長

第86回総会

第86回定時総会概要報告

日時：令和4年6月19日（日）13:30～15:10

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

司会の宮城幸枝常務理事の進行で定時総会を開催する旨の案内が定刻の午後1時30分にアナウンスされ開会した。

コロナ禍における今回の開催の取り扱いについては、県外往来、海外渡航、感染者への濃厚接触、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、また、参加に際しては、マスク着用や手指消毒等の感染予防を心掛け、濃厚接触を避けていただくこととし、どうしても出席を避けたい、他事由により出席できない場合は、「書面による議決権行使」もしくは「議決権の代理行使」の提出による出席扱いとさせていただく旨の案内をした。「書面による議決権行使」にて賛成と提出した代議員が21名、「議決権の代理行使」を議長に委任すると提出した代議員が7名、現地参加している代議員は21名の計49名となっていることが述べられた。

開会挨拶の前に、物故会員8名（石川幸子氏、江口幸典氏、大城知也氏、神谷正秀氏、嘉陽マツエ氏、川武政子氏、松村喜子氏、宮内令子氏）の冥福を祈るため、起立黙祷した。

中村克徳副会長が、第86回定時総会の開会を告げた。

定款第15条の規定により、議長、副議長を選出。議長は南風原支部の知念大輔代議員、副議長に小禄支部の又吉智賀子代議員が選出された。佐藤雅美常務理事が、同会の日程及び議題の審議について説明し、前濱朋子会長が挨拶をした。

<報告第1号 令和3年度会務並びに事業経過報告>

盛本直也常務理事が、(1) 会員・薬局等の業態現況報告、(2) 会議等の開催状況、(3) 講演会・研修会等の開催状況、(4) 公的機関等の会議・公的活動、(5) 各種委員会等の開催状況、(6) 公的機関への協力、(7) 地区・支部活動について、配付資料に基づき端的に報告した。続けて、本会の令和3年度事業経過報告（沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動、地域医療提供体制対策、生涯学習、医療安全対策、医療保険、保健福祉、薬学生実務実習受入、災害支援対策、各部会活動、薬と健康の週間行事、日本薬剤師研修センター認定研修会の受講状況、試験検査センター事業、薬事情報センター事業）を、配布資料に基づき主な事項を具体的に報告した。

<報告第2号 令和3年度会務並びに会計監査報告>

江夏京子監事が、定款第26条に基づいて、令和4年5月13日に山里勇監事と共に行った一般社団法人沖縄薬剤師会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における会計及び業務の監査実施に基づく監査報告書（添付資料）を読み上げて監査報告とした。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為、又は法令、もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

<議案第1号 令和3年度決算承認の件>

川満直紀副会長より、概ね分かり易く纏められた比較正味財産増減計算書を基に、各事業部毎の数値を読み上げ、そのあと概要について説明した。

法人全体の合算で貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の大科目について順次説明し、公益事業にあたる実施事業等会計、共益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・会営薬局とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計について、順次説明した。

既に令和4年度も2ヶ月半経過したが、新型コロナウイルス感染拡大の状況は未だ落ち着かず、会営薬局医療センター前では、土日祝日の自宅・宿泊療養患者の対応が急増し、受付回数が2ヶ月連続で前年同月より大きく増加していることから、今年度も新型コロナウイルスの感染状況に左右されることが予想されると言い添えた。

休憩を挟み、再び議長と副議長が登壇して質疑応答の時間に入った。質疑応答は、前半に地区薬剤師会代表質問、後半に一般関連質問という構成である。地区薬剤師会代表質問の順番は去る4月の定例理事会にて地区代表理事によるクジ引きにより決定されたこと、1地区あたりの代表質問も去る4月の定例理事会で質疑応答を含め7分と決定したこと、また、時間超過で質問できなかった事項に関しては一般関連質問の際に質疑応答の時間を設けることを、議長が説明した。

代表質問は、5地区薬剤師会から選出された代議員が、

- ① 那覇地区薬剤師会（首里支部：神谷朝斗志代議員）
- ② 中部地区薬剤師会（宜野湾支部：新垣慶朗代議員）
- ③ 宮古地区薬剤師会（平良支部：下地仁代議員）
- ④ 北部地区薬剤師会（名護支部：屋嘉比康作代議員）
- ⑤ 八重山地区薬剤師会（石垣支部：新嵩由香代議員）

の順で行い、これらの質問に対し各担当理事が順次答弁した。

地区薬剤師会代表質問

<那覇地区薬剤師会>

神谷朝斗志代議員 質問①

県内大学の薬学部設立へ向けての動きは報告資料で分かった。資料に無い情報、今後の具体的なスケジュール、目標を聞きたい。

前濱朋子会長 答弁

沖縄県においては、令和2年度から令和3年度にかけて、県内国公立大学への薬学部設置の必要性、可能性等について調査を実施しており、県内国公立大学へのヒアリング等の結果から、県内

国公立大学への薬学部設置の必要性等が確認されたところである。

本会としても、沖縄県の同事業の検討委員会の委員として、会長である私と中村副会長が参加し、本県の薬剤師が置かれている現状等について意見を述べ、沖縄県の施策に反映しているところである。

また、沖縄県は、今年度から「県内国公立大学薬学部設置推進事業」を立ち上げ、大学関係者も参加する協議会を新たに設置し、県内国公立大学への薬学部設置に向けた基本方針を策定するとともに、薬学部設置に向けた県民等の機運を醸成するため、シンポジウム等を開催するとしている。本会としても、同協議会の委員として沖縄県の取り組みに参画するとともに、引き続き、沖縄県と連携して薬学部設置の早期実現に向けて取り組んでいく。

神谷朝斗志代議員 質問②

会営薬局うえはらの移転は間に合うのか。具体的な場所、薬局の機能の詳細について聞きたい。

前濱朋子会長 答弁

会営薬局うえはらの移転検討については、令和3年2月13日開催の令和2年度第11回理事会において敷地内には移転しないということが理事会で決議された。

敷地外、門前薬局としての移転については、普天間基地跡地の青写真が公表されたところで、敷地の確保はできていない。

移転後の現病院の跡地利用についても確定した情報は得られていない。

薬局機能については、移転にかかわらず、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局を目指す。

以上をふまえ、現段階での可能性として、1. 琉球大学病院跡地の利用情報によっては、現在の場所で運営を続ける。2. 普天間基地跡地の新琉球大学病院の敷地外に係る土地へ移転することが上げられる。但し、2点目の敷地外移転に関しては、慎重に進めるべきだと考える。

これらについて、会営薬局移転推進特別委員会において、最善の方法を模索していく。

<中部地区薬剤師会>

新垣慶朗代議員 質問①

新型コロナウイルスワクチン接種業務への薬剤師派遣について、活動内容、クレームも含めた評価内容、反省及び今後の対応等を聞きたい。

姫野耕一理事 答弁

令和2年4月に初めて沖縄県より小規模離島におけるワクチン接種業務への薬剤師の派遣依頼があった。6月からは沖縄県広域ワクチン接種センター及び那覇市高齢者施設巡回接種について派遣依頼もあり、沖縄県病院薬剤師会にも協力いただき、令和4年2月までに延べ782名の派遣を行った。

充填業務へ多くの薬剤師が協力し、派遣依頼のあった分に関して全ての日程で滞りなく薬剤師を派遣することができた。事業目的であるワクチン接種を円滑かつ効果的に進める事については会員の協力により達成できたと評価している。

充填ブースでは、他職種も一緒になって業務する事もあるため、連携して業務を行うよう周知徹底を行う事が必要であると感じた。また、派遣薬剤師から手技やワクチンの分注量、他職種との連携に関する相談等が寄せられ、随時、メールでの声掛けや、調製時の注意点を作成して周知を行った。

今後の対応については、派遣体制が整備されたことから、沖縄県及び各市町村から依頼があつ

た際は、派遣上の留意点等について周知したうえで対応する。

新垣慶朗代議員 質問②

新型コロナウイルス対応薬局について、土・日・祝祭日の医療機関からの対応要請依頼に偏りが出ている。他地区薬剤師会の薬局は、どのように対応しているか。

姫野耕一理事 答弁

他地区薬剤師会の状況を確認したところ、新型コロナウイルス対応薬局について、対応依頼に偏りが出ているなどの声は上がっておらず、地区薬剤師会が介入することもほとんど無い。各薬局に任せているという回答であった。

南部地域や那覇地区薬剤師会は、平日を会員薬局で対応し、夜間休日は会営薬局医療センター前にて医療機関からの要請に対応しているとのことである。宮古地区薬剤師会では、対応薬局を含めた会員同士がLINEのグループを作って連携して対応できているとのことである。

これまでは、本会にて対応薬局リストを作成し沖縄県と各地区医師会に提供して活用していたが、今後は本会ホームページに開示したリストをもとに、地域や近隣の薬局が個別に連携する体制を整えてもらうのが一つの対応策と考える。

<宮古地区薬剤師会>

下地仁代議員 質問①

一人薬剤師の薬局がコロナに感染した場合、沖縄県薬剤師会より薬剤師を応援として派遣することは可能か。

石川恵市理事 答弁

新型コロナウイルスに感染した場合と限定されており、通常は休業のうえ消毒することになっているため、その後の応援薬剤師の派遣は可能かということと思われる。これまでも陽性者が出た薬局の休業はあるが、薬剤師の派遣はしていない。来局する患者のためにも、地域内で営業している薬局に案内できるような体制を整備する等の、地域における薬局間の協力・連携体制の構築をしていただきたい。

ちなみに、会営薬局うえはらの正職薬剤師が2名退職し、現時点の正職薬剤師は会営薬局うえはらが2名、会営薬局とよみが3名およびパート薬剤師でシフトを調整しながら運営しており、現状では会営薬局から応援薬剤師を派遣するのは厳しい状況である。

下地仁代議員 質問②

コロナ禍での研修シラバス履修については、地区薬剤師会で講習会開催が困難な場合、沖縄県薬剤師会、他地区薬剤師会で開催された講習会へ各自WEB参加することで研修項目を履修した事と認めるとの返答を昨年の総会で得たが、講習会のライブ配信では時間的に参加が難しい場合がある。確実に研修を履修するために、講習会を録画して沖縄県薬剤師会ホームページからビデオ配信することはできないか。

西川裕常務理事 答弁

本会ホームページに研修会録画データの掲載および閲覧は可能である。しかし、日本薬剤師研

修センター・薬剤師研修認定電子システム（PECS）は、録画データの視聴による認定研修単位の付与は対象外としていることを、まずは認識していただきたい。

ちなみに、研修シラバスは、国が2025年までに構築する地域包括ケアシステムにおいて、薬剤師が地域の多職種との連携に係る実践的な職能・資質の向上のための、日本薬剤師会が策定した指針であるため、先に述べた日本薬剤師研修センター・PECSの認定研修単位の付与とは関連していない。

しかし、地域包括ケアシステムに係る患者のための薬局ビジョンにおける薬剤師職能・資質の向上のためにも研修シラバスの各科目を履修することは望ましく、ぜひ、履修した研修シラバスをJPALSの学習記録である実践記録（ポートフォリオ）に蓄積し、JPALS認定薬剤師を目指していただきたい。

会員の生涯学習を推進するために、今後web開催の研修会は増加するものと考えており、現在も、診療報酬改定時における研修会はYouTubeにて配信している。去る6月の理事会において、今後は地区薬剤師会にて開催された研修会で、かつ講師の許可を得たものに関しては、期間を限定して本会ホームページ上にてビデオ配信していくことにした。地区薬剤師会においては、本会へ研修会コンテンツを提供していただき、活用に向けて地区薬剤師会会員に周知していただきたい。

下地仁代議員 質問③

試験検査センターを活用して「PCR事業」を展開し、沖縄県薬剤師会の収益事業に繋げることはできないか。

知名博樹理事 答弁

試験検査センターでPCR検査を行い、そのまま試験検査センターで遺伝子検査まで行う場合、衛生検査所としての登録、管理者（臨床検査技師、衛生検査技師、または医師）の設置が必要で、さらに、サンプルから遺伝子解析する機器の設備導入が必要である。また、民間の検査機関からPCR検査のみを受託するとした場合（試験検査センターでPCR検査だけを行い、遺伝子検査・判定は検査機関が行う）においても、検査予約から検査後の対応までの一連の体制（予約方法、検査場所の確保、サンプルの保管や運搬、検査に携わる人員、検査後の連絡方法、県・医療機関との連携、検査費用の徴収「現金の取扱・公費・自費」）を整える必要がある。

すでに多数の検査施設がある中で、検査機関との受託契約や検査体制を1から構築しスタートさせるには事業性・採算性は低いと判断し、試験検査センターにおけるPCR事業展開は難しいと考える。

下地仁代議員 質問④

会員数の少ない地区薬剤師会では、事務員を雇い、事務局を持つことができず、これが地区薬剤師会の活動や人事に影響している。離島地区を含め、会員数が少なく事務局を持つことができない地区薬剤師会を統合して、沖縄県薬剤師会事務局内に新たに担当事務局を設けることはできないか。

前濱朋子会長 答弁

現在、法人格として事務所を構えている地区薬剤師会が那覇地区薬剤師会と北部地区薬剤師会、任意団体として中部地区薬剤師会が事務所を構えていると把握している。

過去に、薬物乱用防止協会から同様の申し入れがあったが、担当者不在の際の対応、施設利用

費などが解決できず、見送られた経緯がある。

今回、地区薬剤師会が考えておられる業務内容等を改めて聞き取り、地区薬剤師会間で解決できないか等、話し合いをしていきたい。

日本薬剤師会や他都道府県薬剤師会における三層構造（地区薬剤師会、都道府県薬剤師会、日本薬剤師会）を見据え、先に開催された那覇地区薬剤師会総会における個人会費徴収が検討されているところでもあり、地区薬剤師会と本会の位置づけも含めて、今年度の検討課題としたい。

＜北部地区薬剤師会＞

屋嘉比康作代議員 質問

2018年に県内薬学部設置の署名活動で集まった10万筆を受けて沖縄県も動き出しはいるが、現在の進捗状況では薬学部が出来て卒業生が輩出されるまで10年以上かかると思われる。

北部地区において、北部地区薬剤師会会営薬局の薬剤師は定数を大きく下回り、会員薬局へ派遣する事ができていないため、薬剤師確保に至らず閉局する薬局もある。さらに、近隣病院から薬剤師派遣要請も多く、対応できないのが現状であり、薬剤師確保が大変困難な状態が続いている。

薬学部設置から卒業生が輩出されるまでの間、薬剤師不足解消のため、沖縄県薬剤師会としての取り組みや、人口10万人対の薬剤師数全国最下位脱出のためのロードマップを聞きたい。

阿部義則理事 答弁

県内の慢性的な薬剤師不足を解消するためには、中長期的な取り組みとして薬学部設置に取り組むことに加え、他の短期的な施策と合わせて取り組むことが重要であると考えている。

沖縄県においては、県内で勤務する薬剤師を確保するため、平成26年度から全国の薬科大学等で、就職斡旋等の説明会を実施するとともに、県内で就業する薬剤師の増加・定着を図るため、平成30年度から県内での就業を条件として奨学金返還額の一部として、年36万円を最長2年間補助しており、本会においても沖縄県の事業に協力して取り組んでいるところである。

また、日本薬剤師会においては、全国の薬剤師の需給バランスの偏り、中でも慢性的に薬剤師不足となっている地域への送出策として、同地域出身の薬学生へのUターンの啓発を大学に行うよう求めている。現在、数カ所の大学から本会にアプローチがあることから、今年度の新たな薬剤師確保対策事業の一つとしてこのUターン策に申出のある大学側と取り組んでいく。

現在実施しているこれらの薬剤師確保対策の継続及び更なる薬剤師確保対策の拡充について、引き続き沖縄県、大学と連携して取り組んでいくことで、将来的には最下位脱出が図れるものと考えている。

＜八重山地区薬剤師会＞

新嵩由香代議員 質問

医薬品の流通に対する混乱が生じてから1年以上経過したが、なかなか改善の兆しが見られない。

医薬品の供給制限により薬局が困っている現状に対し、これまでの間どのような対応をしていたのか。今後、国の関係省庁や製薬メーカーなどの関係機関等への働きかけをどのようにしていくのか。

また、この状況下において、会営薬局が出荷調整を理由に会員からの小分けを断った事があるのか。

西川裕常務理事 答弁

医薬品流通に関する問題が長期化し、医薬品への信頼が失われ、会員には大変な混乱や不安が生じていると認識している。問題の深刻化が進むにつれて、メディアでも取り上げられるようになり、国民、一般の方にもある程度周知されてきた現状もある。

去る3月5日開催の日本薬剤師会第99回臨時総会においても、医薬品の安定供給に関して一つの見解が示されたので紹介したい。「医薬品が入らないイコール調剤ができないということではなく、継続的な薬物療法を進める上で、処方医に対し代替薬等の提案もできる。そこはできる限り、しっかり対応していただきたい。(有澤常務理事答弁抜粋)」

これを踏まえ、本会としても日本薬剤師会に足並みを揃え、今一度、国の関係省庁や製薬メーカーなど関係機関等へ働きかけるとともに、医薬品を使用する患者への安全・安心に対する信頼回復に向けて、地区薬剤師会や会員薬局とともに解決していきたい。

会営薬局での小分け対応については、医薬品の出荷調整により混乱している状況の中、現場での供給制限医薬品が欠品しない範囲で小分けの対応を行っている。小分け対応を断った事例は、錠数の多い小分け（100錠単位）に関して、一度断ったことがある。

一般関連質問

一般関連質問の時間に入った。同時間は前述の議題及び地区薬剤師会代表質問に関連する質疑応答の時間として設けられている。

議長が、代議員へ質疑を促したが、特に無かったため、一般関連質問を終了した。

<採決（議案第1号）>

議長が、議案第1号について、賛成の挙手による承認を求めた。

議案第1号、令和3年決算承認の件について、全員賛成で承認された。

議題を滞りなく進行した議長と副議長が降壇し、進行を司会に移した。

最後に、村田美智子副会長が、前濱会長が就任して初めての定時総会に参集いただいたこと、議題となった報告事項2件と議案事項1件について承認いただいたこと、また各地区薬剤師会からいただいた質問内容が本会と共通認識を持つことができたこと等についてお礼を述べたうえで、「先達の地道な活動により医薬分業がスタートしたが、当初は医療施設経営の医師による薬局経営がほとんどで、第2薬局と呼ばれていた。それが50余年の時を経て今では薬局もコンビニよりも多いと言われるまでになった。しかしながらこの50余年の間、私達薬剤師は国民の負に答えられる機能を果たしてきたであろうか。国は薬剤師、薬局の在り方について怒涛の如く求めてきている。これまでのような在り方では薬剤師職を失うのではないかという危機感すら感じる。本会は会員に開かれた会として多種多様な課題を今後も会員の声に耳を傾けていく。」と、更なる会発展のために尽力することを述べ、閉会した。

(報告：事務局 大城 喜仁)

第86回総会資料

<報告第1号 令和3年度会務並びに事業経過報告>

令和3年度 会員・薬局等の業態現況報告

(1) 会 員 数

令和4年3月末現在

① 正 会 員	1,224 人	(A会員 584人、B会員 572人、C会員18人、特別会員A 9人、特別会員B 29人、特別会員C 12人)
(内 訳)	【前年度比較】総会員数 19人減 (A会員8人減、B会員4人減、C会員2人減、特別会員A2人減、特別会員B5人増、特別会員C8人減)	
名 誉 会 員	2 人	新垣正次、長嶺義仁
薬 局 開 設 者	178 人	
一 般 販 売 業	30 人	
卸 勤 務 薬 剤 師	27 人	
勤 務 薬 剤 師	828 人	薬局(766)、病院(61)、製輸(1)
そ の 他	159 人	行政(18)、教研(2)、他職勤務者(20)、無職(107)、学生 (12)
② 賛 助 会 員 A	32 人	
合 計	1,256 人	① (1,224人) + ② (32人)

(2) 薬局開設者等（前年度との比較）

令和4年3月末現在

	令和2年度	令和3年度	増 減
薬 局 開 設 者	180 人	178 人	-2 人
一 般 販 売 業	30 人	30 人	0 人
卸 売 一 般 販 売 業	28 人	27 人	-1 人
勤 務 薬 剤 師	829 人	829 人	0 人
保 険 薬 剤 師	1081 人	1072 人	-9 人
そ の 他	174 人	159 人	-15 人

(3) 保険薬局等（前年度との比較）

令和4年3月末現在

	令和2年度	令和3年度	増 減
保 険 薬 局	551 軒	549 軒	-2 軒
処 方 箋 応 需 薬 局	546 軒	544 軒	-2 軒

第86回総会資料

令和3年度事業経過報告

1. 沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動

令和2年度までの「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設を求めるための活動（以下、本活動）」の経緯は次のとおりである。

平成29年12月の理事会で本活動をする事が決議され、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会から連名での同署名活動の賛同を得て平成30年1月から開始し、一般県民を始め、県内の大手・中小企業、経営者協会、幼小中高、PTA連合会、各自治体・自治会、各種団体等に対して署名の協力依頼を平成30年4月27日まで行った。地元紙へ薬学部県内設置の必要性を訴えた投稿に加え、本会の署名活動がマスコミ等に取り上げられると、署名活動の趣旨に理解いただいた県民から応援と協力が多く寄せられた。

平成30年4月10日には沖縄県庁記者会見室にて三師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会）会長が「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて」共同記者会見を行い、署名数は目標の5万筆を超えて10万筆を集めた。平成30年6月13日には琉球大学本館第一会議室にて四師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会、看護協会）で、琉球大学への薬学部創設を求める署名10万1,660筆をマスコミ各社が同席する中、琉球大学学長に要請書とともに提出した。平成30年7月13日時点で署名は10万2,876筆となった。

その後も、本会は、沖縄県（砂川靖沖縄県保健医療部長、他）と琉球大学本部（西田睦琉球大学学長）を表敬訪問。また、名桜大学本部（高良文雄理事長・山里勝己学長）へも表敬訪問し、本活動への現状報告も兼ねて説明を行った。

亀谷浩昌前会長は、沖縄県の主要会議の委員となって本活動を次のように推進した。第68回沖縄県振興審議会にて委員に委嘱され、これを機に、沖縄県振興審議会の各部会において本活動に関する提案や要請をした。また、沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）へ「県内国公立大学での薬剤師養成に向けた取組を強化する必要がある。」と本文へ追加するよう要請した。

令和2年2月、玉城デニー沖縄県知事が編成した2020年度沖縄県予算案の保健医療分野に、「薬剤師不足の解消に向け、県内大学への薬学部設置の可能性などを調査する事業に1,191万円」と記載される。また、同年2月の玉城デニー沖縄県知事の所信表明における令和2年度の沖縄県施策の概要に、「薬剤師確保については、薬剤師の需給予測及び県内国公立薬学部設置の可能性等について調査していく。」と記載された。同年7月には、沖縄県が「令和2年度薬学部設置可能性等調査業務」として、沖縄県内の保険薬局管理薬剤師と病院薬局長宛に「薬剤師の確保等に関するアンケート調査」「20歳代薬剤師アンケート調査」が実施され、「薬剤師不足の状況を踏まえた薬剤師養成の基盤としての薬学部の必要性は高い。」「経済的な理由等から薬学部進学を断念した学生が一定数いること、また、県外大学の沖縄県出身の薬学生の多くが沖縄県内での就職を希望していることが確認され、県内に国公立の薬学部を設置する意義は大きい。」との結果、見解が示された。

同時に政治分野へのアプローチも継続した。令和2年9月の第6回理事会にて、自由民主党一日政調会へ「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望について」を再提出することが決議された。同年11月に沖縄県議会議長および沖縄県議会自由民主党会派長に沖縄県内国公立

大学への薬学部（科）創設および薬剤師確保に関する陳情を改めて提出。令和3年2月には自民党沖縄振興調査会（会長は小渕優子議員）の幹事長である西銘恒三郎衆議院議員と別日に宮崎政久衆議院議員にそれぞれ面会し、沖縄県の「新たな沖縄振興のための制度提言」中間報告の保健医療分野の薬剤師確保対策制度に、「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する」「設置する薬学部（科）に対し、地域枠入学試験制度の導入を義務付ける」「薬剤師法第19条に規定する調剤の業務について規制を緩和する※」が新規提言されていることを伝える（※規制緩和の内容:県内国公立大学に薬学部が設置され、県内において薬剤師が充足されるまでの間、沖縄県全域に薬剤師が派遣できるよう規制を緩和。:沖縄らしいSDGsの優先仮題）。同年 2月28日に本会館において自由民主党沖縄県選挙区支部長（國場幸之助第1選挙区支部長、宮崎政久第2選挙区支部長、島尻安伊子第3選挙区支部長、西銘恒三郎第4選挙区支部長）との意見交換会を開催。政府が地方大学の魅力向上策、若者の地元定着を促すため地方国立大学の定員を2022年度以降に増員することを目指し、地方創世の総合戦略に反映する計画があることを受け、これまでの「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望」の文面に、新たに当該事項を盛り込み、沖縄県議会に提出したことを報告。さらに、沖縄県の沖縄振興計画骨子の「薬剤師の育成」「薬剤師の確保」分野に対し、新たに「薬剤師確保対策制度」を盛り込む旨の提言が、沖縄県から政府への「新たな沖縄振興のための制度提言」中間報告に記載され、その制度の内容が「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する」「地域枠入学試験制度の導入を義務付ける」等が謳われていることを報告。今後も同件の提示・要請や県内国公立大学へのヒアリング等、引き続き、薬学部（科）創設の要望を推し進めていく本会の本活動への指導、協力を要請した。

令和3年度における本活動は下記のとおりである。

令和3年6月9日（水） 沖縄ハーバービューホテル

第70回沖縄県振興審議会にて、亀谷会長が、配布資料の「安全・安心で幸福が実感できる島の形成 誰一人取り残すことのない社会」の掲載について、「沖縄県は人口10万人比で薬剤師が全国で一番少ない県で、離島はさらに少ない。国は2025年の地域包括ケアシステムの完成に向けて、住民が住み慣れた地域で健康で生涯を終えられるように進めている。これを達成するためにも、薬剤師は全国最低を脱するべきではないか。また、産業振興に関しても、沖縄県の亜熱帯気候を生かしての海洋資源や農産物資源から医薬品産業の創生につなげることが考えられ、農業振興や当然人づくりにも関係していく。今、沖縄県内に薬学部が無いために多額で県外の薬学部に進学させているが、卒後に薬剤師になっても戻って来ない現状である。特に、年寄りや孫と一緒に暮らせたくないような現代の島チャビ(離島苦)を味わっている。この現状を解消できるのではないか、大きな広がり期待できる。幸い県民から10万筆以上の沖縄県内の国公立大学に薬学部（科）の設立要請を受け、玉城沖縄県知事も設立に尽力すると明言しているので、進めていただきたい。」と発言した。

令和3年6月20日（日） 沖縄県薬剤師会館

沖縄県薬剤師会第84回定時総会において、代議員から、「去る6月2日付け地元紙に沖縄県内国公立大学への薬学部（科）設置の可能性や必要性を探る沖縄県の令和2年度調査が紹介されていたが、沖縄県薬剤師会としての今後の展望や手応えはどうか。」と問われ、亀谷会長が、「令和4年度から令和13年度の今後10年間の沖縄振興計画の素案に“県内国公立薬学部設置など、総合的

な薬剤師確保に取り組む”と記載されている。また、沖縄県による沖縄県内薬学部創設に関する調査結果が、沖縄県内薬学部設置の必要有りとなった。加えて、政府の地方創生政策によって、これまで無理と言われていた琉球大学の定員増の可能性が開けた。薬剤師会が先頭に立って薬学部設置運動に取り組んできた成果と考えている。今後は、沖縄県や琉球大学が主体性をもって誘致活動に入るように働きかけることが重要との認識をもって活動していく。」と答弁した。

令和3年6月30日（水） 琉球大学本部

前濱朋子新会長就任挨拶を兼ねた現況報告を行った。

出席者は、琉球大学からは、西田睦学長、大屋祐輔理事・副学長（病院長）、筒井正人医学部長。本会から、前濱朋子会長、中村克徳副会長、佐藤雅美常務理事、大城喜仁事務局次長。

令和3年7月14日（水） WEB会議

沖縄県振興審議会 令和3年度第1回福祉保健部会にて、前濱朋子会長が、「令和2年度に実施された沖縄県の調査で、県内の高校生及び保護者、県外の薬学生へのアンケート調査結果から、県内の国公立大学を設置することが望ましいと報告されている。本会は、県医師会、県歯科医師会、県看護協会と連名で県内国公立大学への薬学部設置についての署名活動を行い、約10万筆の署名を集め、琉球大学へ提出している。また、琉球大学、名桜大学と薬学部設置について意見交換を行っているが、様々な課題はあるものの、前向きに検討頂いており、両大学とも、薬学部の設置には、大学単独で行うことは難しく、県の支援が必要との意見を頂いている。県において、県内国公立大学への薬学部設置に関する財政支援制度の創設を提言されていることについては聞いているが、是非、制度創設を実現して頂き、新たな沖縄振興計画の10年間の間に県内国公立大学に薬学部が設置されるよう取り組んで頂くよう要望する。」と要請した。

令和3年9月15日（水） 琉球大学医学部基礎研究棟

地方創生施策に示された地方国立大学の定員増に係る申請内容についての情報交換を行った。

琉球大学医学部から、筒井正人医学部長、岸本英博副医学部長・教授、中尾浩史分子遺伝学講座教授、清水千草分子解剖学講座准教授、山下弘高薬理学講座准教授。本会から、前濱朋子会長、佐藤雅美常務理事、大城喜仁事務局次長が参加した。

令和3年9月17日（金） 沖縄県議会

新垣淑豊沖縄県議会議員が、薬学部設置の必要性及び具体的な取組みについて質問した。

この質問に対し大城玲子沖縄県保健医療部長が、「令和2年度に実施した薬学部設置可能性等調査事業では、今後も県内の薬剤師の需要量が供給量を上回る状況で推移すること、また、アンケート調査等の結果から、沖縄県内国公立大学への薬学部設置の必要性が高いこと等が確認されたところであり、令和3年度は、沖縄県内国公立大学に薬学部を設置する場合の課題等について整理しているところである。」と答弁した。

令和3年10月25日（月） 琉球大学本部棟

コロナ禍の影響で滞っていた大城玲子沖縄県保健医療部長が就任して最初の、沖縄県、琉球大学、沖縄県薬剤師会の3者による意見交換会を開催した。

出席者は、沖縄県から、大城玲子保健医療部長、池間博則衛生薬務課専門監、津波昭史衛生薬

務課主幹。琉球大学からは、西田睦学長、大城功理事・副学長、大屋祐輔理事・副学長（病院長）、筒井正人医学部長、平良喜彦総合企画戦略部経営戦略課長。本会から、前濱朋子会長、佐藤雅美常務理事、大城喜仁事務局次長。

令和3年11月2日（火） 名桜大学本部棟

コロナ禍の影響で滞っていた大城玲子沖縄県保健医療部長が就任して最初の、沖縄県、名桜大学、沖縄県薬剤師会の3者による意見交換会を開催した。

出席者は、沖縄県から、大城玲子保健医療部長、池間博則衛生薬務課専門監、津波昭史衛生薬務課主幹。名桜大学からは、高良文雄理事長、砂川昌範学長、山城耕政事務局長、金城正英学長補佐（法人企画戦略担当・総務企画部特任参与）、荻堂盛淳総務企画部部長、上間久雄総務企画部課長。本会から、前濱朋子会長、大城喜仁事務局次長。北部地区薬剤師会の屋嘉比康太事務局長も出席した。

令和3年12月2日（木） 沖縄県議会

ていーだ平和ネットの山里将雄議員が薬学部設置可能性等調査業務報告書について質問（調査の目的、内容、課題及び県内国公立大学の状況について）し、玉城デニー知事が次のとおり答弁。「沖縄県としては、地域医療の推進や創薬に関する基礎研究の支援等の観点から、薬剤師の確保に努めることは、重要であると考えている。本県の人口10万人あたりの薬剤師数が全国最下位であることから、薬剤師不足の解消のため、県内国公立大学への薬学部設置の必要性等を整理することを目的として、調査を実施したところである。令和2年度の調査では、今後も県内の薬剤師の需要量が供給量を上回る状況で推移すること、また、アンケート調査等の結果から、県内国公立大学への薬学部設置の必要性が高いこと等が確認されている。今後の課題としては、教員等の人材確保、定員の調整、施設整備等が考えられるが、薬学部設置の可能性等を整理するため、現在、琉球大学や名桜大学等との意見交換を行っているところである。県内国公立大学への薬学部設置を早期に実現するため、今後も取組を推進していく。」

令和3年12月5日（日） タイムスビル 5階 第3会議室

沖縄県 第1回 薬学部設置可能性等調査事業検討委員会が開催される。令和2年度の調査結果（薬剤師不足の状況、高校生・薬学生アンケートの結果等）も踏まえて、県内国公立大学への薬学部設置の必要性について意見交換。

同委員会の委員構成は、本会の前濱会長の他に、太田 茂（公立大学法人和歌山県立医科大学薬学部長）、中村 克徳（沖縄県病院薬剤師会 会長）、宮城 直人（学校法人尚学学園 沖縄尚学高等学校 進路主任）、森田 泰弘（学校法人沖縄大学 法務監査室 専門員）で、前濱会長は委員長に就任した。

令和4年1月24日（月） WEB会議

沖縄県 第2回 薬学部設置可能性等調査事業検討委員会が開催される。沖縄県内の国公立大学へ薬学部を設置する場合の課題（学生、教職員の確保、施設等の整備・運営に係る費用等）と対応の方向性について意見交換。県内国公立大学へのヒアリング結果および近年の薬学部設置大学（私立大学）へのヒアリング結果等の報告があった。

令和4年2月21日（月） WEB会議

沖縄県 第3回 薬学部設置可能性等調査事業検討委員会が開催される。県内国公立大学への薬学部設置を含め、薬剤師確保に向けた短期・中長期の対策について意見交換。全国都道府県における薬剤師確保に向けた対策の実施状況等について報告があった。

令和4年5月14日（土） 沖縄ハーバービューホテル

5月15日の本土復帰50周年記念式典に岸田文雄内閣総理大臣が参列のための来沖に合わせて開催された各種団体との意見交換会に、本会から前濱朋子会長、川満直紀副会長、大城喜仁事務局次長が出席した。

沖縄県内の国公立大学に薬学部を創設する活動の経緯と沖縄県内の現状を端的に説明のうえ、「県内国公立大学に薬学部を創設することにより、薬剤師不足による地域の医療提供体制の格差是正だけでなく、沖縄の天然資源を利用した医薬品開発の推進や医薬品製造に関連した新たな産業振興等が期待される。現在、琉球大学や名城大学において薬学部創設について検討いただいているが、国立大学の定員の問題や建設費の財源等、様々な課題があり、大学側だけでは課題解決が大変難しいと聞いている。沖縄県は復帰50周年を迎えるが、これまで県内では、薬剤師の養成教育が行われておらず、SDGsの目標4『質の高い教育をみんなに』の達成のためにも、岸田総理には、是非、県内国公立大学への薬学部創設の実現に向けて、力添えをいただきたい。」と記載した要請文を事前に提出した。

2. 地域医療提供体制対策

地域包括ケアシステムを基盤とした地域医療や保健等の提供体制における「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた薬局のあり方に係る「地域や病院（行政や他医療職種および病院薬剤師等）との連携に係る事業の企画」「かかりつけ薬局・薬剤師を基盤とする健康サポート薬局、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局といった薬局の理念、機能を発揮できる環境整備のための各種施策の検討や実施」を行った。薬剤師が本来の役割を果たし、地域の患者を支援するための患者本位の医薬分業を実現するため、以下の事業を行った。

（1）薬業連携会議の開催（薬業連携及び医療従事者間の連携事業推進）

例年8月～9月頃に開催してきた「医薬分業対策会議」は、令和3年度から「薬業連携会議」に改称した。同会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、令和2年度は開催できなかったことから、令和3年度は開催実現の調整をしていた。連携を目的とした同会議の趣旨から対面開催を前提に実施のタイミングを窺っていたが、同感染の第5波、6波に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出等が続き、結果的に同会議の開催実現には至らなかった。令和4年度は、当初からWEBを前提にしたハイブリット開催とする。

（2）成育医療分野における薬物療法等に係る連携体制構築推進事業

小児医療に特化した薬剤師養成のための研修会の開催や、多職種（医師、歯科医師、看護師、コーディネーター等）との連携体制構築のための多職種連携会議の開催ならびに多職種連携シート作成を目的に、中部地区薬剤師会をモデル地区として以下の事業を行った。

①小児の薬物療法に係る専門性の高い薬剤師の育成研修

○中部地区薬薬連携研修会（講演） 令和3年12月15日（水） 19:30 ～ 21:00

講師：すこやか薬局 具志川店 新田 有香（薬剤師）

○小児在宅医療と薬物療法の特殊性（講演） 令和4年2月4日（金） 19:30 ～ 21:00

講師：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児総合診療科 松岡 孝（医師）

○多職種連携に係る研修（パネルディスカッション） 令和4年2月13日（日） 10:00 ～ 11:30

パネリスト：白井 紀子（養護教諭）沖縄県立泡瀬養護支援学校

名幸 啓子（保育士）NP0法人 障がい児サポートハウスOhana 代表

鈴木 恵（看護師）Kukuru 訪問看護ステーションムームー 代表理事

高江洲 夢美（相談支援専門員）沖縄市障がい者基幹相談支援センター

金城 恵（医療的ケア児の親）

コーディネーター兼任：石田 浩（薬剤師）すこやか薬局 野嵩店・地域医療提供体制対策委員会

②小児医療にかかわる医療機関と薬局との連携体制の構築に関して

○事業開始の案内：県、市町村等の行政機関、医師会、歯科医師会、病院薬剤会等の関係団体、多職種へ文書で案内。

○広報ポスターの作成

○多職種連携シート作成及び運用（1回目：12月22日～1月5日 2回目：1月6日～2月28日）

同シートは、医療的ケア児の家族の協力が得られた中部地区薬剤師会の会員薬局にて、事業期間内に2回にわたりトライアル運用を行った。

○実態調査

・成育医療に関するアンケート（令和3年11月16日、令和4年3月5日）

・研修会後のアンケート（令和3年12月15日、令和4年2月4日、2月13日）

・小児在宅稼働薬局の実態アンケート（令和3年12月7日）

(3) お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動

○「沖縄銀行のOKI Pay」と「おきなわ電子お薬手帳の処方箋機能」に関する連携サービスが、令和3年5月10日に提供されることになった。また、令和3年4月28日において地元紙2紙の紙面に連携を啓発する記事が掲載された。

○おきなわ電子おくすり手帳及び電子決済アプリ「OKI Pay」の説明会を令和3年4月30日に開催し、36名の参加があった。

(4) おきなわ津梁ネットワークの推進

沖縄県医師会のおきなわ津梁ネットワークに連携、推進しているが、令和3年度は協議会の開催と主な活動も無かった。

(5) 健康サポート薬局100軒実現に向けての研修会

昨年度に引き続き、健康サポート薬局届け出数の増加を目的とし、それをめざす会員の便に供するために同研修会を開催した。

○健康サポートのための多職種関連研修会：令和3年7月18日 参加者42名

○健康サポートのための薬剤師の対応研修会：令和3年7月18日 参加者32名

○無菌調剤共同利用施設の活用に関する研修会：令和4年2月16日 参加者23名

(6) 在宅医療支援薬局の拡充と他職種への情報提供の実施

○在宅訪問業務にかかわる座学研修会（パネルディスカッション）：令和4年3月10日

- ・盛本 直也（ヴァインドラッグあがり浜薬局）・石田 浩（すこやか薬局 野嵩店）
- ・玉城 武範（ミドリ薬局 美里店） ・饒平名 千春（こくら虹薬局）
- ・宮本 直樹（クララ薬局 ティエラ）・吉田 洋史（吉田薬局 はんたがわ店）

(7) 訪問薬剤管理指導推進事業の実施

前年度は在宅訪問同行事業をメインに活動を行った。しかしながらコロナ禍ということもあり、マッチングがなかなかうまく行かず計画通りに事を運ぶことが困難な事態となった。

そこで今年度は在宅同行訪問以外にも在宅支援をできる方法を模索し検討の結果、次にあげる内容を計画した。

- 1：離島での多職種連携の構築
開催地：久米島・宮古・石垣
- 2：同行訪問
- 3：多職種連携会議への派遣
- 4：在宅経験者によるディスカッションセミナー

結果としては離島での多職種連携構築、同行訪問に関しては残念ながら未達であった。

多職種連携会議・多職種コンソーシアムへの薬剤師の派遣、ディスカッションセミナーに関しては参加・開催した。

多職種連携会議へはこれまで参加されていない薬剤師を派遣することで在宅に対する考え方や取り組み、薬剤師の必要性を感じ取ってもらえた。

セミナーに関しては在宅を手掛けるメンバーにパネリストとして参加していただき、在宅に関する質問を事前にアンケートにて集め、その内容を中心にディスカッションセミナーを進めていった。

未達事業に関しては達成できるようにさらなる改善が必要である。離島での連携に関しては、ネットを用いた会議を開催しながら関係性を図る。

同行訪問に関しては同行可能な薬剤師と、同行を希望する薬剤師で事前にマッチングを行い、スケジュールを管理していく。

実際に開催できた内容では会議に参加することでの薬剤師の職能を広く知ってもらえる機会になり、多職種から求められていることを知ることができた。

最後にセミナーでは在宅に対する考え方や内容を聞くことができたことで、これまで在宅に関して尻込みしていたのがチャレンジしたいという気持ちになる薬剤師の先生方も多くいた。

(8) その他

○令和3年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業次世代薬剤師指導者研修会

（参加者：上原 卓朗、鈴木 毅、喜友名 朝史、上川畑 剛） 令和4年2月11日

○薬と健康の週間における県民への「かかりつけ薬剤師・薬局」の啓発

- ・地元紙へ投稿：令和3年10月14日掲載
（執筆：名嘉 紀勝 理事：沖縄タイムス、吉田 典子 理事：琉球新報）
- ・本会ホームページにてコンテンツ配信

「かかりつけ薬局・薬剤師について」：西川 裕常務理事

「感染症予防における正しい手洗いについて」：仲地 剛（那覇市保健所）

「違法薬物の害について」：知名 博樹理事

「地域連携薬局について」：吉本 尚志（沖縄県保健医療部衛生業務課）

「薬の正しい使い方について」：又吉 千賀子（那覇地区薬剤師会理事）

3. 生涯学習

(1) 新任・新人薬剤師研修会

令和3年8月1日にWEBで開催し、38名の参加があった。研修会では、「医薬品情報業務について」を浦添総合病院の宮里弥篤氏が担当し、DI業務、情報検索の基本、検索サイト紹介など多岐にわたる有益な講義であった。「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの喜屋武芳美氏に薬歴の書き方について講義いただいた。「コロナ禍の感染対策」は、学術研修委員会委員長で琉球大学病院薬剤部の潮平英郎氏に講義いただいた。講義後は各部会について、行政薬剤師部会から沖縄県保健医療部衛生業務課薬務室技師の吉本尚志氏、学校薬剤師部会から知名博樹副部長、女性薬剤師部会から草壁瑞恵部長、青年部会から上原卓朗部長が部会紹介を行った。講師やテーマを工夫することにより、連続聴講しても実りのある研修会となるよう今後も努力したい。

(2) 第34回沖縄県薬剤師会学術大会

令和3年12月19日（日）WEBに於いて「県民の健康に関わる地域に根ざした薬剤師」をテーマに開催された。今回はコロナ禍であることを踏まえ、WEB参加型の開催とし、演者や大会関係者以外はオンラインでの参加となった。参加者は181名（県薬131名、病薬50名）で、川上雄一朗大会実行委員の司会進行のもと、中村克徳大会副会長と前濱朋子大会会長の挨拶が続いた。会員発表の部では、大会実行委員の知名博樹氏、友愛医療センターの三田井菜菜子氏の2氏が座長を務め、病院薬剤師関連から4演題、保険薬局・その他部会関連から5演題の合計9演題が発表された。大会奨励賞は、病院薬剤師関連部門では友愛医療センターの大宜見真希氏による「薬剤師による血糖管理を中心としたTPN処方モニタリングの効果」が、保険薬局・その他関連部門ではそうごう薬局新赤十字前店の西川裕氏による「患者ニーズに対応したヘルスケア手帳と電話フォローの有用性」が受賞した。特別講演ではファルメディコ株式会社の狭間研至氏に「CIPPSを乗り切るための3つのアクション～薬剤師のFAFが切り拓く薬局の未来～」を講演いただき、大変好評であった。その他、最新の自動調剤ロボット機器や調剤支援技術ソフト等、13社の協賛企業の広告放映があり、金城雄一大会副実行委員長による閉会の辞で盛会の内に幕を閉じた。九州山口地区において学術大会を継続開催している県は沖縄、大分、佐賀、熊本の4県のみで、令和3年で34回目を迎えられたことは大変誇れることである。

(3) 医療薬学フォーラム2021 / 第29回クリニカルファーマシーシンポジウム

令和3年7月24・25日に医療薬学フォーラム2021 / 第29回クリニカルファーマシーシンポジウムを沖縄にて開催した。本会では企画の段階から協力して、実行委員会の設置、ホームページの立ち上げ、プログラム作成などの準備を着々と進めた。新型コロナウイルス感染症の収束状況が不確実であったことから、当初予定していた沖縄コンベンションセンターでの開催はWEB開催へ変更を余儀なくされた。学術発表の機会が減少している状況下で、一般（ポスター）講演163題、

特別講演2題、記念講演2題、教育講演1題、シンポジウム74題が実施され、医療薬学フォーラム2021は生涯学習の絶好の機会となった。

4. 医療安全対策

(1) 令和3年度医療安全講習会を開催

令和4年2月20日に本会館ホールで、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いながら、次の内容で開催した。168名(WEB143名、会場25名)

開催案内：令和4年1月28日（金）(FAX一斉同報)

開催日：令和4年2月20日（日）

①『日本薬剤師会団体保険制度について』、『事例に学ぶ薬剤師賠償責任保険事故』

講師：損害保険ジャパン株式会社 翁長 佑菜

②『利用者による調剤鑑査機器の紹介』

発表者：石井 秀典、成底 徹、中尾 滋久、三浦 健太郎

(2) DEM（薬剤イベントモニタリング）事業への参加案内

令和4年1月5日にDEM事業への周知をFAX一斉同報にて行い、報告を促した。

協力案内：令和4年1月5日（水）(FAX一斉同報・ホームページ)

調査期間：令和4年2月1日～2月28日

(3) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会

医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修（WEB 239名）昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB開催となった。

開催案内：令和3年10月4日（月）(FAX一斉同報・ホームページ)

受講期間：令和3年12月1日（水）～12月7日（火）

(4) 新型コロナウイルス感染症対策関連

①新型コロナウイルスワクチン専門電話相談事業（沖縄県委託業務）相談員：延べ515名

沖縄県の受託により令和3年3月15日より事業開始、令和4年4月現在、継続事業となっている。

・調査件数：2,761件

・質問者数：1,946人

②研修会開催

1) 新型コロナウイルス ワクチン相談業務対応研修会 参加者101名（WEB66名、会場35名）

開催案内：令和3年5月21日（金）(FAX一斉同報)

日時：令和3年6月10日（木）

イ、「新型コロナウイルスワクチンについて」：薬事情報委員会委員長 糸嶺 達

ロ、「新型コロナウイルスワクチン相談事業報告」：相談員 山内 一姫

2) 新型コロナウイルスワクチン及び医療用抗原検査キットに関する研修会

参加者87名(WEB79名、会場8名)

開催案内：令和3年11月26日（金）(FAX一斉同報)

日時：令和3年12月8日（水）

イ、「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種（ブースター接種）について」：糸嶺 達

ロ.「新型コロナウイルス感染症における医療用抗原検査キットの基礎知識」:

琉球大学医学部保健学科 非常勤講師 長嶺 辰美

③医療用抗原定性検査キット販売薬局一覧

第6波に備え、県民が近隣の薬局で医療用検査キットを入手できるよう、令和3年12月に公表が可能な薬局情報(英語対応可否を含む)を収集し、医療用抗原定性検査キット販売薬局一覧を作成。沖縄県と共有し、県薬ホームページの他、沖縄県ホームページ、新聞などで周知した。(随時更新)令和4年1月にGoogleマップと連携した。

5. 医療保険

令和4年度調剤報酬改定説明会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、YouTubeにて3月26日から5月8日まで本会ホームページ上にて公開した。同期間における視聴回数は、2,305回であった。

令和3年度に実施された指導は、九州厚生局による集団的個別指導43薬局、個別指導0薬局、新規個別指導8薬局、集団指導(新規指定)21薬局、集団指導(新規登録)64名、更新時集団指導41薬局であり、同委員会からも指導立会者を派遣した。

新型コロナウイルス感染症関連では、昨年度に引き続き薬局における薬剤交付支援事業を国から委託して実施した。同事業にて配送料の補助金を申請した薬局125薬局、対応件数2,247件、補助金額2,392,530円であった。また、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いが発出された際には、その都度、全保険薬局宛にFAX一斉同報にて通知した。

おきなわ薬剤師会報へは、「調剤報酬請求業務Q&A」を掲載し、算定誤りの多い事例を会員へ周知した。

6. 保健福祉

(1) 薬剤師の地域貢献に関する事業

令和3年9月13日～10月23日まで残薬回収月間を開催。会員109名が参加し、患者・来局者への総声掛け数12,727名、残薬回収等の対応を行った方302名と多くの実績が得られた。同月間では、残薬回収だけではなく、患者とのコミュニケーション向上やコンプライアンスの向上にもつながる事が期待できる。

また、コロナ禍において地域貢献がなかなかできない状態の中で同月間を定期的に行うことで地域活動として認められていくと思われる。

(2) 自殺予防・対策事業

平成10年に3万人を超えた全国での自殺者も平成18年には自殺対策基本法が制定され様々な事業が全国で展開される中、幸いにも平成23年には、14年ぶりに3万人を切り、令和元年には20,169人と減少してきたが、コロナ禍の影響か令和2年は21,081人(確定値)、令和3年は20,830名(速報値)とコロナ禍前と比べると増加している。また、コロナ禍における全国での児童生徒の自殺者数が平成30年の369人と比べて令和元年は399人、令和2年は499人と大幅に増加している。

これらの事から沖縄県自殺対策連絡協議会は、引き続き関係機関と連携し自殺対策に取り組むことになっている。

研修会について、今年度は学校薬剤師部会と連携し「気づき」「傾聴」「つなぐ」「見守る」ことを修得するため、令和4年3月13日にぎのわんメンタルクリニック道下先生を講師に招き、「ゲートキーパースキルアップ研修会」を開催した。参加者は68名(現地11名、WEB57名)であった。

最後に例年のように9月と3月に、国が制作した啓発ポスターを会員薬局に配付し、自殺予防広報を行った。

(3) 薬剤師認知症対応力向上研修

平成28年度より沖縄県の委託事業として行っている認知症対応力向上研修会を令和3年10月3日にWEBのみの受講として開催した。参加者は28人で、のべ549人の薬剤師が研修し、修了者には沖縄県より修了証が発行されている。

(4) 禁煙事業について

平成19年に発足した県薬剤師会の禁煙支援サポート薬局・薬剤師の認定制度(3年毎更新)は、令和3年度末で認定薬剤師は90名、禁煙サポート薬局は16軒であった。以前より、禁煙支援に携わる薬剤師のモチベーションを高く維持するための工夫が必要であることが本年度も確認され、薬局における禁煙補助薬の販売ならびに指導について取り組むこととした。しかし、令和3年度は、禁煙サポート薬局支援継続事業として、例年実施している「禁煙アドバイザー育成講習会（日本禁煙科学会と共催）」も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度に引き続き実施できなかった。また、県内の禁煙事業を多職種で集まって報告を行う“沖縄県禁煙協議会総会”も同様の理由から実施されなかった。

以上の状況を踏まえて、令和3年度末（令和4年3月24日）に、認定制度の更新講習に相当する沖縄県薬剤師会主催の禁煙支援薬剤師認定研修会を現地とWEBのハイブリッド形式にて開催した。参加者は71名（現地9名、WEB62名）であった。併せて、今後の薬局・薬剤師における禁煙支援事業を継続するために認定講習会の幅を拡大してその目的に資することとした。

一方、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙(初めの1本を吸わせない)活動については継続して行われたと思われた。これらの活動が小学校から高等学校・専門学校の児童・生徒に対して継続して展開していることは、喫煙防止に大いに貢献するものである。加えて、「新型タバコ（加熱式タバコ、電子タバコ等）」についての情報提供も引き続き行った。さらに、健康増進法改正に伴う受動喫煙対策ならびにタバコはCOPDの大きなリスクファクターとしての位置づけからの禁煙・防煙活動の啓発も視野に取り組んだ。

(5) 地域ケア会議

平成30年度より全面実施の運びとなっている地域包括ケアに基づいた地域ケア会議において、薬剤師は“専門職アドバイザー、助言者”として参加が要請される。

沖縄県内における当事業の専門職アドバイザーの養成のための講習会は、沖縄県リハビリテーション専門職協会が県よりの委託を受けた事業を行っており、当会は当初よりこの協力メンバーの団体の一つとなっている。令和3年度もこれらの事業の研修会（多職種コンソーシアム実践研修会：令和3年10月24日 於 オンライン配信）に参加した。本年度の同研修会は、これまでの中央型から地域型へと変革の年となり、地域の市町村から委託を受けた各団体が出向き、活動するという方向性となった。本会への派遣依頼は残念ながらなかったが、令和4年度の課題として薬剤師の職能を広く周知し、多職種の方々と地域に貢献できるよう協力体制を構築することがあると感じた。

(6) オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

令和3年12月5日にDVD研修会を現地とWEBのハイブリッド形式にて開催した。参加者は64名（現地11名、WEB53名）であった。予期せぬ妊娠を防ぎたい女性が必要な相談窓口に接し、安心・適切に緊急避妊薬にアクセスできる体制を構築するべく、今後も研修会を継続して実施する必要性を感じた。

また、厚生労働省のホームページに掲載されている対応薬局・薬剤師リストを実際に緊急避妊薬の在庫を備蓄し、対応可能な薬剤師83名のリストに更新した。

(7) 栄養管理に関する研修会

令和3年12月21日と令和4年1月24日に(株)薬正堂の管理栄養士である比嘉純先生、佐久川碧先生、仲里遥先生にご講演いただき、現地とWEBのハイブリッド形式にするなど、新型コロナウイルス感染防止対策を施した上で開催した。参加者は12月21日が59名（現地8名、WEB51名）であり、1月24日は71名（現地7名、WEB64名）であった。

講演テーマは、第1回目の比嘉純先生は「栄養障害とフレイルについて」、佐久川碧先生は「在宅栄養療法について」で栄養状態の把握、病態に合わせた栄養指導の大切さ、在宅栄養療法では患者のQOLを向上させるためには多職種連携が必要であるとして講演頂いた。第2回目の仲里遥先生は「経腸栄養・静脈栄養について」で経静脈栄養療法、経腸栄養剤、病態別栄養剤の成分、種類についてご講演いただいた。

7. 薬学生実務実習受入

実習生受け入れ12年目になるこの年は、18大学より1期20名、2期24名、3期7名、合計51名の実習受入を行った。大学の内訳は以下の通りである。第一薬科大学8名、九州保健福祉大学7名、福岡大学5名、長崎国際大学3名、崇城大学2名、徳島文理大学7名、徳島文理大学香川薬学部1名、神戸学院大学2名、兵庫医療大学1名、名城大学2名、福山大学1名、広島国際大学2名、愛知学院大学2名、医療創生大学1名、大阪大谷大学1名、武蔵野大学4名、安田女子大学1名、立命館大学1名。

認定実務実習指導薬剤師養成のための講座は、新規2回、更新2回開催した。

8. 災害支援対応

新型コロナウイルス感染症関連の対応として、沖縄県病院薬剤師会や日本薬剤師会、沖縄県、その他関係団体と連携を取りながら、以下の対応を行った。

○第6波に備え、県民が近隣の薬局で医療用抗原検査キットを入手できるよう、令和3年12月に公表が可能な薬局情報（英語対応可否を含む）を収集し、販売薬局一覧を作成した。また、同一覧を沖縄県ワクチン接種等戦略課と共有し、県薬ホームページの他、沖縄県ホームページ、県内2紙（琉球新報、沖縄タイムス）等で周知した。

○逐一情報収集や関係団体と意見交換会等を行い、保険薬局や会員向けにFAX一斉同報（計23回）を行い、本会ホームページ等にて情報提供を行った。

○医療従事者の新型コロナワクチン優先接種が実施され、本会にて県内全保険薬局へ接種希望者の調査を行い、ワクチン接種を希望する方の接種先との調整及び接種券付き予診票を約2,400名分発送した。

○沖縄県からの依頼で県内全保険薬局に自宅等療養者へ薬剤の配送に対応できる薬局をリスト化し、計91薬局のリストを提出した。

○沖縄県医師会、県内各市町村から新型コロナウイルスワクチン接種会場におけるワクチン充填業務の派遣依頼があったため、以下の講習会を実施し、薬剤師の派遣を行った。

○新型コロナウイルスワクチン充填業務講習会

- 第1回 令和3年4月18日（日）10：00～ 参加者：46人
- 第2回 令和3年5月7日（金）19：30～ 参加者：11人
- 第3回 令和3年5月17日（金）19：30～ 参加者：39人
- 第4回 令和3年5月27日（木）19：30～ 参加者：26人
- 第5回 令和3年6月5日（土）19：00～ 参加者：10人
- 第6回 令和3年6月28日（月）19：30～ 参加者：58人
- 第7回 令和3年12月12日（日）10：00～ 参加者：11人（八重山地区薬剤師）
講師：潮平英郎、吉田洋史 他4名

○沖縄県、市町村、離島におけるワクチン接種業務への薬剤師派遣

沖縄県病院薬剤師会とも連携し、以下の通り薬剤師を派遣した。

【4月】

座間味村 派遣日数：2日 派遣人数：2人

【5月】

座間味村	派遣日数：2日	派遣人数：2人	石垣市	派遣日数：4日	派遣人数：2人
北大東村	派遣日数：2日	派遣人数：1人	南大東村	派遣日数：2日	派遣人数：1人
与那国町	派遣日数：2日	派遣人数：1人	渡嘉敷村	派遣日数：1日	派遣人数：2人

【6月】

沖縄県広域ワクチン接種センター	派遣日数：16日	派遣人数：25人
那覇市	派遣日数：26日	派遣人数：28人
座間味村	派遣日数：2日	派遣人数：2人
石垣市	派遣日数：12日	派遣人数：4人
北大東村	派遣日数：2日	派遣人数：1人
南大東村	派遣日数：2日	派遣人数：1人
与那国町	派遣日数：2日	派遣人数：1人
渡嘉敷村	派遣日数：2日	派遣人数：2人

【7月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：28日 派遣人数：102人
那覇市 派遣日数：17日 派遣人数：25人

【8月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：31日 派遣人数：126人
那覇市 派遣日数：9日 派遣人数：16人

【9月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：30日 派遣人数：152人

【10月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：31日 派遣人数：145人

【11月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：14日 派遣人数：48人

【令和4年2月】

沖縄県広域ワクチン接種センター 派遣日数：24日 派遣人数：93人

9.部会活動

(1) 学校薬剤師部会

①令和3年度学校薬剤師部会新人研修会

令和3年4月11日 沖縄県薬剤師会館及びWEB 参加者36名（現地12名、WEB24名）

②令和3年度沖縄県立学校保健主事研修会

令和3年4月23日 沖縄県立総合教育センター多目的棟 講師：笠原大吾

③令和3年度学校環境衛生・安全管理講習会

令和3年5月12日 WEB（Zoom） 講師派遣：知名博樹

④第49回学校薬剤師部会総会

令和3年6月28日～7月6日 沖縄県薬剤師会ホームページにて公開

⑤令和3年度全国学校保健調査

令和3年6月～9月

項目：2020年度の揮発性有機化合物、ダニ又はダニアレルゲン並びに騒音環境等の定期検査
と新型コロナウイルス感染症対策について

⑥令和3年度沖縄県学校保健会理事会・学校保健及び学校安全表彰候補選考審査会

令和3年7月8日 WEB 出席者：前濱朋子

⑦令和3年度学校薬剤師部会主催研修会

令和3年7月11日 沖縄県薬剤師会館及びWEB 参加者57名（現地16名、WEB41名）

⑧令和3年度第1回・第2回薬学実務実習生向け学校薬剤師説明会

第1回 令和3年7月20日 沖縄県薬剤師会館 講師：知名博樹

第2回 令和3年10月28日 沖縄県薬剤師会館 講師：知名博樹

⑨令和3年度新任・新人薬剤師研修会

令和3年8月1日 沖縄県薬剤師会館 講師派遣：知名博樹

⑩第19回九州地区健康教育研究大会（沖縄大会）

令和3年8月2日～10日 録画配信 講師派遣：知名博樹、新垣紀子

⑪令和3年度薬と健康の週間 薬と健康フェア

令和3年10月17日～23日 薬物乱用防止について 講師：知名博樹

⑫令和3年度学校薬剤師部会九州ブロック連絡会議

令和4年2月5日 沖縄県薬剤師会館及びWEB

出席者：前濱朋子、川満直紀、村田成夫、知名博樹、新垣紀子

⑬令和3年度学校薬剤師全国担当者会議

令和4年3月3日 沖縄県薬剤師会館（WEB開催） 出席者：村田成夫、知名博樹

⑭令和3年度自殺予防対策事業ゲートキーパー養成研修会（保健福祉委員会と共催）

令和4年3月13日 沖縄県薬剤師会館及びWEB 参加者68名（現地11名、WEB57名）

学校薬剤師部会役員会

令和3年4月11日（日）8名

令和3年6月13日（日）7名

令和3年8月29日（日）7名

令和3年10月17日（日）8名

令和3年12月12日（日）8名

令和4年2月13日（日）8名

令和3年5月16日（日）7名

令和9年7月11日（日）12名

令和3年9月26日（日）8名

令和3年11月21日（日）9名

令和4年1月16日（日）8名

令和4年3月13日（日）8名

(2) 女性薬剤師部会

①女性薬剤師部会総会

令和3年6月27日（日）沖縄県薬剤師会館ホール 参加者：12名

②妊娠・授乳とくすり講座

令和3年6月27日（日）沖縄県薬剤師会館ホール 参加者：66名（WEB参加53名）

「妊娠・授乳と薬の基礎知識」

講師：沖縄県立中部病院産科 副部長 大畑 尚子

令和4年1月23日（日）沖縄県薬剤師会館ホール 参加者：84名（WEB参加75名）

「情報ツールを読み取り、活かそう」

講師：琉球大学病院薬剤部 大田 久美子

③暮らしに役立つ薬膳講座

令和3年10月8日（金）うちどまり薬局 参加者13名

「薬膳プレゼンテーション」

講師：すこやか薬局宇地泊店 久場 良亮

令和3年11月21日（日）沖縄県薬剤師会館ホール 参加者：53名（WEB参加：36名）

「自分の体質を知ろう 気血水を整える薬膳茶 ～気虚編～」

講師：すこやか薬局宇地泊店 久場 良亮

④薬剤師継続学習通信教育講座 取りまとめ

令和4年3月 6日（日） 沖縄県薬剤師会館ホール

⑤薬剤師継続学習通信教育講座 スクリーニング 参加者：47名（WEB参加：18名）

「せん妄・幻覚・幻聴 ―レビー小体型認知症、薬物有害事象―」

講師：北中城若松病院 認知症疾患医療センター センター長 遠藤 一博

「潰瘍性大腸炎 ―症状の把握から繋がる薬物治療の選択肢―」

講師：琉球大学病院 光学医療診療部 助教 金城 徹

「進行性卵巣がんに対する琉球大学病院の治療方針とゼジューラの使用」

講師：琉球大学病院 産科婦人科 助教 仲本 朋子

「排尿障害 ―女性の排尿障害・前立腺肥大症・神経因性膀胱―」

講師：北上中央病院 泌尿器科 院長 菅谷 公男

「血液疾患と血液がん ―細胞分化で生じる血液疾患―」

講師：那覇市立病院 血液内科 部長 内原 潤之介

⑥浦添市乳幼児一般健康診査での「おくすり相談会」 浦添市保健相談センター

令和3年4月25日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和3年6月6日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和3年7月18日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和3年8月29日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和3年9月19日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和3年10月17日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和3年11月28日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和4年1月16日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和4年2月27日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

令和4年3月20日（日） 午前9：00～12：30、午後13：00～16：30

⑦役員会

令和3年 4月25日（日）、6月21日（月）、10月8日（金）

令和4年 1月23日（日）、2月16日（水）、3月6日（日）

3月14日（月）、3月31日（木）

⑧薬草園の手入れ 隔週 土曜日 午前

⑨おきなわ薬剤師会報「暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう」の執筆

⑩その他 九州ブロック会議 令和4年8月5日（木） Zoom参加：草壁 瑞枝、村田 美智子

一般社団法人日本女性薬剤師会総会 令和4年2月6日（日） Zoom参加：草壁 瑞枝

(3) 青年薬剤師部会

①令和3年度新任・新人薬剤師研修会

令和3年8月1日（日） 13:00～17:05 Zoom開催 部会紹介：上原卓朗

②令和3年度日本薬剤師会学生会員への入会促進

第1回：令和3年5月24日 沖縄県薬剤師会館

第1回：令和3年8月23日 沖縄県薬剤師会館

③第16回青年薬剤師部会総会

令和3年2月1日～7日 沖縄県薬剤師会ホームページにて公開

④令和3年度青年薬剤師部会主催研修会

令和4年3月28日 沖縄県薬剤師会館及びWEB 参加者30名（現地6名、WEB24名）

内容 「地域密着型の薬局への取り組み～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～」
株式会社レークケア 代表取締役 西村雄一

⑤沖縄県市町村議会議員との意見交換会

令和4年3月31日 沖縄県薬剤師会館 参加者14名（薬剤師会8名、議員6名）

(4) 病院診療所薬剤師部会

①沖縄県病院薬剤師会 第50回 通常総会

令和3年6月4日（金） 19:00～20:00 Zoom開催

②沖縄県薬剤師会 令和3年度新任・新人薬剤師研修会

令和3年8月1日（日） 13:00～17:10 Zoom開催

講師：宮里 弥篤（浦添総合病院）「医薬品情報業務について」

潮平 英郎（琉球大学病院）「コロナ禍の感染対策」

③第34回沖縄県薬剤師会学術大会

令和3年12月19日（日） 13:00～17:10 Zoom開催 病薬会員44名参加

会員発表（病院薬剤師関連部門）：4演題

(5) 卸勤務薬剤師部会

【学会等参加】

①令和3年5月 日本医薬品卸勤務薬剤師会理事会（メール対応）・研修会（中止）

②令和3年 日本医薬品卸勤務薬剤師会九州ブロック総会（中止）

③令和3年 日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部理事会・総会（中止）

④令和3年8月2日～31日 日本医薬品卸勤務薬剤師会研修会（WEB）

⑤令和3年9月19・20日 日本薬剤師会学術大会（福岡県）（WEB）

⑥令和4年2月1日～28日 日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム（WEB）

⑦令和4年3月1日～31日 日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会（WEB）

【実務実習薬学生受入】 5社44名

【委員会への参加】学術研修委員会、保健・福祉委員会、薬事情報委員会、災害対策委員会等

(6) 行政薬剤師部会

①令和3年9月6日 新型コロナワクチン充填作業にかかる研修会（行政向け）参加者5名

②令和3年12月19日 沖縄県学術大会 一般演題発表

10. その他関連事業

(1) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）

(2) 各種関連協議会への参加協力

(3) 関連機関団体との協議及び懇談

(4) 関係行政当局との定期的連絡協議会

(5) おきなわ薬剤師会報の発行

(6) 薬剤師求人求職斡旋事業・薬剤師確保対策事業

(7) 日本薬剤師会賠償責任保険・個人情報漏えい保険等の加入促進

(8) 公共関連機関団体等への寄附（沖縄県交通遺児育成会募金 など）

令和3年度 薬事情報センター事業報告

1. 情報提供業務

(1) 質疑応答業務（集計内容の詳細は別紙参照）

・調査件数：1,004件／月（医療関係者584、医療関係者以外420） 84件／月

・質問者数：820人／月（医療関係者509、医療関係者以外311） 68人／月

(2) WEBサイト（ホームページ）による情報提供

(3) 会報「薬事情報おきなわ」の編集・発行（隔月刊）No. 264～No. 268を発行

(4) 会員向けメール配信業務（Weekly News）

2. 情報収集業務

(1) 新規図書総数：31冊

(2) 購読雑誌：20誌

(3) 各都道府県薬剤師会機関誌：37誌

(4) 業界新聞：4紙（薬事日報、薬局新聞、薬事ニュース、国保新聞）

(5) メーカー・卸機関誌

(6) 厚生労働省および日薬からの各種情報・通知

(7) 製薬企業からの情報

(8) 医療安全レポート（一般社団法人 医療安全全国共同行動発行）

3. 情報管理業務

- (1) 沖縄県薬事情報センター質疑応答データベース (ファイルメーカー Pro)
- (2) 日薬と協同作成のデータベース (文献書誌情報検索システム: Bunsaku)
担当雑誌 (「新薬と臨床」「総合診療」「臨床薬理」「おきなわ県薬会報」「産科と婦人科」)
- (3) 子ども医療電話相談事業 (#8000) の質問記録の管理

4. 会議等

- (1) 令和3年度 薬事情報センター委員会
第1回: 日時: 令和3年9月29日 (水) (県薬・Zoom)
第2回: 日時: 令和4年1月24日 (月) (県薬・Zoom)
- (2) 令和3年度 サポートプログラム調整会議 (主催: 沖縄県スポーツ協会) (Zoom)
日時: 令和4年2月28日 (月)
- (3) 令和3年度 第1回スポーツ医・科学委員会 (主催: 沖縄県スポーツ協会) (Zoom)
日時: 令和4年3月16日 (水)

5. 講師派遣

- (1) 2021年度 沖縄県体育協会 スポーツ医・科学サポートプログラム説明会 (Web: 80名)
日時: 令和3年4月28日 (水) (Web開催・オンデマンド配信)
スポーツファーマシスト部会「アンチ・ドーピングについて」(笠原 大吾)
- (2) 国体関連監督会議 (アンチ・ドーピングについて情報提供)
 1. 九州ブロック大会 (夏季大会) 監督会議 (10団体) (主催: 沖縄県) (吉田 典子)
日時: 令和3年6月30日 (水)
 2. 九州ブロック大会 (秋季大会) 監督会議 (19団体) (主催: 沖縄県) (笠原 大吾)
日時: 令和3年8月4日 (水)

※第76回国民体育大会 (三重県) 中止のため開催中止

 - ・ドクターズ・ミーティング、監督会議
- (3) 国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発委託事業 (日本スポーツ協会)
2022年アンチ・ドーピング研修会 (主催: 沖縄県スポーツ協会)
(オンライン開催・オンデマンド配信)
日時: 令和4年2月9日 (水)
 - ・基礎編: スポーツとアンチ・ドーピング (笠原 大吾)
 - ・応用編: アンチ・ドーピングのルール (規則違反、日常における注意点、TUE等) (吉田 典子)

6. 学会・研修会への参加

- (1) 国民体育大会に向けたアンチ・ドーピング講師養成講習会 (主催: 日本スポーツ協会) (Web)
日時: 令和3年7月8日 (木)
- (2) 令和3年度 都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者等研修会 (Web)
日時: 令和3年12月3日 (金)
- (3) 2021年度クリーンスポーツ・ライブウェビナー (旧: アンチ・ドーピング定期研修会)
日時: 令和3年12月7日 (火) (web及びオンデマンド: 12月10日 (金) ~ 令和4年1月31日 (月))
- (4) 令和3年度 都道府県薬剤師会薬事情報センター実務担当者研修会 (Web)
日時: 令和4年3月16日 (水)

7.その他

(1) DI業務支援

平良 恭子（薬剤師）：（半日／週） 赤嶺 朝健（システム保守・管理）：（随時）

(2) 沖縄県難病支援センター「アンビシャス」の原稿執筆（月1回）

令和3年 4月：錠剤を割ったりカプセル剤をはずして飲んでもいいの？

5月：睡眠薬は長く飲んでも大丈夫ですか。

6月：薬を飲んでいますが、コロナワクチンは受けられますか（1）

7月：薬を飲んでいますが、コロナワクチンは受けられますか（2）

8月：ステロイド外用薬（塗り薬）のお話

9月：「アセトアミノフェン」と「タイレノールA」は同じ薬？

10月：サプリメント

11月：副作用について

12月：「ポリファーマシー」という言葉を知っていますか？

令和4年 1月：新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の副反応について

2月：帯状疱疹について

3月：漢方薬の服用方法と服用時間

(3) 「AMR対策に関する抗菌薬使用量調査の地域における検討」に関する研究への協力

令和3年6月25日～9月30日 報告薬局数：31薬局（日本薬剤師会）

(4) 令和3年度アンチ・ドーピング教育・啓発（都道府県委託）事業（日本スポーツ協会）

アンチ・ドーピング啓発資料作成（ポスター 300部・チラシ600部）

配布先：加盟団体、県内クリニック、県内体育施設、県内高等学校

令和3年度 試験検査センター事業報告

I. 医薬品検査について

1) 計画的試験

令和3年度の計画的試験検査については、試験検査センター委員会の了承を得て、クロルフェニラミンマレイン酸塩の定量試験 及び漢方薬の細菌試験を実施した。

検体の提出は178検体であった。

その他の検体として、動物薬（目薬）のクロルフェニラミンマレイン酸塩の定量を実施した。

また、漢方薬の細菌試験については第18改正日本薬局方「参考情報」を結果判定の参考とした。

検査対象	検査項目	検体数
クロルフェニラミンマレイン酸塩	定量試験	102
漢方薬	細菌試験	64
その他	定量試験	1
		167

2) 令和3年度医薬品精度管理試験（日本薬剤師会）

○日薬より試験実施要領及び検体などが配布された後、下記の試験を行った。

○クロルフェニラミンマレイン酸塩の定量試験

令和4年1月14日提出

3) 令和3年度登録試験検査機関技能試験（厚生労働省）

○国立医薬品食品研究所より検体及び試験法が配布され、下記の試験を行った。

○クロラムフェニコールの定量試験、旋光度及び融点測定

令和4年3月17日提出

4) 依頼医薬品・化粧品検査

○主に、化粧品の細菌検査及び医薬品の規格試験等の依頼を受けた。

	検査数	検査料金
依頼	15	156,200

II. 水質検査について

1) 学校関係水質検査

県立学校及び市町村の水質検査、また、琉球大学附属小学校・中学校等の水質検査を行った。
昨年度に引き続き、新型コロナの影響で休校や時差登校などがあり、学校の通常登校にあわせて徐々に検査を実施した。

また、学校によってはプール授業が中止または短縮となるなど、プール水の検査数は契約数より減じた。

	検査数		検査料金
	飲料水	プール水	
県立学校	77	93	2,389,860
市町村 など	465	274	7,964,523
計	542	367	10,354,383

2) 依頼水質検査

公立学校からの個別依頼、こども園などの検査を行っている。

	検査数	検査料金
一般依頼	118	1,369,060

III. 空気環境検査について

1) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査

県立学校及び那覇市 等より空気環境検査の委託を受けた。

今年度より糸満市立小中学校の検査を実施した。

検体を取りまとめ財団法人東京顕微鏡院へ分析を依頼した。

	検査数	検査料金
県立学校	80	1,038,400
市町村 など	155	2,372,359

計	235	3,410,759
---	-----	-----------

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、2,140,000円。

2) ダニ又はダニアレルゲン検査

県立学校、那覇市、国立沖縄工業高等専門学校及びこども園等の検査を行った。

	検査数	検査料金
県立学校	228	635,360
市町村 など	760	1,642,300
計	988	2,277,660

IV. 随時の調査等依頼への対応

○学校環境衛生や医薬品等の検査に関する問い合わせについて、資料提供を行った。

- 1) 換気扇からの水漏れの原因と対処について
- 2) 試薬の廃棄方法について など 12 件

V. 試験検査センター委員会 日時：令和3年12月22日 場所：沖縄県薬剤師会 研修室

1 報告事項

- 1) 試験検査センター長及びセンター長代理の就任について
- 2) 令和2年度報告及び令和3年度中間報告（医薬品検査・水質検査等）
- 3) 厚労省 登録試験検査機関における外部精度管理（令和2年度）報告書について
- 4) 日薬 医薬品試験検査に係る精度管理試験の結果報告（令和2年度）について
- 5) 登録試験検査機関の厚生労働省への登録手続きについて

2 議題

- 1) 令和3年度計画的試験について
- 2) 令和4年度 事業計画(案)について

VI. 研修

1) 日本薬剤師会 試験検査センター技術研修会

講習日 令和3年12月2日

～研修内容～

講習会場 W e b 開催

1 粘着力試験法と貼付剤の粘着特性評価

出席者 小泉 宝之

2 医薬品精度管理試験

3 粘着力試験報告

2) リオンテック 騒音測定の基礎技術

～研修内容～

講習日 令和3年12月23日

1 音、騒音レベルとは

講習会場 W e b 開催

2 騒音計の構造、性能

出席者 小泉 宝之

3 環境騒音の測定方法

4 環境騒音の評価

第86回総会資料

<議案第1号 令和3年度決算承認の件>

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	1,405	1,485	△80
特 定 資 産 受 取 利 息	1,405	1,485	△80
受 取 入 会 金	720,000	897,500	△177,500
受 取 入 会 金	720,000	897,500	△177,500
受 取 会 費	104,816,538	99,023,020	5,793,518
正 会 員 受 取 会 費	55,809,198	57,434,200	△1,625,002
賛 助 会 員 受 取 会 費	48,674,340	41,252,820	7,421,520
特 別 会 員 会 費	333,000	336,000	△3,000
事 業 収 益	1,923,235,181	1,793,843,418	129,391,763
出 版 物 事 業 収 益	3,909,880	5,002,326	△1,092,446
広 告 料 事 業 収 益	260,000	0	260,000
そ の 他 事 業 収 益	30,774,017	8,343,777	22,430,240
調 剤 報 酬 収 入	1,702,989,408	1,586,427,442	116,561,966
一 部 負 担 金 収 入	139,029,873	144,924,436	△5,894,563
小 分 治 療 剤 収 入	9,211,682	13,073,567	△3,861,885
保 険 外	12,443,287	9,206,520	3,236,767
受 取 手 数 料	5,376,252	5,034,567	341,685
保 険 等 調 整 増 減	△687,460	3,976,818	△4,664,278
新 規 契 約 賦 課 金	40,000	30,000	10,000
利 用 契 約 金	2,320,000	2,350,000	△30,000
医 薬 品 検 査 手 数 料	156,200	267,300	△111,100
水 質 検 査 手 数 料	11,699,133	10,342,105	1,357,028
空 気 検 査 手 数 料	5,700,409	4,852,560	847,849
衛 生 検 査 手 数 料	12,500	12,000	500
受 取 補 助 金 等	6,367,631	5,945,377	422,254
受 取 国 庫 補 助 金	1,573,495	0	1,573,495
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	3,535,000	4,862,000	△1,327,000
受 取 民 間 助 成 金	200,000	0	200,000
受 取 補 助 金 等 振 替 額	1,059,136	1,083,377	△24,241
受 取 寄 付 金	265,207	365,207	△100,000
寄 付 金 収 入	0	100,000	△100,000
寄 付 金 等 振 替 額	265,207	265,207	0
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	130,000	610,000	△480,000
雑 収 益	3,782,086	4,032,616	△250,530
受 取 利 息	2,865	2,707	158
雑 収 入	512,164	618,927	△106,763
事 務 受 託 金 収 益	3,267,057	3,410,982	△143,925
経常収益計	2,039,318,048	1,904,718,623	134,599,425

科 目					当年度	前年度	増減
(2)経常費用							
事業費					1,971,996,629	1,860,108,981	111,887,648
期首棚卸高					66,538,657	75,306,024	△8,767,367
仕入高					1,647,519,027	1,512,652,054	134,866,973
期末棚卸高					△72,189,098	△68,372,000	△3,817,098
役員報酬					3,415,170	4,014,147	△598,977
給料手当					105,957,617	81,841,305	24,116,312
雑賞与					64,354,688	81,720,927	△17,366,239
退職費用					15,688,050	15,540,800	147,250
職給付費					2,585,936	3,592,443	△1,006,507
法定福利費					23,977,017	22,245,956	1,731,061
福利生費					722,685	680,220	42,465
科会費					当年度	前年度	増減
旅通減消修研出地光賃広保諸租支支支支外支交管新貸支商雜管					647,910	473,550	174,360
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					9,907,275	10,035,430	△128,155
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					6,526,856	6,031,056	495,800
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					11,311,058	13,501,197	△2,190,139
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					7,449,663	7,251,088	198,575
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					653,629	13,718,310	△13,064,681
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					9,000	10,000	△1,000
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					7,137,337	8,164,941	△1,027,604
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					19,803,075	21,767,408	△1,964,333
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					6,388,309	6,178,393	209,916
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					4,470,088	2,415,288	2,054,800
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					5,135,350	4,269,430	865,920
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					1,350,065	1,541,288	△191,223
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					981,532	772,370	209,162
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					3,141,861	3,191,868	△50,007
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					863,000	1,538,929	△675,929
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					6,000,000	6,560,000	△560,000
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					100,000	100,000	0
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					2,399,100	1,962,400	436,700
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					8,790,430	12,717,777	△3,927,347
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					31,807	31,385	422
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					6,850,859	5,000,908	1,849,951
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					725,774	723,141	2,633
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					300,000	210,000	90,000
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					685,357	774,785	△89,428
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					1,576,065	1,833,343	△257,278
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					191,480	112,820	78,660
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					39,724,040	39,057,619	666,421
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					1,099,830	1,505,853	△406,023
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					6,714,155	5,951,356	762,799
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					123,913	184,820	△60,907
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					1,389,526	1,077,110	312,416
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					36,140	59,195	△23,055
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					216,361	355,189	△138,828
費信運搬却品繕修印刷家料借報險謝公担助附金費料費書入息損失費					2,607,724	3,055,567	△447,843

科 目	当年度	前年度	増減
通 信 運 搬 費	1,329,417	923,914	405,503
減 価 償 却 費	1,047,425	1,149,656	△102,231
消 耗 品 費	3,580,302	1,791,273	1,789,029
修 繕 費	671,000	2,819,364	△2,148,364
研 修 費	25,000	0	25,000
出 版 物 印 刷 費	190,300	0	190,300
光 熱 水 料 費	712,236	685,586	26,650
賃 借 料	751,456	418,520	332,936
保 険 料	94,301	52,654	41,647
租 税 公 課	421,539	427,132	△5,593
支 払 負 担 金	15,868,600	16,137,790	△269,190
支 払 寄 附 金	0	20,000	△20,000
支 払 手 数 料	1,446,044	1,475,701	△29,657
交 際 費	416,652	349,805	66,847
管 理 維 持 費	583,140	190,417	392,723
新 聞 図 書 費	300,175	304,761	△4,586
支 払 利 息	98,804	111,696	△12,892
雑 損 失	0	10,260	△10,260
経常費用計	2,011,720,669	1,899,166,600	112,554,069
評価損益等調整前当期経常増減額	27,597,379	5,552,023	22,045,356
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	27,597,379	5,552,023	22,045,356
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固 定 資 産 売 却 益	0	14,169	△14,169
車 両 運 搬 具 売 却 益	0	14,169	△14,169
経常外収益計	0	14,169	△14,169
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	3	3	0
什 器 備 品 除 却 損	3	0	3
建 物 付 属 設 備 除 却 損	0	2	△2
車 両 運 搬 具 除 却 損	0	1	△1
経常外費用計	3	3	0
当 期 経 常 外 増 減 額	△3	14,166	△14,169
税引前当期一般正味財産増減額	27,597,376	5,566,189	22,031,187
法 人 税 等	2,071,000	170,000	1,901,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	25,526,376	5,396,189	20,130,187
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	781,105,937	775,709,748	5,396,189
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	806,632,313	781,105,937	25,526,376
II 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△1,324,343	△1,348,584	24,241
地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0
寄 付 金	0	0	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△1,324,343	△1,348,584	24,241
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	22,590,944	23,939,528	△1,348,584
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	21,266,601	22,590,944	△1,324,343
III 正味財産期末残高	827,898,914	803,696,881	24,202,033

貸借対照表

令和4年3月31日現在

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	305,026,479	302,167,071	2,859,408
未収入金	310,895,179	287,628,266	23,266,913
商品	70,613,033	66,538,657	4,074,376
立替金	245,920	220,379	25,541
前払費用	555,526	1,252,540	△697,014
仮払金	0	246,048	△246,048
貸倒引当金	△3,080,000	△2,910,000	△170,000
流動資産合計	684,256,137	655,142,961	29,113,176
2. 固定資産			
(2)特定資産			
退職給付引当資産	59,841,477	59,172,958	668,519
九山積立預金	9,420,003	9,419,925	78
法務対策積立預金	5,002,711	5,002,669	42
会館修繕積立預金	35,749,669	32,749,395	3,000,274
災害対策積立	3,001,742	3,001,718	24
移転積立預金	70,006,173	60,005,669	10,000,504
特定資産合計	183,021,775	169,352,334	13,669,441
(3)その他固定資産			
建物	122,231,235	127,369,695	△5,138,460
造作物	807,433	1,173,465	△366,032
建物付属設備	4,459,498	6,682,663	△2,223,165
構築物	3,221,887	3,679,125	△457,238
車両運搬具	330,524	777,166	△446,642
什器備品	5,715,543	8,485,650	△2,770,107
土地	157,097,850	157,097,850	0
電話加入権	2,765,413	2,765,413	0
ソフトウェア	496,708	749,550	△252,842
敷金	1,250,000	1,250,000	0
差入保証金	5,067,640	5,081,850	△14,210
その他固定資産合計	303,443,731	315,112,427	△11,668,696
固定資産合計	486,465,506	484,464,761	2,000,745
資産合計	1,170,721,643	1,139,607,722	31,113,921
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	192,685,948	172,939,478	19,746,470
未払金	19,931,127	23,726,272	△3,795,145
前受金	170,000	260,000	△90,000
預り金	832,619	1,600,671	△768,052
賞与引当金	4,965,750	5,291,100	△325,350
未払法人税等	2,071,000	170,000	1,901,000
流動負債合計	220,656,444	203,987,521	16,668,923

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 固定負債			
長期借入金	69,219,000	79,215,000	△9,996,000
退職給付引当金	52,947,285	52,708,320	238,965
固定負債合計	122,166,285	131,923,320	△9,757,035
負債合計	342,822,729	335,910,841	6,911,888
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	14,954,313	16,013,449	△1,059,136
寄付金	6,312,288	6,577,495	△265,207
指定正味財産合計	21,266,601	22,590,944	△1,324,343
2. 一般正味財産	806,632,313	781,105,937	25,526,376
(うち特定資産への充当額)	123,180,298	110,179,376	13,000,922
正味財産合計	827,898,914	803,696,881	24,202,033
負債及び正味財産合計	1,170,721,643	1,139,607,722	31,113,921

[第86回定時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| ○前濱 朋子 (会長) | ○川満 直紀 (副会長) | ○中村 克徳 (副会長) |
| ○村田美智子 (副会長) | ○佐藤 雅美 (常務理事) | ○西川 裕 (常務理事) |
| ○宮城 幸枝 (常務理事) | ○盛本 直也 (常務理事) | ○阿部 義則 (法務対策担当) |
| ○石川 恵市 (中部地区代表) | ○名嘉 紀勝 (南部地区代表) | ○古謝 真己 (宮古地区代表) |
| ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○姫野 耕一 (災害対策担当) | ○島袋さゆり (卸部会代表) |
| ○知名 博樹 (学薬部会代表) | ○吉田 典子 (薬事情報担当) | |
| ○江夏 京子 (監事) | ○山里 勇 (監事) | |

<代議員>

- | | | |
|----------------|------------------|----------------|
| ※玉城 純 (名護支部) | ※仲座 方利 (宜野湾支部) | ◎又吉智賀子 (小禄支部) |
| ○西坂 順 (名護支部) | ○新垣 紀子 (首里支部) | ※大城 博次 (浦添支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部) | ※大塚成一郎 (首里支部) | ※杉山 英司 (浦添支部) |
| ※江夏 恭範 (うるま支部) | ○神谷朝斗志 (首里支部) | ※武富 弘記 (浦添支部) |
| ※徳嶺 恵子 (うるま支部) | ※磯 昭子 (那覇東支部) | ○日高久美子 (浦添支部) |
| ※福地 健治 (うるま支部) | ○太田井 寛 (那覇東支部) | ※宮城 友寛 (浦添支部) |
| ○阿嘉 秀寅 (沖縄支部) | ※仲宗根かおり (那覇東支部) | ○伊敷松太郎 (糸満支部) |
| ○玉城 幸輝 (沖縄支部) | ※備瀬 紀子 (那覇東支部) | ※小湾 勝敏 (糸満支部) |
| ※玉城 武範 (沖縄支部) | ※又吉 晴美 (那覇東支部) | ○松本 圭五 (糸満支部) |
| ※仲間 聖 (沖縄支部) | ○狩俣 イソ (那覇北支部) | ※兼城 崇 (南風原支部) |
| ○普久原 隆 (沖縄支部) | ○平良 博文 (那覇北支部) | ※川上雄一朗 (南風原支部) |
| ※諸見里めぐみ (沖縄支部) | ※枘井 亮太 (那覇北支部) | ○川上 善久 (南風原支部) |
| ○四谷 祐子 (沖縄支部) | ※我喜屋智香子 (那覇中央支部) | ※城間 盛伸 (南風原支部) |
| ○藤原 明人 (嘉手納支部) | ※小湾 喜彦 (那覇中央支部) | ☆知念 大輔 (南風原支部) |
| ○新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○普久原理江 (那覇中央支部) | ○下地 仁 (平良支部) |
| ※新川 祥平 (宜野湾支部) | ○國吉 直子 (小禄支部) | ○新嵩 由香 (石垣支部) |

☆：議長 ◎：副議長 ○：現地出席 ※議長委任・書面表決

転載記事

会員の地元紙投稿文を紹介します！

ぶれいくたいむ



茶のみ話

名護岳

池間きよ (75)

名護岳に登ってみた。数十年前に友達と誘い合って金剛山とか与那覇岳などに登ったことはあるが、近頃は長時間歩くのはほとんど無沙汰している。

しかしなぜか自信だけはあって友達を誘って行くことにした。名護に行き、登山口の方に行つて車が止められるスペースがあったのでそこに車を置いていざ出発。

6番という登山口から登り始めたが延々と続く木の段、平らな所に出ることもする間もなく木段が続く。以前観光で行った金刀比羅宮の785段、奥まで行くと1368段の階段のことを思い出しながら、必死で登り続けた。

後で調べると100段余りの長い木の段が3回ほどあるというが、もつとたくさんあつたような気がした。やつと「前岳」との標識があり、その後標高345mの名護岳の頂上に着くことができた。休む場所もないのですぐまた下山。登ってきたルートではなく別のルートから下りることになった。しかし出た所は8番で車の姿はない。

8番から6番に行くには下になるべきが、上になるべきが悩むところである。「上に行つてみよう」との指で進んでみたがどうも道が細くなつていくような気がする。

そこへ天の助けか1台の車が通りかかつてお尋ねするとそれらしき車を見たとの情報。喜んで下へ下がついていき、やつと目指す車を見つけることができたが、ちよつと無鉄砲過ぎたかと反省した。

(浦添市)

茶のみ話

僕らのSDGs

亀谷浩昌 (72)

最近、SDGスという語句が耳に目にも飛び込んでくる。これは、国連が2015年に定めた30年までに達成すると決めた持続可能な開発目標のことだそうだ。貧困や紛争、気候変動による自然災害、感染症といった人類が直面している課題を整理した、2030年までに世界が達成すべき目標である。

このテーマは壮大だが、政府や国連はもちろん、企業や自治体、そして個人までもが目標達成のための生き方を選ぶようになっていく。

この言つと何が難しいところもあるのだが、平たく言えば、個人のレベルでは、「いま私にできることについて何だろう」と考え、一人一人が小さなSDGsを実行することが大事なのだ。

大ざつとは考えたが、個々人が、より良い生き方、他人や環境に優しい生き方を実行することが、ゆくゆくは地球規模のSDGsにつながると思う。何のことはない。

私の、そしてあなたのSDGsは、向上心、親切心、もつたいないの心、等々の、これまでに団塊の世代のわれわれが普通にとつてきた生き方である。これが世代間を超えて広がっていけば、小さな流れがやがて大河となるように、大きな力になるだろう。

周りの人に親切にしよう。物を大事に使い、こみをなるべく出さないでおう。再利用できるものはリサイクルに回そう。等々、今日からでもすぐできることを実行することがSDGsの実践なのだ。

(那覇市)

沖縄タイムス：令和4年6月19日

沖縄タイムス：令和4年7月14日

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

薬事情報

新型コロナウイルスワクチン 専門電話相談事業報告

薬事情報担当理事
吉田 典子



令和3年3月15日に「沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センター」が開設され、早1年余りが経過した。新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する相談体制の構築については、令和3年2月15日に国の新型コロナウイルスワクチンコールセンターが開設され、沖縄県も同様に、自治体で対応が困難な専門的な相談等を県民から受け付けた際の適切な体制の確保が可能となるよう、相談体制の準備が進められた。県の相談窓口設置に際し、令和3年2月16日に県から県薬に「新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務」事業委託の打診があり受託を決定した。3月には、同業務に係る薬剤師及び事務員の募集を行い、応募した薬剤師を集めて沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部の協力を得て、キックオフミーティング（業務の概要、ワクチンの概論等）を行うなど、開始に向け準備を進めた。電話機、備品等のインフラを整備、ワクチンに関する書籍、雑誌、関連する最新情報の収集、対応マニュアルの作成等、開設準備を行った。全国で医療従事者向けのワクチン接種が開始されたばかりで情報が少ない中、2月に事業を開始した熊本県薬剤師会に相談体制を構築するまでの準備や現状を教えてください、質疑応答事例についても快くご提供いただいた。令和3年3月15日、本会館薬事情報センターに「沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センター」を設置、薬剤師・事務員各1名体制で業務開始した。同年4月1日からは、平日薬剤師・事務員各1名体

制、土日祝祭日は薬剤師2名・事務員1名体制となった。（業務時間：午前9時～午後5時）

令和4年6月30日までに住民や医療従事者等から3,014件の問い合わせに対応した。相談員に求められるのは、ワクチンなど薬剤に関する知識の他、情報収集力、相談者の真意を汲み取る力、提案力、傾聴及び共感力等が重要になってくる。これまでの相談内容を分類別にみると、副反応が全体の37.2%、次いで安全性26.7%と多くの方が接種前後の安全性に不安を持っている事が判る。特に妊婦、授乳婦、病気や服用中の薬がある方からの問い合わせは多く、接種後の副反応に使用する薬剤や、ワクチンの接種間隔の短縮や使用期限の延長、異物混入に関する事、中には誤った情報や誤解を招く情報に対する真偽の確認を求められることもあった。相談件数をみると、ワクチン接種開始から新型コロナウイルス感染症第4波～5波にかけては感染者数に並行して増加したが、3回目の広域接種以降は減少傾向にある。その理由としては、1-2回目接種の経験や調査報告書及びメディア等の情報も関係しているのではないだろうか。

沖縄県は全国と比較してワクチン接種率が低い状況が続いているが、接種を悩んでいる方へはワクチン接種の意義を理解して頂き、より多くの方に接種していただけるよう今後も柔軟に対応していく。

【協力薬剤師】

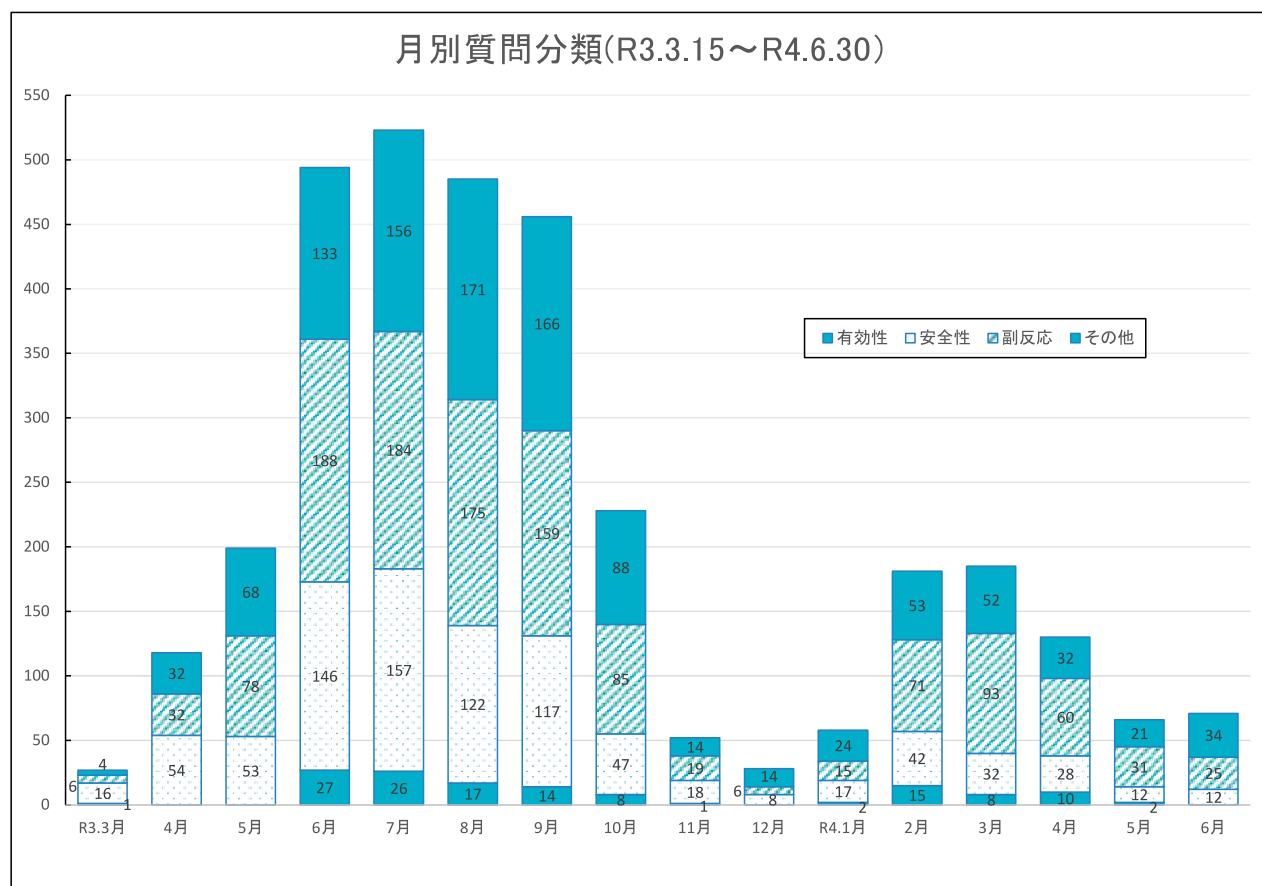
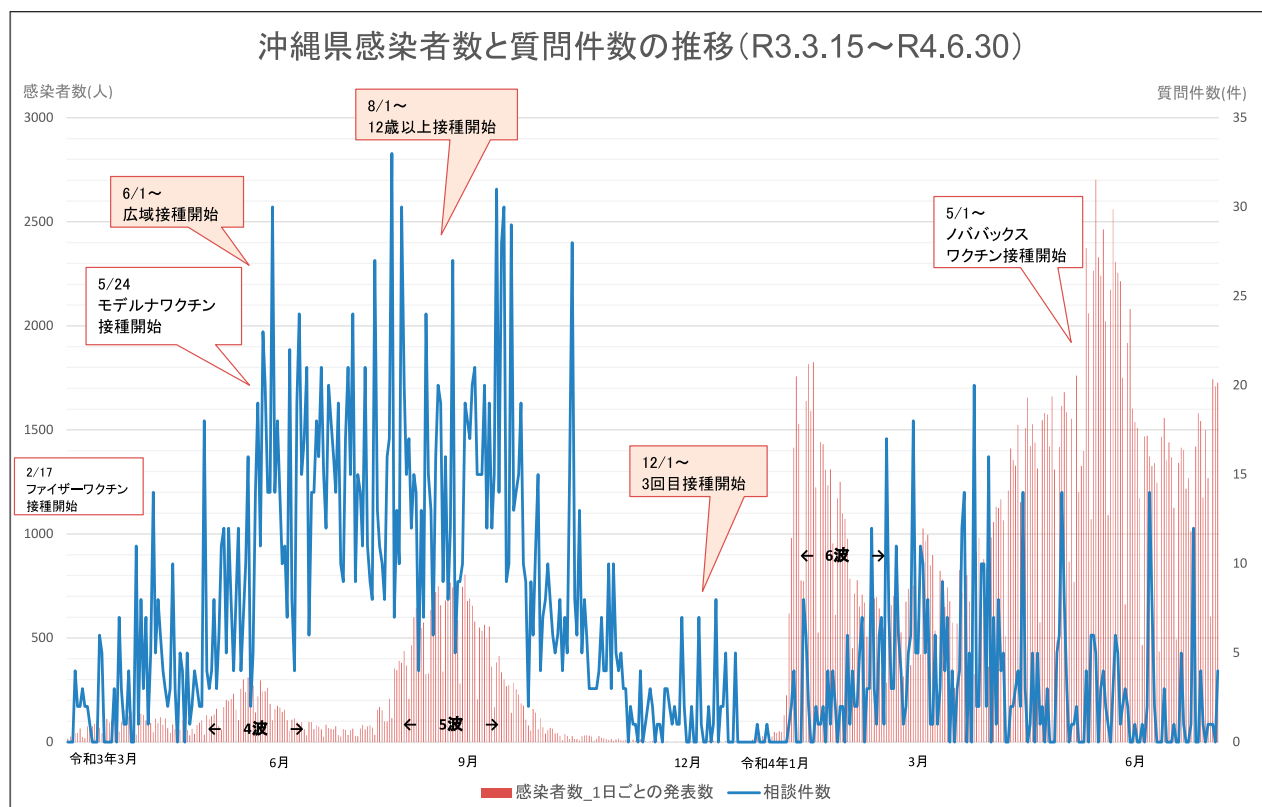
○安次富 長洋 ○新垣 紀子 ○伊集 智英
○亀谷 浩昌 ○北池 律文 ○木下 誠
○立岡 雅子 ○玉城 迅也 ○長瀬 涼
○松本 圭吾 ○松本 薫之 ○諸見里 めぐみ

【専任事務】

○赤嶺 美樹

（敬称略・五十音順）

○糸数 理江 ○糸嶺 達 ○内嶺 陽平
○喜友名 朝史 ○平良 恭子 ○詫摩 敏康
○西川 裕 ○平田 崇 ○前濱 朋子
○山内 一姫 ○吉田 洋史



薬事情報

新型コロナウイルスワクチン専門電話相談事業 協力薬剤師寄稿文

＜新型コロナウイルスワクチン接種相談業務を通して＞

ドラッグイレブン読谷店
北池 律文



私は、新型コロナウイルスのワクチン接種相談業務が開始された最初からではなく、去年7月から途中で相談業務に参加させていただきました。医療従事者や優先接種者の初回接種が進み、一般接種が始まるかという話が出ていた頃でした。勤務する薬局でも質問を受けることが出てきたため、情報収集にと薬剤師会の勉強会に参加したことがきっかけでした。

未知のウイルス、新しい機序のワクチンという事で、日々情報が更新されて、時に誤った情報もインターネット上に溢れる中で、相談センターは最新の情報がまとめられており、それが手軽に閲覧できる環境にあり、相談業務だけでなく、普段の職場の患者相談時にも、とても助かりました。

相談対応した数日後に情報が更新され、同じ質問が来た場合にも前回とは違う回答を必要とする等ある中で、相談業務に参加していたおかげで、自信をもって対応できたと思います。

情報を知りたい、対処法を聞きたい、といった結論のある質問だけではなく、ワクチンに対する漠然とした不安から、誰かに話をしたい、話を聞いてほしい、背中を押してほしいといった相談も多くありました。そういった方は話がループすることも多く、通話時間が長くなりがちで、根気強く相談にのる必要がありましたが、少しでも相談者の不安が解消されたのであればと思うと、充実感がありました。

相談業務の中で、他の薬局だけでなく病院や卸に勤務する薬剤師等、たくさんの方々と知り合い、意見交換をすることができ貴重な経験となりました。

今回の相談業務でお世話になった方々に感謝いたします。またこのような機会がありましたら、協力させていただきたいと思います。ありがとうございました。

今回の相談業務でお世話になった方々に感謝いたします。またこのような機会がありましたら、協力させていただきたいと思います。ありがとうございました。

＜医療人「薬剤師」の職能を活かして＞

オレンジ薬局
諸見里 めぐみ



医師と看護師が日常業務以外で防護服を着用し感染者対応している映像を見て、医療人である薬剤師も何かできないかと考えていました。そんな時、「コロナワクチン相談窓口」の参加を決めました。新しい事を始める時は、誰でもエネルギーが必要です。不安もいっぱいでした。一緒に参加する薬剤師さんと情報共有し、時には相談者に対し電話で折り返し回答することもありました。

相談窓口の薬剤師の役割は、その症状がワクチン接種の副反応か、併用薬の副作用か、それ以外の原因かどうかを総合的に判断し、また、その症状の程度が軽度でアセトアミノフェン等で経過観察が可能か、緊急性があり重篤で受診が必要なのか等をトリアージ出来ることだと思います。つまり、医師や看護師は、市販薬の商品名から代替薬への提案は難しく医療機関受診勧奨一択になるでしょう。

しかし、薬剤師は市販薬でもその商品の成分から代替品を提案推奨が出来ます。そして、軽症の場合は外来受診を増やさずに、自宅にある市販薬で経過観察が可能という状況判断ができることが薬剤師の相談窓口の役割だと思います。

今こそ、薬剤師が新型コロナウイルス感染症関連支援に保険薬局薬剤師、病院薬剤師の垣根を超えて参加することが、薬剤師の職能を社会にアピールできる良い機会であると考えます。

<事例>

Q:市販薬のバファリン(アセトアミノフェンかアスピリンかはっきりしない)で副作用が出たことがある。ワクチン接種後に接種部位の疼痛があるが何を服用したらいいですか?

A:副作用原因薬と異なる「ロキソプロフェンは服用して大丈夫だった」という情報を聴取し、自宅にあるロキソプロ

フェンを服用して様子を観るよう回答しました。

Q:ワクチン接種後の発熱や頭痛などの副反応があるが何を服用したらいいですか?

A:自宅にあるOTCの鎮痛薬や風邪薬の商品名の聴取、副作用歴や内服中の併用薬剤の情報を確認し、その時点で一番適切な薬を選択して回答。また、同様の相談でこれから解熱鎮痛薬を購入する場合は、成分名を書き留めて頂いて薬局やドラッグストアで容易に購入できるよう誘導しました。

Q:併用薬に炭酸リチウムがある。ワクチン接種後に発熱、頭痛があるが何を服用したらいいですか?

A:炭酸リチウムと非ステロイド性消炎鎮痛剤は併用注意であり、炭酸リチウムの血中濃度が上昇し、リチウム中毒を呈する事があるためアセトアミノフェンを紹介しました。

<新型コロナウイルスワクチン接種相談業務を経験して>

株式会社琉薬 DI室
山内 一姫



新型コロナウイルスワクチン接種専門相談センターの業務に携わり、様々な経験をさせて頂きました。これまでの経験につきまして、報告致します。

新型コロナの流行が始まった頃、コロナワクチンに対する期待はとても大きく、ワクチン接種が順調に進むことが今後の対策として重要であると言われていました。同時に、私自身、新興感染症の流行下において薬剤師はどのような関わりができるのかを考えていました。そのような中で、沖縄県薬剤師会より「新型コロナワクチン接種に関する電話相談業務」が開始となるお知らせ受け、何か貢献できることはないだろうかという思いから、

相談業務に関する勉強会を受講し、業務へ携わる事となりました。

相談業務の開始当初は、医療従事者先行接種が始まったばかりであり、日本での接種に関する情報が少なく、添付文書やインタビューフォーム、有識者の作成したワクチン専門WEBサイト、メーカーのWEBサイトに掲載されている内容を中心に副反応などの情報を入手していました。

開始当初の相談では、解熱剤の使用に関する相談、服用中の薬剤との相互作用に関する相談などが多くありました。また、「体温を右側で測ったときと左側で測ったときの温度が違うんだけど大丈夫か？」などの微笑まし

い内容もあり、電話とは言え「相談する事で
の安心」を薬剤師が提供できているのではな
いかと感じておりました。

その他、妊娠等に関する質問も応需しまし
た。当初は妊婦の接種に関する国内での情報
が無く、メーカーWEBサイトで海外の妊婦に
対する接種状況報告を確認し回答しました。
メーカーWEBサイトでは、海外文献や対応Q
&Aをいち早く掲載しており、社会全体でコ
ロナへの対応がなされているのだと実感しま
した。

そして何より、他の薬剤師の先生方との情

報共有が、私にとって一番の収穫でした。先
生方の過去の回答事例集から質問内容や回答
方法、情報源などを学び、次回の対応の参考
にしていました。

沖縄県薬剤師会のホームページには「集ま
れば、ゆたかです」と記載があります。まさ
に、その通りだ！と感じます。私たち薬剤師
の知識集約が、県民の健康に役立つのだと実
感しました。

終わりに、この業務に携わることができ感
謝申し上げます。ありがとうございました。

＜沖縄県新型コロナウイルス専門相談センター相談員の経験＞

レモン薬局 糸満店
詫摩 敏康



この度、沖縄県新型コロナウイルス専門相
談センター相談員として勤務経験をしたので
報告をさせていただきます。

私は2019年までは製薬会社のMRとして沖縄
県内で勤務しており、薬剤師としての経験は
まだまだ未熟です。私の上司の薬局長から県
薬剤師会で平日対応できる相談員をさがして
いてやってみないかとの誘いもあり、前職で
も個性豊かな医師と日々ディスカッションす
る仕事だったので、相談員としてなら薬剤師
の技量に関係なく役に立てると思い参加を決
意いたしました。

初回の勤務ではコールセンターの周知もま
だそれほどされていない時期で、ワクチン接
種も高齢者の一部のみがやっと実施され始め
た頃で、入電は0件で拍子抜けだったのを記
憶しておりますが、この時間が後々役に立つ
資料に目を通す大変貴重な時間となりました。
勤務を重ねる度に入電数も増えていき、
最盛期は30件近くを一日で対応する日もあり
ました。9時からの勤務開始で昼休みは無く、
17時までの連続勤務でお昼も食べながらの対
応になります。特に12時からの1時間は看護

協会の電話対応が無いので相談数が逆に増え
る時間帯で、同時に3件入電される事もあり、
事務員さんとDI室の吉田先生との協力で対応
をする日もありました。

当初は、この薬飲んでいけるけど接種大丈
夫？という単純な質問が多く、接種が進むに
つれこれは副反応？対応どうすれば良いの？
的な相談が増えてきました。ワクチン接種が
65歳以下に進むと、反ワクチン接種のお考え
の方からの入電も入るようになり強烈的なやり
取りもありました。私自身も疑問が無いわけ
ではないですが、コロナワクチン専門＝薬剤
師が繋がらない方もいて、薬剤師と知ると
激昂して電話を切られた事もあります。また、
「お前は接種したのか？お前の家族も打ったの
か？お前らの将来が楽しみだな!!」と言われ
た事は今では笑い話になりますが、当時はこ
ういった相談者の対応にはどっと疲れが出た
ことを記憶しております。さらには、政府の
政策にクレームを言う方などもいて、こちら
では対応できない相談内容なども入り対応に
苦慮する事もありました。実際に副反応と考
えられる症状で苦慮しているご高齢者の中に

は精神疾患をお持ちの方もいて、長時間の電話対応を要するご相談内容もあり、何が正しいのか疑問になる事もしばしばありました。

しかし、相談員での経験で教訓になった1例もありました。それは当たり前ではありますが、薬剤師なので診断を下してはいけないとの再確認ができた事例です。とある施設でワクチン接種した方が筋注時に激しい痛みが出て、その後、神経麻痺のような症状が続くので1回目の施設の対応の悪さもあり2回目の接種を他の施設で行った際に接種した医師より「ワクチンの副反応ではなく注射接種による痛みじゃないかな？」と言われたそうで相談者の方に私も橈骨神経障害の疑いがあるから他のクリニックで一度診断してもらった方がいい旨をお伝えしたつもりが、コールセンターで橈骨神経障害と診断を受けたと1回目を接種した施設に医療事故だから保証してほ

しいと連絡を入れたので、その施設からも確認の電話をコールセンターにしてきて説明するのに時間がとられた事がありました。勿論、疑いがあるから他院を受診するように勧奨はしましたが、言葉一つ間違えたら医師法違反でこちらが訴えられるケースになってもおかしくない事例でした。

相談者は千差万別で、本当に困っている方や、そうではない方、接種をためらっている方、接種をしたいけど出来ない方など多岐にわたりましたが、コールセンターの役割として政府の早期ワクチン接種のために必要な措置の一翼を担えたかは私自身まだ答えが分かりませんが、私とコンタクトがあったご相談の一人でも多くにこの事業を理解して頂き、薬剤師の地位向上に少しでも寄与できたのであれば、相談員として参加した意義があったものと考えます。

薬事情報

パキロビッド薬物相互作用対策に関する研修会報告

会期：令和4年5月30日（月）19:00～20:30

会場：沖縄県薬剤師会館ホール・Web (Zoom)

5月30日、新型コロナウイルス感染症治療薬のパキロビッドについて薬物相互作用対策に関する研修会が、薬剤師会館とオンラインによるハイブリッドで開催されました。

はじめに、薬剤師会事務局の長嶺主任より、パキロビッドの備蓄・登録方法・院外処方の流れについて説明されました。大まかなところは以前より発売されている治療薬のラゲブリオと同じような流れであり、すでにラゲブリオの取り扱いのある薬局では問題なく行えることと思われます。しかし、パキロビッド取り扱い薬局の登録については現時点で「ラゲブリオの調剤実績のある薬局のみ」という条件があるようです。ラゲブリオを備蓄しているものの調剤する機会のなかった薬局もあ

会営薬局とよみ
宮里 威一郎



るでしょうから、普及という観点から今後見直されることを期待します。

次に、県立中部病院の感染症内科医師・横山周平先生から『パキロビッドの使いどころと、今後の流行の見込み』というテーマでご講演いただきました。パキロビッドによる重症化予防効果、主な重症化リスク因子について説明いただいた後、実際の処方例について紹介いただきました。その中で、重症化リスクをもっていたとしても症状が軽快してきている場合には抗ウイルス薬が必須ではないと

<プログラム>

○「パキロビッドの備蓄・登録方法・院外処方の流れについて」説明

司会：薬事情報委員会 吉田 典子

沖縄県薬剤師会 事務局主任 長嶺 勇作

【研修1】『パキロビッドの使いどころと、今後の流行の見込み』

講師：沖縄県立中部病院 感染症内科医師 横山 周平

【研修2】『外来における新型コロナウイルス感染症の軽症・中等症Ⅰ患者を対象とする

経口内服薬（抗ウイルス薬）について ～パキロビッド薬物相互作用対策を中心に～』

講師：薬事情報委員会 委員長 糸嶺 達

いうケースを紹介いただく一方、独居で入院が必要となってしまった場合に自分で連絡が取れなくなる可能性があるケースや、ワクチンの接種状況や既往により効果が低くなることが考えられるケースなどでは、積極的に処方されることを示していただきました。また、ここまでの県内の発生状況や流行の起こるタイミングについて説明いただきました。大型連休など人の動きが増える時期の後には必ず感染爆発が起きていること、感染者数が下がりきらないうちに次の波が来てしまうためにさらに波が高くなっているということも皆さんイメージのとおりだと思います。治療薬の登場により、入院期間の短縮、医療ひっ迫のリスクの軽減が見込まれます。その一方、高齢者施設からは感染者が出た場合にかかりつけ医が対応できていないケースもあるようで、ラゲブリオやパキロビッドを処方しようにも備蓄している薬局が近くにないという



研修2講師 糸嶺 達氏

こともあるようです。次の夏に向け、治療薬を患者へ届けるシステムを作り上げる必要を熱く訴えておられました。コロナがインフルエンザのように対処できるようにするには、薬局でも

インフルエンザ治療薬のタミフルなどが当たり前のように薬局に備蓄されていたようにパキロビッドなども備蓄されている環境を作っていくことが必要だと感じました。



研修1講師 横山 周平氏

最後に、薬事情報委員会委員長の糸嶺達先生からパキロビッドという薬について、薬物相互作用を中心に講演いただきました。その中でまず、これまで検討された様々な治療薬が現在どのような位置づけになっているのか、経口治療薬の作用機序、パキロビッドの肝機能・腎機能低下患者や妊婦・授乳婦への投与についての説明がありました。そして薬物相互作用についてチェックするためにリバプール大学が開発したアプリの「COVID-19 iChart」を紹介いただき、症例を交えてどのように活用したのかを説明いただきました。

今回の研修を受けて、治療薬の登場により我々薬剤師に期待されている役割が、以前よりはっきり大きくなっていると感じました。まだまだ新型コロナウイルス感染症は油断できない状況ではありますが、より早くコロナ以前の日常に近づけるようもうひと踏み張りだと気を引き締め直しました。

転載記事

ぶれいくたいむ



ブルース・リーな父

大城尚美(53)

今年80歳を迎える父。約60年養豚業を頑張ってきた。

高校卒業後は名産の英語学校に住み込みで通った。軍に就職も内定していたが、養豚業に興味があり技術取得のため鹿児島へ渡る。

帰沖後は苦境にできるのか？と笑われながらも必死に早朝から夜遅くまで働いた。理不尽なことに関しては偉い方たちにも容赦なく意見した。

アパート経営をするに当たり宅建取得にもチャレンジ。後から受験した子ども2人がすんなり取得して先を越されても諦めることなく、何年も毎日机に向かい、ついには合格したのだ。

養豚業で自然に付いた筋肉では物足りず、鉄けた、鉄アレイ、ブルワーカーでさらに鍛えた。筋肉隆々の体は子どもながらにかっこいいと思った。

最近幼なじみに私の父を「ブルース・リーみたいってすこと思っていたんだよねー」と言われた。「やつぱり？」と大笑いした。

運転免許更新で高齢者の列に並んでいると、「なぜここにいるの？」と言われるくらい父は若々しい。松下幸之助を師と仰ぎ、愛読書が本棚に並ぶ。プレゼントした脳トレの本は隅に追いやられていた。

そんな元気な父の血圧が上がってしまった。総合病院を紹介され受診したが異常なし。腎機能、肝機能、尿酸、糖の値は全て正常値。高齢者にとっては素晴らしいデータだった。100歳超え、大往生の祖母を超えるくらい、長生きしてほしいな。

(豊見城市、薬剤師)

沖縄タイムス：令和4年7月24日（日）



医療従事者の犠牲を悼む県医師会、薬剤師会の会員ら23日、糸満市伊原

医療従事者の冥福祈る

糸満 医師会・薬剤師会が参拝

【糸満】県医師会（安里哲好会長）と県薬剤師会（前濱朋子会長）は23日、沖縄戦で犠牲になった医療従事者を悼む「沖縄戦殉職医療人之碑」＝糸満市伊原＝を参拝した。医師4人、薬剤師5人のほか歯科医師、獣医師、助産師、医療技術者らの冥福を祈った。

安里会長は「命を救うために従軍したのに、その過程で命を奪われたのは悲惨なこと。こういうことが二度と起きないように祈ると同時に、今後も県民の健康と命を守っていきたい」と話した。

前濱会長は「平和で人が傷つかないような世界であってほしい。先輩方は最前線で努力しておられた。われわれもコロナ禍の最前線で人を助けるために頑張りたい」と話した。

(浦添西原担当・具志堅孝)

沖縄タイムス：令和4年6月28日（火）

※発行元が記事の利用・編集を許諾していません。

実務実習

第76回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップin 九州・福岡

2022年3月20日、21日の2日間、認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップに参加しました。コロナウイルスの感染状況を鑑み、zoomを利用したオンライン開催という形で行われました。

参加者は総勢72名と多く、そこから大きく3つに分け、さらに3つのグループに分け、8名/1グループの総9グループでスモールグループディスカッション（SGD）が行われました。私のグループは薬局薬剤師3人、病院薬剤師2人、大学教授1人で構成されており、福岡、鹿児島、長崎、宮崎と九州各地から集まったメンバーでした。オンライン開催であった為、ワークショップ開始前の雑談等もできずSGD開始となり、皆はじめはぎこちなかったですが、各グループに配置されたタスクフォース（ファシリテーター）の方々の働きもあり、2日目には休憩中に雑談できるほど打ち解けた雰囲気になりました。そのおかげで2日間みっちり行われたワークショップを最後には楽しく終えることができました。

ワークショップの内容としては薬学教育のカリキュラム・プランニングをテーマとし、まずは現在の薬剤師教育の問題点を挙げ、KJ法を用いてまとめました。次にカリキュラムについての講義をうけ、その後各グループで薬学生が卒業時に修得していると期待される能力の3つ「薬物治療の実践」「地域包括ケアへの参画」「医療倫理と薬剤師」の中から1つを与えられ、各々カリキュラムを段階的に作成していきました。私たちのグループでは「地域包括ケアへの参画」のカリキュラムを作成することとなり、まずは何をもって地域ケアへの参画と言えるのかを話し合いを行い、理想とする薬剤師像を共有し、アウトカム（学習成果）を「多職種と連携して、地域住民の安心安全な生活を支援する」と定めま

すこやか薬局 ライカム店
松田 絵理菜



した。このアウトカムを果たすためにはどういった学習目標（SB0s）が必要なのかSGDを行い、最重要の学習目標を「多職種の業務内容や地域包括ケアについて理解し、円滑にコミュニケーションをとり正しい相互理解をはかる」と決めました。この学習目標を評価するための場面（大学での講義や実務実習時のシチュエーションなど）と評価方法（試験やレポートなど）を挙げ、実際に考えられる場面を1つ挙げ、その場面で具体的にどういった行動を行ったときにどのように評価されるのかを4段階でまとめたループリック表（評価基準表）を作成しました。例えば、場面を「多職種会議への参加」とした時に4段階中の最高評価の4では「生活支援を必要とする患者さまを多職種会議に症例として提出し、多職種からの情報を得て薬学的アセスメントを行い、総括的改善案を述べる。」とし、最低評価の1では「かろうじて多職種会議へ参加したと言える」「多職種会議に参加し、発言する。」と設定しました。1つのSB0sを考えるだけでも2日間かかっているわけですから、薬学教育コアカリキュラムの作成には膨大な時間がかかっているのだらうなと思いました。

私も学生時に実務実習を経験しましたが、アウトカムやループリック表の作成にこれほど時間と労力が使われているとは思っていませんでした。これから実際に実習生を受け入れた際には、カリキュラムについても説明し、将来どのような薬剤師が求められているか知ってもらい、学生自ら実習を良いものにできるように手伝っていきたいと思います。

実務実習

第76回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップin 九州・福岡



会営薬局とよみ
宮里 威一郎

2022年3月20、21日に学生実習の指導薬剤師になるためのワークショップに参加しました。学生にとって一大イベントの実習をサポートするのにどのような知識が必要なのか、また、めったにないワークショップ形式での学習に緊張しました。

ワークショップの前週、オンラインの接続テストが行われました。これは、当日大勢が同時接続し進行するため、通信環境の安定確認、またパソコン動作の不具合などのトラブルを未然に防ぐものです。6名程度がネット上に集められ、Zoomやパワーポイント、miroというオンラインホワイトボードアプリの操作を一通り教わり、この日は1時間程度で解散となりました。

ワークショップ当日は100名近くの薬剤師が集まりました。集まった薬剤師は年齢や性別、職種、地域などに偏りが出ないよう8名程の小グループに分けられます。各グループにはタスクフォースという世話人がついてくれるので安心でした。

各セッションでは、講義を全体で受けた後、小グループに分かれディスカッションの時間となります。ディスカッションでは司会、記録、発表の係をセッションごとに分担し、終了後にはグループ単位で発表となります。

まず自己紹介とコンセンサスゲームを行いました。コンセンサスゲームとは心理テストのようなシチュエーションでグループディスカッションをし、意見をまとめていくレクリ

エーションのようなものです。これでグループ内のメンバーの顔と名前を一致させながら自分の緊張をほぐしていくことができました。

次に薬学教育に関するセッションとなります。普段あまり考えてこなかった教育の問題点や、目標の立て方、学生への接し方、評価や指導の方法などの講義を聴いた後、各グループに分かれ具体的な話し合いをし、パワーポイントに作成していきました。グループディスカッションの時間は、十分あるように思ったのですが、意見を出し合っていく中で、お互いの考えにずれが生じないように取捨選択を行い、まとめていくことに精神力と時間を擦り減らしてしまいました。普段の業務では全く使っていない部分の脳を使っていると感じ、タスクフォースのフォローなしでは発表まで漕ぎつけられなかっただろうと思いました。

2日間のワークショップを経て、実習生を受け入れることに自信が持てるようになったと胸を張って言うことはまだできませんが、現場でしか学べないことがある以上、受け入れる態勢を整え、指導に対する不安をなくし、学生にとって充実した成果が得られるよう、今回のワークショップでの経験を活かしていきたいと思います。

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

学薬部会

令和4年度学校薬剤師部会新人研修会

日時：令和4年4月17日（日）13：30～16：00

会場：沖縄県薬剤師会館ホール及びWEB（Zoom）

<式次第>

1. 開会挨拶

司会 学校薬剤師部会 副部会長 笠原 大吾
学校薬剤師部会 部会長 村田 成夫

2. 研修

(1) 学校薬剤師の役割～学校薬剤師の職務～ 学校薬剤師部会 那覇支部長 新垣 紀子
(2) 学校環境衛生の定期検査に係る実技について

学校薬剤師部会 副部会長 知名 博樹
学校薬剤師部会 副部会長 上原 卓朗
学校薬剤師部会 副部会長 笠原 大吾

3. 事務連絡

今年で薬剤師歴4年目になります。日々の業務にも慣れ心にも少し余裕が出てきました。今年は学校薬剤師業務に挑戦したい！と上司へ相談したところ、さっそく4月から小学校と認定こども園に従事できることになりました。

去る4月17日、Webと現地のハイブリット開催で行われた「令和4年度学校薬剤師新人研修会」に現地参加し、学校薬剤師業務について学習したので報告します。学校薬剤師は学校保健安全法において、幼保連携型認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に必ず置くことと定められており、職務としては、学校環境衛生の維持管理に関する基準に基づいて、健康や安全に関する評価や指導・助言を行います。飲料水やプール水、照明、換気、騒音など様々な検査があり、多くは通

こくら虹薬局
仲田 里穂



常の医薬品に関する薬剤師業務ではなく、衛生化学の知識が必要となります。大学以来触れていなかった分野なので、自分にできるだろうかと少し不安になりました。しかし、今回の講義では一つ一つの検査項目の機器の使用法や注意点だけでなく、これまで先生方が経験した失敗談やエピソードなども交えてお話ししてくださり、まだ業務未経験の身でも具体的にイメージしながら興味深く聞くことができました。

それぞれの検査のポイントとしては次の通

〔講師陣〕



新垣 紀子
副部会長



知名 博樹
副部会長



上原 卓郎
副部会長



開会挨拶
村田 成夫
部会長



司会・事務連絡
笠原 大吾
副部会長

りです。空気検査では日中8時間以上24時間以内の空気の採取が必要であり、前日から換気・密閉などの準備もありスケジュールリングが重要となること。照度検査では生徒のいる教室で黒板の照度を計り(電子黒板でも同様に測定)、生徒目線でまぶしさなどが無いか確認すること、白衣を着ないこと。騒音検査は途中でチャイムが鳴らないように要注意。水質検査はプール採水時にポケットの中身が水中に落ちないようにという面白エピソードもありました。その他、ダニ・アレルゲン検査やCO2、粉じん検査、学校給食衛生管理の評価などの学校環境衛生の管理に加えて、健康相談や保健指導にも従事するよう求められます。

私の大学の研究室の先生は学校薬剤師をしていたので、検査がある際は同行して見学していました。当時の記憶も辿りながら研修会に参加し、学校薬剤師の職務は地域によって変わることも知りました(内地の学校は暖房機器もあり、検査項目が多かったように思います)。また、卒業研究では「中高生への医薬品教育」をテーマとし、医薬品情報誌の配付や保健室での薬剤師の出張相談会開催など、医薬品教育の充実化に向けた試みを行いました。今回学校薬剤師として従事するにあたって、医薬品教育の補完にも十分に寄与できるよう、薬剤師の存在をアピールしていきたいと思います。



学薬だより

学校薬剤師部会
副部会長 知名 博樹



拝啓、梅雨も明け猛暑が続く毎日で、今度は夕立を心待ちにする季節がやってきました。学校薬剤師の皆様におかれましては、日頃より学校薬剤師活動にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、県内の各学校では新学期が始まってはや3ヶ月が過ぎようとしています。新入生の皆さんもちょうど学校に慣れてくる頃で楽しくスクールライフを過ごしていることと思います。そして、学校へ行き来しているとい

つも感じるのは移りゆく季節感です。校庭に咲く花、子供たちの制服の変化、学校で行われる行事、その練習風景や飾り付けなど学校へ通っていると季節の移り変わりをしっかり肌で感じ取ることができます。

もちろん、この時期といえば、子供達も楽しみにしている水泳プール。炎天下の中で蒼く輝くプール内では元気にはしゃぐ子供たちの姿が目に入ります。皆様もプール水の採水で伺った際など気持ちよさそうにバシャバシャと水面をたたく子供たちを見て私も飛び込みたいと思った事もあるのではないのでしょうか。

コロナ禍が始まった当初は、ほとんどの学校がプールの使用中止を余儀なくされていましたが、今年はやっと普段通り稼働する学校も増えてきました。コロナ禍の中での水泳プール使用の注意点なども含め、こうして子供達が安全で安心してプールに入水できるのも我々学校薬剤師がしっかりと日々の水質管理の指導助言や定期検査を行っているからであり、他も含めて学校の環境衛生の向上は私たち学校薬剤師が担っています。

これからも皆様の薬剤師としての知識を学校で存分に披露していただき、日々学校に足を運んで『今の季節』を感じながら子供達や学校で働く教職員のために、安全で安心な学校の環境づくりにこれからも貢献いただけると幸いに存じます。

また、学校環境衛生の各検査の記入用紙や提出する際の鏡表紙などを沖縄県薬剤師会ホームページにアップしていますので、検査の際にはぜひご活用下さい。

時節柄これからの皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。 敬具

その他会務報告

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

令和4年6月23日（日）慰霊の日〔ひめゆりの塔構内：糸満市伊原〕



沖縄県内各地で開催される各慰霊碑への参拝には、沖縄県から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参拝の自粛が呼びかけられており、一昨年から引き続き規模を縮小した異例の開催となりました。

本会の沖縄戦殉職医療人之碑への慰霊には、毎年、本会と沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会の供花が添えられています。

今年の同碑の参拝には、本会から、前濱朋子会長、神村武之相談役、長田紀昭名誉会員の親族方々が参列し、また、今年より沖縄県医師会とも参拝時間を合わせ、安里哲好会長、稲田隆司常任理事と合同で参拝することができました。

本会の沖縄戦殉職医療人之碑への慰霊は、毎年、午前10時30分から行っておりますので、ぜひ、一緒にご参拝いただけますと幸いです。

（文：事務局 大城 喜仁）

<沖縄戦殉職医療人之碑>

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和23年1月28日に沖縄医療団により、ひめゆりの塔の隣に建立された。題字は、翠宮城瑞芳氏の揮毫。

沖縄戦で軍に協力し、住民の衛生、保健、治療に活動し、各地で戦死した医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等、約60余人を合祀している。戦時体制となった時、住民の生命を預かる医師の大半は日本本土へ疎開したが、「自分たちの郷土は自分たちの手で守り抜こう」と覚悟を決めた医師達は、郷土に踏み止まって住民の治療、衛生に努力した。戦局は不利となり、日を追って増加する傷病者の治療、看護に疲れて倒れる者、さらに、敵陣に斬り込み、自決する者等、実に仁術を天命として尽くし、最後まで闘って戦没した。

薬剤師は、県内・県外合わせて10人近くになると思われる。その内の1人、本会第2代会長の長田紀助氏（会員の故久場トヨ氏、長田紀昭氏の御尊父）は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村（現南城市）字糸数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏（キセ薬局・故喜瀬乗惟先生の御令兄）は中国大陸の山野で没された。

薬事情報おきなわ No.270

2022年6-7月号 : Vol.37 No.2

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2022年5月25日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ジスバルカプセル40mg (VBZ 40)	40mg1カプセル	2,331.20	田辺三菱製薬	バルベナジントシル塩酸: VMAT2阻害剤-遅発性ジスキネジア治療剤-(遅発性ジスキネジア)(新有効成分)
	ケレンディア錠10mg (10/F I)	10mg1錠	149.10	バイエル薬品	フィネレノン: 非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く)(新有効成分)
	ケレンディア錠20mg (20/F I)	20mg1錠	213.10		
	カロテグラスト錠120mg (EA2-K)	120mg1錠	200.00	EAファーマ	カロテグラストメチル: 潰瘍性大腸炎治療剤/ α 4インテグリン阻害剤(中等症の潰瘍性大腸炎(5-アミノサリチル酸製剤による治療で効果不十分な場合に限定))(新有効成分)
	タブネオスカプセル10mg (CCX168)	10mg1カプセル	1,403.90	キッセイ薬品工業	アパコバン: 選択的C5a受容体拮抗薬(顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症)(新有効成分)
	セムブリックス錠20mg (@20)	20mg1錠	5,564.50	ノバルティスファーマ	アシミニブ塩酸塩: 抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼインヒビター(ABLミリスチルポケット結合型阻害剤)(前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病)(新有効成分)
	セムブリックス錠40mg (@40)	40mg1錠	10,618.30		
注 射 薬	バビースモ硝子体内注射液 120mg/mL	6mg0.05mL1瓶	163,894	中外製薬	ファリシマブ(遺伝子組換え): 眼科用VEGF/Ang-2阻害剤 抗VEGF/抗Ang-2ヒト化二重特異性モノクローナル抗体(〇中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 〇糖尿病黄斑浮腫)(新有効成分)
	サムタス点滴静注用8mg	8mg1瓶	1,160	大塚製薬	トルバパタンリン酸エステルナトリウム: V_2 -受容体拮抗剤(ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留)(新有効成分)
	サムタス点滴静注用16mg	16mg1瓶	2,169		
	アロカリス点滴静注235mg	235mg10mL1瓶	11,276	大鵬薬品工業	ホスネツピタント塩化物塩酸塩: 選択的NK ₁ 受容体拮抗剤制吐剤(抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む))(新有効成分)
	オンデキササ静注用200mg	200mg1瓶	388,671	アレクシオンファーマ	アンデキサネット アルファ(遺伝子組換え): 直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤(直接作用型第Xa因子阻害剤(アピキサパン、リバーロキサパン又はエドキサパントシル酸塩水和物)投与中の患者における、生命を脅かす出血又は止血困難な出血の発現時の抗凝固作用の中和)(新有効成分)
	メブセヴィ点滴静注液10mg	10mg5mL1瓶	259,932	アミカス・セラビューティクス	ベストロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え): μ コ多糖症VII型治療剤(μ コ多糖症VII型)(新有効成分)
	ゼンフォザイム点滴静注用20mg	20mg1瓶	570,420	サノフィ	オリブダーゼ アルファ(遺伝子組換え): 遺伝子組換え酸性スフィンゴミエリナーゼ欠損症治療剤(酸性スフィンゴミエリナーゼ欠損症)(新有効成分)
	タクザイロ皮下注300mgシリンジ	300mg2mL1筒	1,288,729	武田薬品工業	ラナデルマブ(遺伝子組換え): 遺伝性血管性浮腫発作抑制用 血漿カリクレイン阻害剤 完全ヒト型抗ヒト血漿カリクレインモノクローナル抗体(遺伝性血管性浮腫の急性発作の発症抑制)(新有効成分)
	ミチーガ皮下注用60mgシリンジ	60mg1筒	117,181	マルホ	ネモリズマブ(遺伝子組換え): ヒト化抗ヒトIL-31受容体Aモノクローナル抗体(アトピー性皮膚炎に伴うそう痒(既存治療で効果不十分に場合に限定))(新有効成分)
	モイゼルト軟膏0.3%	0.3%1g	142.00	大塚製薬	ジファミラスト: アトピー性皮膚炎治療剤(アトピー性皮膚炎)(新有効成分)
外用薬	モイゼルト軟膏1%	1%1g	152.10		

●報告品目・新キット製品 2022年5月25日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ミネプロOD錠1.25mg (ミネプロOD1.25)	1.25mg1錠	47.80	第一三共	エサキセレン :選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー(高血圧症)(再審査期間中の剤形追加)
	ミネプロOD錠2.5mg (ミネプロOD2.5)	2.5mg1錠	91.60		
	ミネプロOD錠5mg (ミネプロOD5)	5mg1錠	137.40		
	ルセフィODフィルム2.5mg	2.5mg1錠	161.20	大正製薬	ルセオグリフロジン水和物 :選択的SGLT2阻害剤 -2型糖尿病治療剤-(2型糖尿病)(再審査期間中の剤形追加)
	ゼジュラ錠100mg (Zejula/100)	100mg1錠	10,370.20	武田薬品工業	ニラパリプトシル酸塩水和物 :抗悪性腫瘍剤/ボリアデノシン5'ニリン酸リボースポリメラーゼ(PARP)阻害剤(〇卵巣癌における初回化学療法後の維持療法 〇白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法 〇白金系抗悪性腫瘍剤感受性の相同組換え修復欠損を有する再発卵巣癌)(再審査期間中の剤形追加)
注 射 薬	オゼンピック皮下注2mg	2mg1.5mL1キット	11,008	ノボノルディスクファーマ	セマグルチド(遺伝子組換え) :2型糖尿病治療剤 持続性GLP-1受容体作動薬(2型糖尿病)(新有効成分含有医薬品)
	リンバック透析剤TA5	2袋1組	1,597	ニプロ	人工透析液(A剤は塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、無水酢酸ナトリウム、ブドウ糖、B剤は炭酸水素ナトリウム) :人口腎臓用透析液粉末製剤(慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として、以下の要因を持つものに用いる。 〇重炭酸濃度の高い重炭酸型透析液では、過度のアルカローシスを起こすおそれのある場合 〇無糖の透析液では、血糖値管理の困難な場合 〇他の重炭酸型透析液では、高カリウム血症、高マグネシウム血症の改善が不十分な場合、あるいは高カルシウム血症を起こすおそれのある場合)(類似処方医療用配合剤)
	ベバシズマブBS点滴静注100mg「日医工」	100mg4mL1瓶	14,286	日医工	ベバシズマブ(遺伝子組換え)[ベバシズマブ後続3] :抗悪性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクローナル抗体(〇治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 〇扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(パイオ後続品)
	ベバシズマブBS点滴静注400mg「日医工」	400mg16mL1瓶	54,403		
	エイバリスミニ点眼液0.002%	0.002%0.3mL1個	93.90	参天製薬	オミデネバグ イソプロピル点眼液 :選択的EP2受容体作動薬 緑内障・高眼圧症治療剤(緑内障・高眼圧症)(再審査期間中の規格追加)
	ビベスピアロスフィア120吸入	120吸入1キット	6,757.20	アストラゼネカ	グリコピロニウム/ホルモテロールフマル酸塩水和物 :COPD治療配合剤 グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフマル酸塩水和物(慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β ₂ 刺激剤の併用が必要な場合))(新有効成分含有医薬品、新医療用配合剤)
	ビレーズトリエアロスフィア120吸入	120吸入1キット	8,771.90	アストラゼネカ	ブデソニド/グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフマル酸塩水和物 :COPD治療配合剤(慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩和(吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β ₂ 刺激剤の併用が必要な場合))(新有効成分含有医薬品、新医療用配合剤)

●新医薬品 2022年6月8日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ボカブリア錠30mg (SV CTV)	30mg1錠	3,541.60	ヴィーブヘルスケア	カボテグラビルナトリウム :HIVインテグラーゼ阻害剤(HIV-1感染症)(新有効成分)

●新医薬品 2022年6月8日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注射薬	ボカブリア水懸筋注400mg	400mg2mL1瓶	176,458	ヴィーブヘル スケア	カボテグラビルナトリウム: 特効性HIVインテグラーゼ阻害剤(HIV-1感染症)(新有効成分)
	ボカブリア水懸筋注600mg	600mg3mL1瓶	253,850		
	リカムビス水懸筋注600mg	600mg2mL1瓶	90,582	ヤンセン ファーマ	リルピビルン特効性懸濁注射液: 特効性抗ウイルス化学療法剤[非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤(NNRTI)](HIV-1感染症)(新有効成分)
	リカムビス水懸筋注900mg	900mg3mL1瓶	130,310		

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●強力な医療DX推進機運により薬局・薬剤師の次世代対応が急務に(薬局新聞 6月20日)

閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太の方針)で医療・介護分野におけるDX推進が強く打ち出され、医療機関と薬局に対してオンライン資格確認システムの導入を原則義務化する方針が盛り込まれるなど、薬局・薬剤師も本格的なデジタル化と、これに伴う業務改革が急がれる局面を迎えている。日本薬剤師会ではDX対応への尽力を表明する一方、「(現場での進捗に)格差があれば国民に不利益を生じる」など着実な推進を重視する姿勢を強調。日本保険薬局協会は「受け身の立場でなく積極的に参画していきたい」と、経営規模を背景に影響力を発揮していく意欲を寄せている。

●「姓のみ」記載可能にー薬剤師・登攀者の名札~厚生労働省(薬事日報 7月8日)

厚生労働省は、ストーカー被害やカスタマーハラスメント防止等の観点から、薬局やドラッグストアに勤務する薬剤師や登録販売者の名札について氏名記載方法を見直し、6月27日付で都道府県に通知を発出した。今回の改正では、氏名に変わって「姓のみ」「氏名以外の呼称」を記載した名札を付けることを認めても差し支えないとした。

●アクションプランを公表ー薬局薬剤師業務で方向性~厚生労働省(薬事日報 7月13日)

厚生労働省は11日、「薬局薬剤師の業務および薬局の機能に関するワーキンググループ」の取りまとめとして「薬剤師が地域で活躍するためのアクションプラン」を公表した。一包化に限り調剤業務の外部委託を可能とした一方、処方箋の40枚規制見直しは対人業務の充実と逆行しないよう慎重に行うべきとした。

取りまとめは、▽対人業務のさらなる充実▽ICT化への対応▽地域における役割-で構成。

●薬剤師不足の認識に乖離ー都道府県と病院薬剤師会~厚生労働省(薬事日報7月15日)

都道府県内における病院薬剤師の偏在状況について、

都道府県病院薬剤師会の9割以上は「薬剤師不足が生じている」と回答した一方、都道府県と都道府県薬剤師会の半数以上は「不足は生じていない」と認識にギャップが見られたことが、厚生労働省が実施した調査で明らかになった。国公立病院や公的病院で薬剤師不足を認識する声が多く、地域における薬剤師の充足実態を把握し、それを踏まえた経済的・制度的な対応策の検討が求められそうだ。調査は、昨年度予算事業の「薬剤師確保のための調査・検討事業」によるもの。医師・歯科医師・薬剤師統計の個票データ(薬剤師分)を活用し、都道府県や都道府県薬剤師会・病院薬剤師会、3183病院、3200薬局などにアンケート調査を行った。

●薬学部、2025年度以降は新設認めずー将来的な薬剤師余りに対応(読売新聞 7月19日)

文部科学省は2025年度以降、原則として大学の6年制薬学部の新設や定員増を認めない方針を固めた。将来的な薬剤師余りや、近年の薬学部の急増による定員割れなどに対応する。

今年度中の設置認可基準の改正を目指す。厚生労働省によると、薬剤師の総数は45年には、病院や薬局で必要な人数(33万~40万人)を10万人程度上回るとみられる。6年制薬学部を持つ私立58校(60学部)の3割は、入学定員充足率が80%以下にとどまる。薬剤師には、医師らと連携し、患者への薬物療法や健康増進に関わるなど専門性が期待されるが、薬学教育の質低下も指摘される。

●PMDA、後発品初のPWD安全評価ースタチンで先発品と比較(薬事日報7月22日)

医薬品医療機器総合機構(PMDA)は、後発品の安全性評価を目的に、医薬品情報データベース「MID-NET」を用いた初の疫学調査を実施する。脂質異常症治療薬のスタチンについて、MID-NETに集積されたデータを用い、先発品と後発品が投与された患者の肝機能検査値異常の発現状況などを比較する。後発品に対する信頼性が揺らぐ中、実臨床で集積したリアルワールドデータ(RWD)を活用し、安全性に関する科学的エビデンスを収集することで、国民が安心して後発品を使える環境を醸成したい考え。

jq 公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

No.186 2022年5月

抗がん剤投与前の 血液検査値の未確認

注射薬による抗がん剤治療の際、血液検査値を確認せず、中止すべき抗がん剤を投与した事例が6件報告されています(集計期間:2018年1月1日～2022年3月31日)。この情報は、[第66回報告書「分析テーマ」](#)で取り上げた内容をもとに作成しました。

血液検査値を確認せず、中止すべき抗がん剤を投与した事例が報告されています。

事例のイメージ

レジメンの入力

血液検査の実施

未確認

検査値の確認

抗がん剤の投与確定

抗がん剤の投与

主な背景

医師

- ・外来診療が多忙で、検査値の確認を失念した。
- ・病棟担当医は、患者が抗がん剤治療のため入院した際、すでに外来担当医が検査値を見たと思い込み、確認しなかった。

薬剤師

- ・薬剤師による面談時は検査値を確認しているが、今回は面談の対象ではなかったため、確認しなかった。
- ・監査時に検査値を確認する手順になっていなかった。

看護師

- ・外来化学療法室の看護師は、抗がん剤の投与前に検査値を確認する手順になっていなかった。

医療事故情報収集等事業

医療
安全情報

No.186 2022年5月

抗がん剤投与前の血液検査値の未確認

事例1

患者はmFOLFIRINOXの2コース目の治療のため、2日後に入院することになり、外来で血液検査を行った。その後、外来担当医は検査値の確認を失念した。入院当日、病棟担当医は、外来担当医が血液検査値を確認したうえで入院を決めたと思い、検査値を確認しないまま抗がん剤の投与を確定した。14時過ぎ、抗がん剤の投与を開始した。19時、病棟薬剤師より、2日前の血液検査で好中球数が693/ μ Lであったと指摘があり、抗がん剤の投与を中止した。

事例2

患者に外来でアバスチン+アリムタ療法を行っていた。医師は、来院後の血液検査でクレアチニンが2.07mg/dL(予測CCr:21mL/min)であることを確認しないまま、抗がん剤の投与を確定した。今回は4コース目の投与のため薬剤師による面談の対象ではなく、薬剤師は検査値を確認しなかった。外来化学療法室の看護師は、検査値を確認する手順になっておらず、指示通りに患者に抗がん剤を投与した。2週間後、患者が発熱を主訴に受診し、精査の結果、発熱性好中球減少症、急性腎不全と診断された。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・医師は、血液検査値の評価を行ったことをカルテに記載後、抗がん剤の指示を確定する。
- ・薬剤師は、レジメンの種類、投与量、検査値、前投薬などを把握するチェックリストを作成し、抗がん剤を調製する際に確認する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。

本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。 <https://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
<https://www.med-safe.jp/>



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

調剤

薬剤取り違い

2022年
No.5
事例1


事例

【事例の詳細】

普段から当薬局を利用している患者にリバスタッチパッチ18mgが処方された。薬剤師Aはニュープロパッチ18mgを取り揃え、間違いに気付かずに鑑査へ回した。鑑査を行った薬剤師Bが間違いに気付き、薬剤師Aが調製し直した。

【背景・要因】

貼付剤である両剤はそれぞれ外箱や包装が規格ごとに色分けされている。どちらの薬剤にも18mgの規格があり、包装の色が紫色である。調製者は包装の色のみを見てニュープロパッチ18mgを取り揃えたと思われる。

【薬局から報告された改善策】

薬剤を取り揃えた後に調製者が再度薬剤を確認することを薬局内に周知し徹底する。リバスタッチパッチとニュープロパッチの配置場所を離し、それぞれの薬剤棚に「取り違いに注意」のラベルを貼る。



その他の情報

販売名	リバスタッチパッチ 4.5mg	リバスタッチパッチ 9mg	リバスタッチパッチ 13.5mg	リバスタッチパッチ 18mg
包装				

小野薬品工業株式会社ホームページ リバスタッチパッチ4.5mg/9mg/13.5mg/18mgの製品基本情報より（参照2022年5月1日）

販売名	ニュープロパッチ 2.25mg	ニュープロパッチ 4.5mg	ニュープロパッチ 9mg	ニュープロパッチ 13.5mg	ニュープロパッチ 18mg
包装					

大塚製薬株式会社ホームページ ニュープロパッチ2.25mg/4.5mg/9mg/13.5mg/18mgの製品情報より（参照2022年5月1日）



事例のポイント

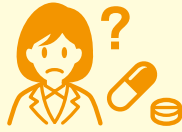
- リバスタッチパッチ（有効成分：リバスタチグミン）はアルツハイマー型認知症治療剤であり、ニュープロパッチ（有効成分：ロチゴチン）はドパミン作動性パーキンソン病治療剤およびレストレスレッグス症候群治療剤である。
- 本事業にはこの他にも両薬剤の取り違いの事例が報告されており、発生要因に「医薬品や包装の外観類似」を挙げている事例が多かった。経皮吸収型製剤である両薬剤には4.5mg、9mg、13.5mg、18mgの規格があり、包装や外箱が規格ごとに色分けされているが、一部の色が類似している。名称が類似する薬剤だけでなく、規格や外観が類似する薬剤の取り違いにも注意する必要がある。
- 発生要因に「医薬品の名称類似」を挙げている事例もみられた。名称類似による薬剤の取り違いは、調製者が処方箋を見て薬剤名を読み取る際の思い込みによって起きることがある。取り揃えた薬剤が患者の疾患や症状と一致しているか確認することが重要である。
- 名称や外観の類似により取り違いが起きる可能性がある薬剤を抽出し、離れた場所に配置する、注意喚起するためのラベルを薬剤棚に貼るなどの対策は有用である。
- 薬剤の取り違いが起きても、実際に患者の手に渡る前にその間違いに気付くための仕組みが重要である。調製者とは別の鑑査者が処方箋と薬剤を照合する、調剤監査支援システムなどの機器を導入する、交付時に患者と共に薬剤を確認するなどの対策が有用である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2022年
No.6
事例1

薬剤の組成・性状



事例

【事例の詳細】

嚥下困難の患者にベタニス錠25mgが処方され、錠剤を粉砕する指示があった。ベタニス錠25mgは徐放性製剤であるため、薬剤師が処方医に疑義照会を行い、粉砕できないことを説明したところ、トビエース錠へ変更するよう返答があった。トビエース錠も徐放性製剤であるため、同効薬のベオーバ錠50mgへの変更を提案した結果、ベオーバ錠50mgを粉砕することになった。

【推定される要因】

徐放性製剤を粉砕して服用すると、体内で有効成分が急速に吸収され副作用が発現する恐れがある。処方医の薬剤の製剤特性に関する知識が不足していたと推測される。

【薬局での取り組み】

錠剤を粉砕する指示があった場合は、粉砕可能な薬剤であるか確認する。粉砕に適していない薬剤であると判断した場合は、処方医に薬剤の製剤特性や代替薬などの情報を提供する。



その他の情報

ベタニス錠25mg/50mgの添付文書 2021年8月改訂（第2版）（一部抜粋）

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

14.1.2 本剤は徐放性製剤であるため、割ったり、砕いたり、すりつぶしたりしないで、そのままかますに服用するよう指導すること。割ったり、砕いたり、すりつぶしたりして服用すると、本剤の徐放性が失われ、薬物動態が変わるおそれがある。

トビエース錠4mg/8mgの添付文書 2019年4月改訂（第1版）（一部抜粋）

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

14.1.3 本剤は徐放性製剤であるため、割ったり、砕いたり、すりつぶしたりしないで、そのままかますに服用するよう指導すること。割ったり、砕いたり、すりつぶしたりして服用すると、本剤の徐放性が失われ、血中濃度が上昇するおそれがある。

ベオーバ錠50mgの医薬品インタビューフォーム 2021年2月改訂（第6版）（一部抜粋）

IV. 製剤に関する項目

1. 剤形

(1) 剤形の区別

即放性のフィルムコーティング錠である。



事例のポイント

- 徐放性製剤は有効成分の放出速度、放出時間、放出部位を調節した製剤であり、粉砕して投与した場合は、急激な血中濃度の上昇により重篤な副作用が発現する可能性がある。
- 徐放性製剤の他にも、錠剤の粉砕やカプセル剤の開封により薬剤本来の品質上の安定性や製剤特性が失われる薬剤がある。粉砕・開封の適否を判断するには、徐放性や腸溶性が失われることによる薬物動態、薬効、副作用への影響の他に、物理化学的安定性や味・におい・刺激感などの変化、粉砕・開封によるロス、他剤との混合・混和による配合変化も考慮する必要がある。
- 処方薬の粉砕指示が適切でないと判断し、処方医に情報提供を行う際は、粉砕せずに服用できる同成分の他剤形や粉砕可能な代替薬、簡易懸濁法による投与など、様々な提案ができるよう準備しておくことが重要である。
- 本事業部が運営している医療事故情報収集等事業が提供した医療安全情報No.158（2020年1月）では、医療機関で徐放性製剤を粉砕して投与したことにより体内に有効成分が急速に吸収され、患者に影響があった事例を紹介している。

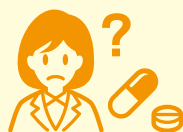
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_158.pdf



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2022年
No.6
事例2

禁忌



事例

【事例の詳細】

在宅医療を受けている患者に、ビビアント錠20mgが初めて処方された。薬剤師は、薬剤を取りに来る家族から、患者の日頃の体調や生活状況などの情報を聴取していた。患者は一日中ベッドで横になっており、食事もベッドの上で取っている状態であった。ビビアント錠20mgの添付文書の禁忌には「長期不動状態にある患者」が記載されているため、薬剤の変更が必要であると考えた。代替薬を検討した際、ビスホスホネート製剤は添付文書の禁忌に「服用時に立位あるいは坐位を30分以上保てない患者」と記載されている薬剤があり、患者には適さないと考えた。処方医にそのことを伝え、活性型ビタミンD₃製剤を提案した結果、エディロールカプセル0.5μgへ変更となった。

【推定される要因】

処方医は骨粗鬆症の治療は専門外であったため、ビビアント錠20mgの禁忌に関する情報を知らなかった可能性が考えられる。

【薬局での取り組み】

薬局に来ることができない患者の処方箋を応需した際は、家族などから患者の体調や生活状況の情報を聴取している。



その他の情報

ビビアント錠20mgの添付文書 2019年11月改訂（第1版）（一部抜粋）

- 2.禁忌（次の患者には投与しないこと）
- 2.2 長期不動状態（術後回復期、長期安静期等）にある患者



事例のポイント

- 選択的エストロゲン受容体モジュレーターであるビビアント錠は、長期不動状態（術後回復期、長期安静期等）にある患者に禁忌である。ビビアント錠が処方された際は、患者の体調や生活状況などから長期不動状態に該当しないかを考慮したうえで、服用が適さないと考えられる場合には疑義照会を行うことが重要である。
- 薬学的考察により、処方された薬剤が患者に適切ではないと判断し疑義照会を行う際は、問題点を指摘するのみではなく、患者に適した代替薬を検討して処方医へ情報提供を行うことが望ましい。
- 本事例でビビアント錠20mgから変更になったエディロールカプセル0.5μgには、独立行政法人医薬品医療機器総合機構より「PMDAからの医薬品適正使用のお願いNo.13 2020年10月^{*}」が出され、注意喚起が行われている。薬剤が変更になる際は処方医に変更後の薬剤の注意点を伝え、服用後の副作用発現の有無などについてフォローアップを行う必要がある。
※エルデカルシトールによる高カルシウム血症と血液検査の遵守について
<https://www.pmda.go.jp/files/000237206.pdf>
- 患者が薬局に来局できない場合は、処方された薬剤を家族などの代理人が受け取りに来ることがある。そのような状況でも、薬剤を受け取る代理人に患者の体調や生活状況を継続的に確認することは、安全に薬物療法を行うために重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるよう文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
 消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

〔質問〕主人の事。転勤で沖縄に来て円形脱毛症になった。沖縄は仕事のやり方が違うと言っている。皮膚科を受診しデパス（0.5）とクロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム（ステロイド：strongest）が処方された。以前県外でフロジン液（一般名：カルプロニウム塩化物）を処方されたことがあるが、よく効いていた。飲み薬は処方されなかった。今回、デパスが寝る前に14日分処方されたが、夜も眠れるのに何で出されたのか、その事も不信に思っている。ステロイドは怖いし、フロジン液の方がいいのではないかな。

〔回答〕デパスというお薬は、不安や緊張を和らげる働きがあり、神経症や心身症、睡眠が十分に取れない方等に処方されます。処方についての不安や疑問は直接処方医に確認された方がよろしいかと思います。また、円形脱毛症の治療法は様々で外用薬の他飲み薬等も使用されています。治療薬の一つフロジン液は安全性の高い薬剤で、局所血管拡張作用、毛嚢への作用により、脱毛症の方の発毛を促します。また、クロベタゾールは軽症～中等症の患者に発毛効果があるとされています。ステロイドは用法を守って適切に使用すれば副作用の心配は殆どなく、優れた効果が期待できます。

参考：日本皮膚科学会円形脱毛症診療ガイドライン 2017 年版

〔質問〕市販薬のビタミンEを買った。1錠140mgで1日1回とある。普通はどのくらいの量を飲むのか。1日2回飲んででもいいですか。

〔回答〕医療用のビタミンEの用法用量は疾患によっても異なりますが、通常1日100～600 mgを1日2～3回分けて服用します。市販薬は指示されている用量の範囲では比較的安全とされています。服用する際は、添付文書の用法用量を守って服用してください。

●安全性情報●

〔質問〕母の事。整形外科でヘバーデン結節と言われたが、そんなに激しい痛みはない。高齢なので首も調べてみようと言われMRIも撮った。ヘルニアと言われ痛みもないのにボルタレン（一般名：ジクロフェナクナトリウム）が処方された。服用1日目の次の朝から

右目がおかしくなった。2日後に眼科に行ったら眼底出血と言われた。眼底出血はこの薬が原因じゃないかと思っている。

〔回答〕ボルタレンの副作用として、目に関しては視力異常（霧視）が0.04%～0.07%の頻度で報告されています。眼底出血については今の所報告がありませんが、薬剤服用後に症状が出ていますので、原因や今後の治療等については主治医にご相談ください。

〔質問〕フォサマック錠35mgを飲み始めた。歯の治療をするときには薬を骨粗鬆症の薬を中止しないといけないとか聞いたがどうなのか。

〔回答〕通常、一般の歯科治療（歯石除去・むし歯治療・義歯作成など）については、歯科医師が顎骨や歯肉を傷つけないよう注意して治療を行います。この場合、フォサマック等の投与を中止することはありません。しかしながら、抜歯・歯科インプラントなどの治療においては治療前に服用を中止しなければならない場合があります。受診時にはフォサマックを服用していることを必ず歯科医師にお伝えください。

〔質問〕1歳児（体重10.5kg）にアセトアミノフェン坐薬と間違えてボラギノールA坐剤（OTC薬）を使用してしまった。熱は下がらず、間違いに気付いてアセトアミノフェン坐薬を使ったら熱も下がり現在は元気になっている。最後に使用したのは一昨日の夜で、これまでに3～4個使用したが大丈夫ですか。見たところ問題なく、体調も良くなっている。

〔回答〕ボラギノールA坐剤にはステロイドの成分と局所麻酔成分等が含まれています。ステロイドは体内にもある物質で坐薬の投与後24時間で血中の濃度は約1/4になることが報告されています。使用後1日半経過し体調に変わったところはないとの事ですが、体が小さいので念のためかかりつけの小児科等で受診することを勧めます。薬局からもらったお薬は入っていた薬袋で保管し、市販薬は外箱のままで保管する、子どもの手の届かないところに置くなど保管管理に十分ご注意ください。

参考：ボラギノールA坐薬（添付文書）

用法：15歳以上 1日1～2回

成分：プレドニゾロン酢酸エステル、リドカイン、ア

ラントイン、ビタミンE酢酸エステル

●妊娠・授乳●

〔質問〕授乳中。テオドールを150mg服用している。問題ありませんか。

〔回答〕お母さんがテオドールを服用した場合に、赤ちゃんが母乳から摂取する量は、お母さんへの投与量の約1%と考えられています。この量はごくわずかで、赤ちゃんに影響が出るとは考えにくい程度です。気になるようであれば、授乳後に薬を服用してください。また服用後4時間後が体内の薬の濃度のピークになりますのでその時間を避けていただくといでしょう。

〔質問〕少し前から便秘でモビコール配合内用剤をもらっている。今妊娠の可能性があるが、モビコールを飲んででもいいですか。

〔回答〕妊婦に対し、禁止されるお薬ではありませんが、妊娠の可能性があれば産婦人科の医師に相談し、適切なお薬を処方してもらうようにしてください。また、便秘時は食物繊維の多い野菜や果物等を摂る、軽めの運動をするなども効果があるとされています。

〔質問〕カロナール500がある。妊娠しているかもしれないが、飲んで大丈夫ですか。

〔回答〕カロナールの成分はアセトアミノフェンです。このお薬は妊娠している方も服用できる薬剤とされており、通常量の1週間程度であれば妊婦が使用しても安全と考えられています。ただ、解熱鎮痛薬は必要がある時に使用する薬剤ですので、安易に継続服用する事のないよう注意してください。妊娠中のお薬の服用は慎重にならなければならない時期でもありますので、早めに医療機関を受診することを勧めます。

●新型コロナウイルス感染症関連●

〔質問〕新型コロナワクチンを接種した後に抗原検査を行っても大丈夫ですか？結果に影響することはありませんか。

〔回答〕ワクチンにより新型コロナウイルスに感染することはないため、予防接種によってPCR検査や抗原検査が陽性になることはありません。

〔質問〕昨日、4回目のファイザー製のコロナワクチンを接種した。熱もないので今日からジムに行って筋肉トレーニングをしてもいいですか。血圧の薬を飲んでいる。(高齢者)

〔回答〕ワクチン接種後に、ごくまれに心筋炎や心膜炎といった心臓の筋肉等に炎症が起こることがあり、不整脈などの事例も報告されています。これは若い方、特に男性に多い傾向にありますが、念のため1週間程度は激しい運動や、筋肉トレーニングは控えられた方がよいと考えます。ワクチン接種後、数日以内に胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があればすぐに医療機関を受診してください。

〔質問〕コロナ陽性になったが、病院に行けば治療薬のラゲブリオを出してもらえますか。

症状が出て3日経っているが、今から処方されることもありますか。

〔回答〕ラゲブリオはコロナ感染症に罹り重症化リスク因子を持っている等、医師が診察し投与が必要と認めた場合に処方されます。ラゲブリオの投与開始は症状発現から5日以内であれば十分な効果が得られるとされています。

●その他の質問●

〔質問〕家にある使用期限が切れた飲み薬はどのようにして捨てたらいいですか。

〔回答〕錠剤やカプセル剤などのお薬を廃棄する場合は、外から見えないように紙等に包んで、お住まいの地域の分別方法に従って捨てるようにしてください。量が多い場合には薬局にご相談ください。

●苦情・ご意見●

・あちこちの薬局で保険証を見せてと言われて精神的に面倒くさい。病院で保険証を提示するのは当たり前。保険で支払い、病院で記録され、医師の診察が終わって処方箋が出る。薬局は病院から処方された薬を作るだけでいいじゃない？

・薬情・お薬手帳（シール）に、薬剤師の印鑑がおされていなかった。飲み薬も処方されているので、責任者（担当者）の印鑑は押してほしい。不安になる。

・子供が39.6℃の熱が続いているが、熱さましを使うと痙攣をおこすと聞いたので使っていなかった。

・子供に使用するため薬局に抗原検査キット買いに行ったら2歳児には販売できないと言われた。どうして販売してくれないのか。

・肝臓の数値が上がっていたので検査をしたら、サイトメガロウイルスが見つかり薬をもらっている。薬代が高いのでびっくりしているが、薬局でそういった説明もなかった。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

COVID-19罹患後のスキューバダイビング
について

日本医事新報 5115号

日本高気圧環境・潜水医学会によるCOVID-19関連情報（2020.5.28）によれば、①検査陽性の無症状感染者は少なくとも1カ月間待機して潜水再開前には医師の評価を受ける、②症状のある感染者は少なくとも3カ月間待機して潜水再開前には医師の評価を受ける。必要に応じた検査項目としては、胸部CT検査、呼吸機能検査、運動負荷検査、心エコー検査と明記されています。実際に、受診したダイバーのCOVID-19発症時期、呼吸器症状や入院の有無を問診し、最低でも罹患1カ月後以降の再開指示、さらに万全を期するのであれば胸部CT検査を提案し、現存しているかもしれない肺炎の有無を確認するようにしています。オミクロン株流行以降では肺炎を合併する方は少なく、無症状や呼吸器症状のない方が殆どであることから、1カ月程度の療養期間後に減圧リスクを伴わない潜水計画を立てるよう指導するようにしています。

グローバルヘルスケアクリニック
水野 泰孝

小児の新型コロナウイルス排泄期間

日本医事新報 5122号

SARS-CoV-2は、感染後、高率でかつ長期にわたり糞便中に排出されることが報告されていました。小児においては、その排出期間は成人よりも長く、糞便中のウイルス排泄が70日以上、また、無症候でも54日間陽性が続いた、という報告もあります。罹患後の小児が2～4週間後に再度PCR検査で陽性となった場合の解釈については、一般的に感染直後は、SARS-CoV-2に対する免疫があり、再感染の可能性は低いので、過去の感染の持続排泄をみている可能性が高いと考えます。なお、現在流行中のオミクロン株は、再感染の可能性が高く、注意が必要です。鼻咽頭検体でも感染後、陰性になるまでに2～3週間を要したことが報告されています。その地域における他のウイルス感染症の流行状況、他のウイルス感染症を示唆する病歴や身体所見、家族内や保育園でのシックコンタクトの有無など総合的に評価して、鑑別を進める必要があります。

新潟大学大学院医歯学総合研究科
齋藤 昭彦

飲水制限のある患者に内服薬を投与する際の
注意点は？

月刊薬事 4月臨時増刊号

飲水制限中の患者では、服用時飲水量を可能な限り抑えて自由に摂取可能な水分量を確保し、患者のQOLを維持したいのが実情であるものの、薬剤の有効性・安全性の確保の観点からは十分量の服用時飲水量を保つことが重要であることも事実である。薬剤師には、この相反する要望を可能な限り両立可能な処方提案が求められる。服用時飲水量を抑える事が医学的に難しい状況であれば、服用時飲水量以外の水分摂取は水（1個約20mL）を口に含む、うがいをする（1回で約10mLの飲水に相当）といった方法に代替するよう指導するが、まずは処方変更や服用法の工夫を検討することが重要である。厳格な飲水制限のために服用時飲水量を減らすには、①服用回数を減らす、②口腔内崩壊錠（OD錠）や懸濁用顆粒を利用する、③経皮吸収型製剤へ変更する、④簡易懸濁法や水オブラート法を活用する-といった工夫が必要となります。

東京大学大学院薬学系研究科
医療薬学教育センター
山本 武人

小児薬用量の「適宜増減」の考え方

薬局 6月号

一般的な「適宜増減」の解釈では通常用量の1/2～2倍の範囲で増減が可能とされているが、これは都道府県の国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金によっても異なる。この範囲を逸脱した場合には、医師の裁量に任されていると考えられる。2倍を超えた用量、もしくは1/2未満の用量の場合、疑義照会して、処方意図を確認しなければならない。小児薬用量の場合も同様に考えるが、その上限は、成人の通常用量というのが一般的である。血中濃度が上がりにくい薬剤（例：経口第三世代セフェム系抗菌薬等）が処方される際には、通常処方量の2倍量であることも珍しくない。通常用量を超えた処方箋を受け取った時には、患者背景をよく考え、用量が適切かどうかを判断するためにも、保護者に患児の体重や症状を確認する。確認が難しい時には、積極的に処方医に疑義照会すべきである。

帝京平成大学薬学部
島崎 学

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

◇medecina 59巻5号

*症例から学ぶ 電解質と体液量管理のベストアンサー

◇medecina 59巻6号

*ジェネラリストの羅針盤 医学部では教わらなかった28のクエスチョン

◇medecina 59巻7号

*抗菌薬の使い方 - 敵はコロナだけにあらず！今こそ基本に立ち返る

◇medecina 59巻8号

*日常診療に潜む臨床検査のピットフォールを回避せよ

◇エキスパートナース 38巻5号

*痛みをわかるための解剖生理

◇エキスパートナース 38巻6号

*栄養ケアのジレンマを解決する

◇エキスパートナース 38巻7号

*ストーマ管理のギモン

◇エキスパートナース 38巻8号

*見直そう！いつもやってる排泄ケア

◇きょうの健康 5月号

*ひざの痛み、子宮頸がん

◇きょうの健康 6月号

*不整脈、長引く慢性の痛み

◇きょうの健康 7月号

*尿路結石、睡眠対策

◇月刊薬事 64巻5号

*薬の使い方が“超”わかる！病棟での下痢・便秘対応

◇月刊薬事 64巻6号（臨増）

*薬物療法の質を大きく変える剤形・投与経路 Q&A

◇月刊薬事 64巻7号

*抗菌薬 TDM 臨床実践ガイドライン 2022 はここに注目！新旧抗菌薬の使い方

◇月刊薬事 64巻8号

*早期に見極め すばやく対応！重篤副作用の予防と治療

◇月刊薬事 64巻9号

*急な提案・問い合わせにしっかり備える がん患者の支持療法薬

◇産科と婦人科 89巻5号

*やせ・肥満と女性のヘルスケア

◇産科と婦人科 89巻6号

*HPV ワクチンのこれまでとこれから

◇産科と婦人科 89巻7号

*産科診療の進む道 - 診療ガイドラインの先にあるものの

◇総合診療 32巻5号

*「診断エラー」を科学する！セッティング別陥りやすい疾患・病状

◇総合診療 32巻6号

*総合診療外来に“実装”したい最新エビデンス My Best3

◇総合診療 32巻7号

*どうせ痩せない！？やせなきゃいけない！？「肥満」との向き合い方講座

◇調剤と情報 28巻5号

*患者の苦痛にどう寄り添う？なにができる？がん緩和ケア

◇調剤と情報 28巻6号（臨増）

*現代未病がわかる本

◇調剤と情報 28巻7号

*新デキる薬剤師をつくる現場の教科書

◇調剤と情報 28巻8号

*薬局でできる頭痛のマネジメント

◇調剤と情報 28巻9号

*利尿薬の使い方と患者指導

◇治療 104巻4号

*プライマリ・ケア医のためのこれからの咳の診かた

◇治療 104巻5号

*肩・腰・膝痛診療

◇治療 104巻6号

*終末期ケアのドラマチック case files

◇治療 104巻7号

*おとなのワクチン Update

◇日経ドラッグインフォメーション 295号

*処方箋の見方が変わる 抗菌薬アップデート

◇日経ドラッグインフォメーション 296号

*薬局で見る検査値

◇日経ドラッグインフォメーション 297号

*身近になる抗体医薬

◇日本医事新報 5112号

*にきび治療 - 治療法と治療薬

◇日本医事新報 5113号

*新薬登場でどう変わる?片頭痛薬の使い分けと特徴

◇日本医事新報 5114号

*低/高カリウム血症を診たらすべきこと

◇日本医事新報 5116号

*腎性貧血の診断と薬剤選択、治療目標

◇日本医事新報 5118号

*高齢者の体重減少 - リハビリテーション栄養ケアプロセスで考える

◇日本医事新報 5119号

*子どもの呼吸困難 - 「なんとなく息苦しい」をどう診るか

◇日本医事新報 5120号

*今すぐ始める!オンライン診療

◇日本医事新報 5121号

*CKDにおける骨粗鬆症治療薬の使い方

◇日本医事新報 5122号

*高齢CKD患者に対する食事療法

◇日本医事新報 5123号

*「穏やかな糖質制限」のギモンに答える

◇薬局 73巻6号

*皮膚を整える

◇薬局 73巻7号

*「小児の薬」トラブルシューティング

◇薬局 73巻8号

*知っておきたい呼吸ケア

【今月の論文等】

■薬物療法■

▶抗菌薬を処方する前に知るべきこと～PK/PDを理解する

Medecina59 (7) p.1004

▶感染症サイドから考える抗菌薬の使い方～症例をもとに 上気道感染症、下気道感染症

Medecina59 (7) p.1104

▶带状疱疹罹患後に水痘ワクチンを接種するメリット

日本医事新報 (5114) p.55

▶腰痛患者に処方されたフェントステープ

日経ドラッグインフォメーション (297) p.PE041

▶CKD患者に処方されたフォシーガ

日経ドラッグインフォメーション (295) p.PE041

▶腎機能低下患者にエンレストが処方されたら

日経ドラッグインフォメーション (297) p.023

▶エビデンスレベルが最も高いしゃくくりの治療薬は?

月刊薬事 64 (9) p.122

■新薬■

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [18]

ツイミーグ®錠 500mg (イメグリミン塩酸塩)

月刊薬事 64 (5) p.146

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [19]

ラゲブリオ®カプセル 200mg (モルヌピラビル)

月刊薬事 64 (7) p.153

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [20]

レイポー® 50mg、100mg (ラスミジタンコハク酸塩)

月刊薬事 64 (8) p.142

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [21]

ピヴラッツ®点滴静注液 150mg (クラゾセンタンナトリウム)

月刊薬事 64 (9) p.93

▶しみを気にする女性への OTC 薬販売の注意点

日経ドラッグインフォメーション (295) p.PE022

■安全性情報■

▶薬と食品の相互作用

調剤と情報 28 (6) p.94

▶利尿薬との併用に注意すべき薬剤

調剤と情報 28 (9) p.32

▶ステロイドと保湿剤の混合後に悪化したアトピー性皮膚炎

日経ドラッグインフォメーション (295) p.PE043

▶ジクロフェナクの内服薬が消化管手術後の患者に使えない理由

日経ドラッグインフォメーション (295) p.023

▶続・ケースレポートを書こう! “論文の軸の設定”トレーニング⑤

メトトレキサート内服中に椎体の溶骨性変化をきたした 76 歳男性

～ある薬剤の新規な副作用・薬剤相互作用～

Medecina59 (6) p.950

▶副作用の重篤化を防ぐ——重篤副作用疾患別対応マニュアルの読み方

月刊薬事 64 (8) p.13

▶医薬品等の副作用の重症度・重篤度分類基準の使い方

月刊薬事 64 (8) p.39

- ▶非ステロイド性抗炎症薬による喘息発作 - アスピリン喘息、解熱鎮痛薬喘息、アスピリン不耐喘息、NSAIDs 過敏喘息
月刊薬事 64 (8) p.75
- ▶フルーツジュースと一緒に飲むべきではない医薬品は？
月刊薬事 64 (6) p.161
- ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース
・喫煙者ではシルデナフィルの血中濃度が上昇
・NSAIDs 間での腎機能低下リスクの比較
薬局 73 (6) p.116
- ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース
・薬剤師介入でうつ病患者のアドヒアランス向上
・高用量アセトアミノフェンで血圧上昇
薬局 73 (7) p.186
- ▶医薬品適正使用・育薬 FLASH ニュース
・抗 PD-1 治療による遅延性免疫関連有害事象
・不適切処方を減らしても薬物関連入院は減少せず
薬局 73 (8) p.126
- ▶総合診療医が教える。外来薬物療法ケースカンファレンス [2]
アキレス腱障害のリスクと関係する薬剤はどれか？
月刊薬事 64 (5) p.94

■薬剤師業務■

- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例
通院治療患者—医療用麻薬の導入から痛み増強時の対応まで
調剤と情報 28 (5) p.34
- ▶頭痛のセルフメディケーション
調剤と情報 28 (8) p.58
- ▶副作用の捉え方・見極め方
月刊薬事 64 (8) p.33
- ▶副作用への対応力UP！ 医薬品情報検索のコツ
WEB から信頼性の高い副作用情報を得るには？
月刊薬事 64 (8) p.44
- ▶副作用への対応力UP！ 医薬品情報検索のコツ
RMP はこう使う！
月刊薬事 64 (8) p.51
- ▶副作用報告を実践しよう 副作用報告の具体的な手順とツール作成のポイント
月刊薬事 64 (8) p.103
- ▶利尿薬の患者指導とフォローアップ
調剤と情報 28 (9) p.38
- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例 通院治療患者 - 医療用麻薬の導入から痛み増強時の対応まで
調剤と情報 28 (5) p.34

- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例 在宅患者 - ポリファーマシー
調剤と情報 28 (5) p.42
- ▶薬剤師が介入した緩和ケア症例 在宅患者 - 腹部膨満感と呼吸困難の症状緩和
調剤と情報 28 (5) p.48
- ▶緩和ケアに関わるにあたって知っておきたいこと
麻薬の取扱い
調剤と情報 28 (5) p.54

■産科・婦人科■

- ▶小児科医の立場からみた HPV ワクチン定期接種正常化への課題
産科と婦人科 89 (6) p.662
- ▶デュロキシセチンを自己調節していた妊婦
日経ドラッグインフォメーション (295) p.PE020
- ▶「妊婦禁忌」のアムロジピン、服用の影響は？
日経ドラッグインフォメーション (297) p.PE022

■漢方薬■

- ▶長引く咳を訴える若年女性にタケキャブと六君子湯を処方
日経ドラッグインフォメーション (297) p.PE019

■その他■

- ▶最近よく聞く“社会的処方”って何？
Medecina59 (6) p.874
- ▶患者の状態・状況を踏まえたサポート 日本に住む外国人患者「やさしい日本語」の活用
調剤と情報 28 (6) p.42
- ▶医療従事者のための SOGI をめぐる配慮と対応
調剤と情報 28 (6) p.54
- ▶栄養管理の基礎知識
調剤と情報 28 (5) p.97
- ▶医薬品情報のバイブル 新添付文書を使いこなせていますか？
特定の背景を有する患者に関する情報（前編）
調剤と情報 28 (5) p.128
- ▶医薬品情報のバイブル 新添付文書を使いこなせていますか？
特定の背景を有する患者に関する情報（後編）
調剤と情報 28 (6) p.130
- ▶医薬品情報のバイブル 新添付文書を使いこなせていますか？
相互作用や薬物動態の情報がより詳しくなりました
調剤と情報 28 (8) p.116
- ▶ヘパードン結節に対するエクオールの有効性
日本医事新報 (5113) p.54

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】調剤報酬点数表の解釈 令和4年4月版

【発行】社会保険研究所 【発行日】2022年6月

【版型/頁】A4判/約992頁 【定価】4,290円(税込) 【幹旋価格】3,650円(税込)

○調剤報酬の算定・請求に必要な情報を実務上活用しやすいように編集し、法令の根拠とともに示した。

○調剤報酬点数表のほか、関連するQ&Aやレセプト記載要領も掲載し、調剤薬局のニーズに対応。

★【日薬幹旋図書】感染防御と栄養

【編集】中村 丁次、酒井 徹 【発行】薬事日報社 【発行日】2022年6月

【版型/頁】A5判/127頁 【定価】1,870円(税込) 【幹旋価格】1,680円(税込)

近年、COVID-19などの感染症との戦いで、人類の感染防御機能である“生体防御”がとても重要だと考えられてきている。この防御機能は複雑な代謝により営まれ、多くの栄養素が関係しており、栄養状態によりその機能が低下してしまい、感染率や感染後の症状悪化など影響を及ぼすことがわかっている。本書では、COVID-19をはじめとする感染症の種類やメカニズム、生体防御機構などについて、免疫、運動、常在細菌、栄養状態・栄養素、食品の機能など様々な視点から各専門家が解説している。

★【日薬幹旋図書】「学校環境衛生基準」解説 2022

【編集】日本薬剤師会 【発行】薬事日報社 【発行日】2022年7月

【版型/頁】B5判/529頁 【定価】8,800円(税込) 【幹旋価格】7,920円(税込)

本書は、学校環境衛生基準(文部科学省告示)で定められた学校薬剤師が行う学校環境衛生検査の内容をわかりやすく説明した実践的な解説書。前版(2010年版)以降に改正された内容※を反映し、12年ぶりに改訂。

薬効別 服薬指導マニュアル 第10版

【編著】田中 良子 他 【発行】じほう 【発行日】2022年6月

【版型/頁】A5判/1,136頁 【定価】7,260円(税込)

67の薬効群ごとに、服薬指導に必要な情報を「患者向け」と「薬剤師向け」に対応して記載した服薬指導情報書の最新版。第10版では主要な薬効に「薬物治療の確認と指導のポイント」を新たに掲載し、全体像と薬物治療のポイントをわかりやすく解説したほか、薬局業務に役立つ継続的な服薬指導とフォローアップなど、記載項目も大幅に見直した。

腎臓病薬物療法ガイドブック

腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト 第2版

【編著】日本腎臓病薬物療法学会 【発行】じほう 【発行日】2022年6月

【版型/頁】A4判/608頁 【定価】7,590円(税込)

腎臓病・透析患者に有効かつ安全に薬物治療を提供するために必要な知識を網羅した、日本腎臓病薬物療法学会編集の公式テキスト。第2版では、新たに多発性嚢胞腎、オンコネフロロジ、カルニチン、HIF-PH阻害薬、感染性腎炎、腸腎連関、ポリファーマシーなどの内容を取り入れ、薬剤性腎障害の項を刷新するとともに、腎疾患関連のガイドライン改訂、SGLT2阻害薬の腎機能低下進展抑制への適応拡大など、最新の知見を踏まえて大幅に改訂。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】保険薬局 Q&A 令和4年版 薬局・薬剤師業務のポイント

【監修】日本薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2022年7月

【版型/頁】A5判/336頁 【定価】2,640円(税込) 【幹旋価格】2,310円(税込)

処方箋受付、疑義照会、麻薬の取り扱い、後発医薬品や訪問薬剤管理指導など、薬局業務を行ううえで知っておかなければならないポイントを Q&A にまとめた書籍。日々の薬局・薬剤師業務の中で生じる「なぜ?」「どうして?」を解消。2色刷りで注意すべきポイントがひと目で分かり、忙しい業務の合間にも知りたい項目がすぐに確認できる。令和4年版では「オンライン服薬指導」など最新知識のほか、事務スタッフの教育や薬学生の実習受け入れ時にも役立つ知識が満載。

★【日薬幹旋図書】保険調剤 Q&A 令和4年版 調剤報酬点数のポイント

【編著】日本薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2022年6月

【版型/頁】A5判/404頁 【定価】2,970円(税込) 【幹旋価格】2,530円(税込)

薬局の現場で生じる疑問や質問をもとに、調剤報酬上の解釈と算定の仕方を Q&A にまとめた。最新版では令和4年度調剤報酬改定に対応し、調剤基本料の考え方をはじめ、調剤管理料、服薬管理料、かかりつけ薬剤師指導料、外来服薬支援料などを取り上げている。日常業務で気を付けなければならないポイントがひと目で確認でき、日々の薬局業務の疑問解決に役立つ1冊。

★【日薬幹旋図書】保険薬局業務指針 2022年版

【編集】公益社団法人 日本薬剤師会 【発行】薬事日報社 【発行日】2022年7月

【版型/頁】B5判/789頁 【定価】5,280円(税込) 【幹旋価格】4,750円(税込)

2022(令和4)年4月の調剤報酬の改定内容、保険調剤に関する事項を中心に解説し、重要通知等も掲載。図表や様式見本、Q&A を盛り込みわかりやすく解説。請求書類の記入例も掲載。解説部分は2色刷り。

調剤報酬実務必携 2022年4月版

【編著】北海道医薬総合研究所 【発行】薬事日報社 【発行日】2022年7月

【版型/頁】A6変型判(手帳型)/102頁 【定価】550円(税込)

調剤報酬に関する実務に必要な知識と情報をコンパクトにまとめた1冊。

- ・算定要件、施設基準など調剤報酬の要点をカラーで見やすく分かりやすく解説。
- ・表紙裏には一目でわかる調剤報酬点数表を掲載
- ・関連する法律についても解説

薬剤師、在宅へ行く。1版

【編集】北河 修治 他 【発行】南山堂 【発行日】2022年8月

【版型/頁】B5判/148頁 【定価】2,420円(税込)

在宅医療のニーズが高まるなか、薬剤師による薬学管理もチーム医療において求められている。しかし、在宅医療を始めることに不安や悩みをもっている薬剤師は少なくありません。患者宅への訪問から薬剤管理、患者サポート、看取りへの備えなど、在宅医療だからこそ起こるさまざまな課題に対し、どのように患者と向き合い解決できるのか、現場の薬剤師が経験してきた45の事例をまじえて解説。また、医療保険制度や介護保険制度、居宅療養管理指導の基礎知識についてもわかりやすく解説。

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➡ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

➡ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

➡ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承ください。

電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➡ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

第55回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
狩俣 イソ



五月北海道の雌阿寒岳で登山をした。アカエゾマツの根が絡み合い露出した登山道を踏みしめ、大きな岩をよじ登り、老体に鞭打ち頑張ったが、6合目でギブアップ。予期せず登山口ではまっさかりの水芭蕉の群生、感動!!

リュウキュウマツ

学名 Pinus luchuensis Mayr

科名 マツ科 Pinaceae

属名 マツ属 Pinus

薬用部位 葉、茎、花、花粉、樹脂、樹皮、実
有効成分 シキミ酸、葉緑素、樹脂、酵素、鉄、
ビタミンK・A・C、カルシウム、ケルセチン



【リュウキュウマツの名称】

リュウキュウマツはマツ科マツ属の針葉樹で、別名はリュウキュウアカマツ（琉球赤松）、オキナワアカマツ。沖縄方言ではマーチ、マチ、八重山方言ではマチィという。沖縄県の県木にも指定されている。

【リュウキュウマツの形態】

沖縄県の各島の海岸低地から深山の奥まで生育する常緑高木。高さ20～25m、直径1m以上にもなり、大きくなると、樹皮が割れウロコのようになり、枝振りも風格が出る。樹皮は灰黒色、冬芽は赤褐色。小枝は黄褐色で無毛、光沢あり。葉は短枝に2本束生し、線形で長さ10～20cm、幅1.2mm、樹脂道は2～6個、下表皮に接するものと葉肉内のものがある。樹脂溝は中位で長さ7mmぐらいある。雌雄同株、風媒花、花期は3-4月、雄花は黄白色、楕円形で長さ14-20mm、雌花は赤紫色、卵形3mm、雌花序は新しい枝の先に1～2個できて楕円形、長さ4mmぐらい、赤褐色で多数の鱗片からできている。雌花の

後にできる球果（まつぼっくり）はほぼ3年目あたりに熟し、卵状円筒形で、種鱗は長さ1.8cm、種子は長さ4～5mm。

【マツの薬効】

明時代の李時珍著による『本草綱目』に、「松を服すると強壯になり、歯を固め、目や耳をよくし、瘡を治し、久しく服すれば身軽く、不老延年となる」とある。

中国の最古の薬物書『神農本草経』には「五臓を整え、久しく服すると身が軽くなり、年を取らず長生き出来る」と記されている。

葉や枝は健胃、肝臓病、肺結核、脱腸、打ち身、リンパ腺の腫れ、脱毛、おでき、胃痙攣、高血圧症、歯痛に効く。傷を治す働きもあり、外傷の治療ばかりでなく、胃潰瘍や歯槽膿漏にも効果的とされる。

【マツ葉の成分】

アカマツの葉に含まれるアミノ酸は24種類で、24種類のうち、たんぱく構成アミノ酸として20種類が確認されている。9種類の必須アミノ酸の全てと、人間の体内で合成される11種類の非必須アミノ酸の全てを松葉から摂ることができる。

葉緑素、樹脂、酵素、シキミ酸、鉄分、ビタミンK・A・C・B、ケルセチン、カルシウム・マグネシウム・テルペン精油（ α ピネン）などが含まれていると発表されている。

アカマツの葉をお湯で抽出したものが最もプロトシアニジンとカテキンが多く、抗酸化活性があったことがわかった。

【松ヤニの成分】

松ヤニは幹の部分だけでなく、葉にも流れている。松ヤニは、幹の保護（傷を治す）や成長を促す。その中心成分テルペン類は不飽和脂肪酸で、コレステロールを分解する働きがある。その他フラボノイド、ケルセチンな

どの色素、またビタミンK、A、C、鉄分などを含む。

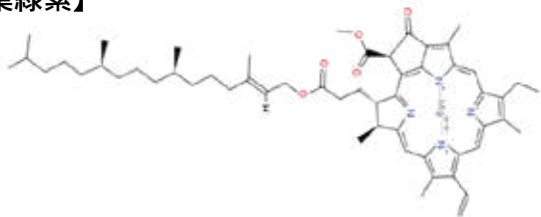
【抗酸化作用・抗糖尿病作用・抗肥満作用】

リュウキュウマツ葉の抗酸化物質（ポリフェノール等）3.30 g / 100 g、ORAC試験：46mmol TE / g、DPPHラジカル消去試験：9.7mmol TE / gなどの結果、強い抗酸化力を持つことが認められた。α-グルコシターゼ阻害物質試験：有意にグルコシターゼを阻害（抗糖尿病作用）、NO産生抑制作用試験：抑制作用（抗がん作用）、リパーゼ阻害活性試験：有意に阻害活性（抗肥満作用）が確認された。

また樹皮がB16細胞チロキシナーゼ阻害試験で有意に阻害活性が認められ、美白に有効であることがわかった。リュウキュウマツ樹皮において美白効果のあるポリフェノール化合物が単離され、香粧品素材としての利用の可能性が示唆された

【葉緑素】

クロロフィル a



葉緑素はクロロフィルとも呼ばれ、植物や藻類などに含まれる緑色の天然色素である。細胞内の葉緑体に存在し、光と水と空気中の二酸化炭素から糖などの有機物を合成する光合成に不可欠な成分である。

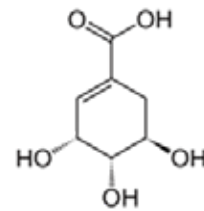
葉緑素は植物の成分だが、人間の血液の色素であるヘム（ヘモグロビンの中心構造）と似た構造をしており緑の血液と言われる。体内に摂取された葉緑素は、血液中で鉄と結合し、赤血球や筋肉のヘモグロビンなどの色素に変わり、人間の体内に取り込まれた有害物質ダイオキシンやニコチン、カドミウム、鉛などの物質を吸着して排出する解毒作用を持っている。血管内のコレステロールを吸

着する働きがあるため、コレステロールを抑えて、血液の流れを良くする働きもある。さらに葉緑素は、体内に吸収される細胞を活性化させる働きを持っているため、筋肉を維持、ケガや傷の治りを早くするほか、病的状態にある細胞を健康な状態にする薬理作用もある。

【テルペン】

植物の精油成分に含まれる成分で、その香り成分が神経系や免疫系などに働きかけ、ストレスの解消や心身のリラックスに効果がある。高血圧を予防する効果や炎症を抑制する効果などもある。

【シキミ酸】



環状ヒドロキシ酸。芳香族化合物が生合成される経路の重要な中間体。シキミ酸経路を構成する物質の一つ。シキミ酸はインフルエンザ治療薬タミフルの原料になる。

松葉と発酵松葉エキスから分離したシキミ酸とプロトカテク酸（ポリフェノール抗酸化剤）には、繊維を溶かす作用とフィブリンの形成を阻害し、マウスで抗血栓作用が示された。

松葉と発酵松葉エキスは抗酸化作用、抗炎症作用、抗菌作用、抗コレステロール作用、胃腸運動制御、線維素溶解作用などさまざまな薬理的活性を示すことが報告されている。

シキミ酸はシキミ酸だけでは抗ウイルス作用はないが、ケルセチンと組み合わせると少ない量でも自然免疫がしっかり働くように助けると言う論文もある。マツ葉に含まれるシキミ酸とスラミンがCOVID-19に有効だとの研究もあるが、まだよくわかっていない。

参考 わかさの秘密、「松葉健康法」高島雄三郎著、植物図鑑、究極のヘルシーライフ、沖縄山菜類データベース、ガン・老化に勝つ松葉の力、薬用植物の研究、hakk1019、国立環境研究所、日本海岸林学会、百菜元気新聞

栄養成分 松の実100g当たり

沖縄山菜類データベースより

エネルギー	タンパク質	脂質	食物繊維	鉄	カルシウム	ナイアシン	葉酸
669 kcal	15.8 g	68.2 g	9 g	5.6 mg	14.0 mg	6.3 mg	79 μg

B1	B2	B6	αトコフェール	βトコフェール	γトコフェール	ビタミンK	ビタミンC
0.63 mg	0.13 mg	0.17 mg	10.8 μg	0.6 μg	4.4 μg	1.0 g	微量 mg



私のやりがいや楽しみ

はれ薬局
喜友名 朝史



みなさんは何かやりがいや楽しみを持っていますか？

私は社会人になるまで両親には、精神的、経済的にも苦労をかけてきました。そのため、薬剤師になって働く時は、生まれ育った沖縄で県民のために働きたいと思い、沖縄県内の様々な地域で働くことができる、県立病院に就職する事になりました。

働き始めた頃は、私自身何もわからず、先輩方に迷惑ばかりかけていました。私の中では働いて1年目だから新人だという気持ちがありましたが、職場で働く他部署の方や患者さんは1人の薬剤師として相談などをしてくるため、それを先輩薬剤師に確認し、伝えられた内容だけを職場の他部署の方や患者さんに伝えると言う、伝書鳩のような行動をとっていました。

その中で何名かの先輩方は、調べ方や探し方をアドバイスして下さり、患者等への対応の仕方を教えて下さいました。最初の頃は色々な事例や書籍を探し調べる事に手間取っていましたが、ある程度調べる事に慣れてくると、この時はまずこれから探す。そこにな

ければこの書籍と自分なりの流れができてきました。

しかし、入院病棟で患者さんへの服薬指導を行っても、日々の業務に追われ、忙しくて、早く業務が終わらないかと考えてしまい、患者さんに寄り添う事もなく、何も感じる事もない日々を過ごしていました。

ある日、仕事が終わりに、先輩と食事に行き、お酒などを飲み楽しんでいた時、ふと先輩に「仕事楽しい？」と聞かれ、今まで忙しい、面倒、早く帰りたいとしか思っていない自分とは全く違う観点からの質問をされて戸惑った事を覚えています。

それからの私は楽しい事、やりがいを感じる事を探しながら働くことにしました。

でも、なかなか楽しいと思える事はなかったのですが、仕事で自分の考え等をいいね！と評価された時、少しやりがいを感じ、次も頑張ろうと自分の中で楽しく思えました。私の中で頑張ろうと思えた事で、様々な仕事を経験させてもらい、仕事にやりがいを感じ、楽しいと思える事が出来ました。

そんな中、職場で様々な患者さんと接していると、病院内だけではなく、もっと地域に住んでいる方々と密に関わりたい、色々な事に挑戦してみたいと思い、自分で調剤薬局を始めることにしました。当初は誰にも相談できず、不安しかありませんでした。勢いで始めたが、こんなに苦悩するならやめておけばよかったと思う事も何回もありました。しかし、患者さんの中には、あなたに相談して良かった、今度からここでお薬もらうからよろしくねって言ってもらえ、その一言がうれしく思いとても励みになりました。



職場体験受け入れ



そんな中、薬局に1件の訪問の依頼がありました。患者さんは60代男性、終末期でいままだ病院に入院して抗がん剤治療を行っていましたが、奏効みられず。またコロナの事もあり、入院中家族の面会もできなかったため、患者さん本人と家族で相談し自宅での緩和療養を希望し、私たち薬局が関わることになりました。週に1回訪問を行い、アドヒアランスや副作用、疼痛管理を行っていました。病院に入院中ほとんど食事もとれていなかった患者さんは、自宅に退院後、気持ちも明るくなり、食事もとれるようになっていました。患者さん自身も家族には面倒をかけるが、今まで住んでいたお家で、家族と生活しながら最後を迎えたいと話されていました。

自宅に訪問するようになり、月4回多い時は5回伺っていましたが、週ごとに体調変動があり、疼痛もコントロールはできていたものの、特に便秘症状に悩んでいました。患者

さんはとても話しやすく、口調や話している事は厳しいが何でも相談してくれていました。その際、自宅で看取りを希望した事で治療費も抑えられると思っていたが、緩和療養も高額な為、しなくていい処置、使う必要のない薬は処方しないで欲しいと先生に伝えてと話されていました。その際、私たち薬剤師はただ薬の説明だけをするのではなく、なぜ必要なのか、また使用期間、治療費がどの位なのかを説明する重要性を実感しました。この患者さんは介入後から亡くなるまでの4ヶ月くらい関わりましたが、とても印象に残っています。

最後になりますが、私のやりがい、楽しみは、患者さん・その患者さんをサポートする方の負担や悩みなどを薬剤師としてお手伝いできる事、それにより感謝される事よりも、患者さん自身の気持ちが治療や余生が前向きになる事をやりがいや楽しみに思っています。

次号には、山内 一姫 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。



☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

薬連だより

第26回参議院議員通常選挙結果報告

「神谷まさゆき」当選しました！

沖縄県神谷まさゆき後援会
沖縄県薬剤師連盟
会長 前濱 朋子

会員の皆様には、平素より本連盟活動へのご支援に衷心より厚く御礼申し上げます。

この度、投開票された第26回参議院議員通常選挙において、私たち薬剤師の代表「神谷まさゆき氏」が自民党比例区候補者33人中17番目で当選を果たしました。

ここ数ヶ月の間、地区薬剤師会・幹事長はじめ総務役員・関係者と共に、薬剤師職能確立のために政治の必要性のご理解をお願いして参りました。会員の皆様の一票一票の積み上げにより、結果を得ることが出来ました。

ご支援・ご協力いただきました皆様へ心から感謝の意を表すると共に、今後、国の医療政策

において薬剤師職能が十分に発揮できるよう「神谷まさゆき氏」と共に頑張っていきましょう。

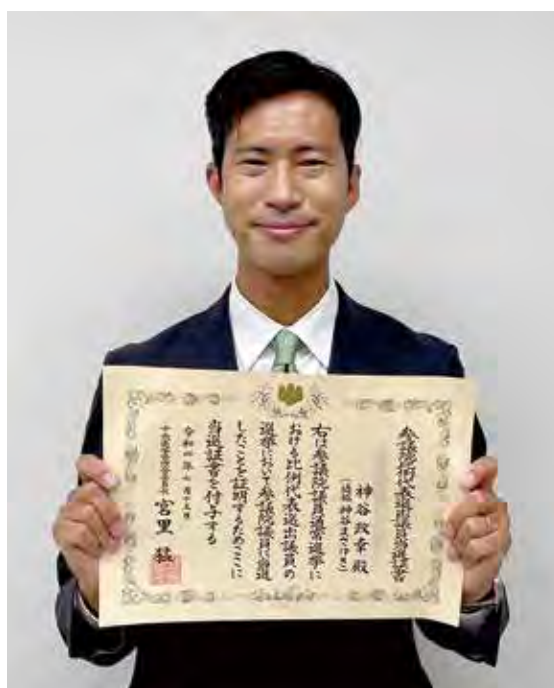
また、同時に沖縄選挙区においても薬剤師の「古謝げんた氏」の当選を願って最後の最後までご支援・ご協力いただきました皆様へ重ねて感謝を申しあげます。

自由民主党獲得比例議席数 18位

神谷まさゆき順位 第17位

得票 数 127,188票

(総務省)



薬連だより

参議院選挙を終えて

日本薬剤師連盟 副会長
神谷 まさゆき



6月22日(水)に東京品川での出陣式の後、地元豊橋市で出発式を行い、18日間にわたる選挙戦が始まりました。私は地元愛知県に集中して活動し、街宣車で薬局や支援者を回っての挨拶や駅頭などでの街頭演説、集会等での幕間演説などで支持を訴えました。もう一台の街宣車には熊本県から東京都に向かって活動していただき、街宣車が廻らない道府県では4つのルートで標旗をリレーしながら訪問活動や街宣活動、個人演説会等を行っていただきました。

投票日の7月10日(日)は、地元での投票後東京に向かい、選挙事務所近くのホテルで待機して開票結果を待ちました。選挙事務所では、本部役員はじめ企画実行委員や支援者の皆様が、テレビを食い入るように見たり、画面を見て立ち上がった様子を見て写真をとることができました。私は、当選確実が報道された11日午前6時過ぎに皆様の歓声に包まれ

て事務所に入り、山本選挙対策本部長からのお礼、藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員、松本純前衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員、首藤正一保険薬局政治連盟会長からお祝いの言葉をいただき、私からお礼の挨拶、岩本幹事長の挨拶の後、皆様と喜びを分かち合いました。

選挙戦終盤の7月8日(金)には、安倍晋三元総理大臣が凶弾に倒れるという事件が発生しました。断固許してはならない暴挙であり、改めて民主主義の重要性を認識するとともに、皆様の熱い思いと期待をしっかり受け止め、より可能性に満ちたこの国の輝く未来に向けて、国民が健康で安心して生活できる社会を創るために、誠心誠意力を尽くして取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

神谷まさゆきをこれからもよろしくお願いいたします。

1. Facebook ページ 『薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌』 を公開しました。

右のコードから閲覧してください →



2. 神谷まさゆきのホームページを開設しました。

右のコードから閲覧してください →



3. 神谷まさゆきメールマガジンを開始しました。

右のコードから登録をお願いいたします →



4. 神谷まさゆきの公式LINEアカウントを開設しました。

右のコードから登録をお願いいたします →



5. 神谷まさゆきの Twitter を始めました。

ぜひフォローをお願いいたします。 →



薬連だより

神谷さんの当選を祝して

参議院自由民主党政策審議会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之



神谷政幸さん、当選おめでとうございます。
皆様方の厚いご支援の賜と、私からも御礼申し上げます。無事、神谷先生にバトンを渡すことが出来、安心して国会を去ることが出来ます。

自民党は、「決断と実行。日本を守る。未来を創る」をスローガンに、

- (1) 毅然とした外交・安全保障で、“日本”を守る。
- (2) 強力で機動的な原油高・物価高対策で、“国民の生活と産業”を守る。
- (3) 徹底した災害対策で、“国民の生命・財産・暮らし”を守る。
- (4) 感染症対策と社会・経済活動の両立で、“国民の命と暮らし”を守る。
- (5) 「新しい資本主義」で、“強い経済”と“豊かさを実感できる社会”を創る。
- (6) 「デジタル田園都市国家構想」と「農林水産業・地域経済の振興」で“活力ある地方”を創る。
- (7) 憲法を改正し、新しい“国のかたち”を創る。

との重点施策を掲げて戦いに挑みました。

結果はご案内のとおり、過半数を確保して引き続き安定した政権運営を担えることとなりました。重ねて御礼申し上げます。

また、公約と同時に公表した総合政策集では、薬局・医療機関の薬剤師について、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局を普及することにより、患者や地域住民が安心して医薬品を使うことができる環境を整備すること、チーム医療における薬剤師の業務の拡充と医療機関における薬剤師確保の取組みを推進すること。セルフメディケーションを推進するため、スイッチOTC化を進めるとともに、セルフメディケーション税制の普及・拡充に努めること。薬価制度について、特許期間中の新薬の薬価水準が維持されるよう、新薬のイノベーションの評価等のあり方を検討すること等、多くの内容が記されています。神谷先生には、これら政策の実現のために、大いに活躍されるものと期待しています。

最後になりましたが、長年のご指導、ご支援に改めて御礼申し上げます。



日本薬剤師連盟役員と一緒に記念撮影

薬連だより

「選挙」は、私たち一人ひとりのために

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



第26回参議院選挙中に応援弁士として街頭演説をされていた安倍晋三元総理大臣が銃撃されるという事件が起きました。武器を使わない言論で候補者が戦う選挙中にこうした事件が起こったことは大変なショックでした。しかしながら、選挙という大切な国民の権利の重要性を多くの世代の皆様に通じることなく伝え続けていきたいと思い、7月9日はマイクを持って最後まで活動を続けました。

人の命や健康に直接関与する医薬品とその情報を取り扱う薬剤師という職能は、法律によってその権限、責務等が規定されています。法律や制度は国会、政府、行政によってその方向が決められ、改める必要があれば法は改正され、制度が変わることがあります。

新型コロナウイルス感染症対策を講じる中で、薬剤師への期待の声が寄せられました。

ワクチンの充填、希釈のみならず将来的な打ち手の問題、医療用検査キットの薬局から

の供給等です。現場の先生方が職能を更に広げ、地域の皆様の期待に応えられる存在につながるものにしていきたいと思います。そのためには、法律や制度の改正等が求められてくると思います。

さて、私が出馬した第25回参議院議員選挙後に、日本薬剤師連盟でまとめられた総括報告書の最後のページには、「・・・日本薬剤師連盟の政治力は、直接的には”選挙力”すなわち“集票力”の強さをもって評価される。政治団体は、時々の政情や社会環境によって左右されない安定した”集票力”を持たなければならない。」と記載されていました。

薬剤師一人一人が常に政治課題に意識をもって連盟活動に参加を続けていくこと、

主権者である国民に与えられている大切な投票権を必ず行使することが求められていると考えます。薬剤師の先生方にもこの大切な権利をこれからも大切に考えていただくことを切に期待しています。



令和4年7月11日 朝6時過ぎ。「神谷まさゆき」当選確定



2018年7月、日本薬剤師会災害対策委員として、安倍晋三内閣総理大臣（当時）と「我が国の災害対策とこれからの医療と薬剤師」をテーマに対談させて頂きました。哀悼の意を込め写真を掲載いたします。

薬連だより

神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会

日時：令和4年6月15日（水）19:30～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

通常国会が閉幕し、事実上の選挙戦に突入した6月15日。沖縄県薬剤師会館ホールにて、沖縄県薬剤師連盟・日本病院薬剤師連盟沖縄支部・日本薬業政治連盟沖縄支部の共催で、「神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会」を開催した。第26回参議院議員通常選挙に立候補を予定する日本薬剤師連盟統一候補の神谷まさゆき氏と沖縄県選挙区で立つ元総務省官僚で沖縄県薬剤師会会員でもある古謝げんた氏の両氏が共に決起大会に出席した。司会進行は、沖縄県薬剤師連盟の知名博樹組織強化担当が務めた。

主催者として、沖縄県薬剤師連盟の前濱朋子会長、日本病院薬剤師連盟の姫野耕一沖縄支部長、日本薬業政治連盟の伊集院良憲沖縄支部長の順で挨拶をした。前濱会長は、「二人のイメージカラーが緑色であることや掲げているテーマも共通していること、そして何と言ってもこの若さ。『若い薬剤師 未来をつくる即戦力』を新たに掲げ、大きな希望を持って更なる支援活動をしていこう。」と挨拶した。続けて、日本薬剤師連盟の山本信夫会長と原口亨常任総務、日本病院薬剤師連盟の木平健治会長より挨拶をいただいた。

また、西銘恒三郎大臣、國場幸之助衆議院議員、宮崎政久衆議院議員、島尻安伊子衆議院議員ら地元国会議員や、松本純前衆議院議員から届いた祝辞および激励の電報によるメッセージを司会から紹介した。

そして、通常国会閉幕直後にもかかわらず、現職の本田顕子・藤井基之両参議院議員が会場へ駆けつけ、大いに盛り上げた。先に本田議員が、「医薬分業の未来をつくるのは薬剤

師自身であり、薬剤師・他関係者の積極的な協力なくして薬業界の明日は無い。皆で頑張っていこう。」と力強く呼びかけた。今期で引退し、神谷まさゆき氏を後継者として日本薬剤師連盟統一候補の道を譲る藤井議員からは、「神谷さんは国民が健康で安心して生活できる社会を創るために行動すると訴えている。老舗の薬局経営、製薬会社のMR、日本薬剤師会・連盟の役員等、若いながらも多くの経験を積んでおり、我が国の社会保障制度の充実等、私の夢を繋いでいただきたい。そのためにも多くの支援をいただきたい。」と重ねて大会参加者へ要望。「古謝さんは、数少ない私の大学（東京大学薬学部）の後輩。総務省官僚まで就いていたにもかかわらず政界に挑戦しようという、このような男は何十年に一回しか出てこない貴重な存在だ。」とたたえた。他にも来賓の渡嘉敷奈緒美前衆議院議員、佐喜真淳沖縄県知事予定候補、新垣淑豊沖縄県議会議員が続けて挨拶した。

今回の決起大会の主役である神谷まさゆき、古謝げんた両氏の決意表明に移った。

最初に、神谷まさゆき氏が、「後発医薬品の供給が不安定な中でも医薬品流通業は提供体制を途切れさせず、社会インフラとしての実績を果たしている。」「病棟業務での病院薬剤師の役割や、経済安全保障の観点から製薬や卸業の重要性もしっかり訴えていきたい。」「もちろん、薬剤師の声をしっかり届けていく覚悟である。」と更なる支援を求めた。

古謝げんた氏は、「総務省入省前に、少しではあるが薬剤師としてドラッグストアでOTC医薬品を販売していたこともある。」「未

<大会次第>

1. 主催者あいさつ

司会	沖縄県薬剤師連盟	組織強化担当	知名 博樹
	沖縄県薬剤師連盟	会 長	前濱 朋子
	日本病院薬剤師連盟	沖縄支部長	姫野 耕一
	日本薬業政治連盟	沖縄支部長	伊集院良憲

2. 日本薬剤師連盟・日本病院薬剤師連盟役員あいさつ

日本薬剤師連盟	会 長	山本 信夫
日本病院薬剤師連盟	会 長	木平 健治
日本薬剤師連盟	常任総務	原口 亨

3. 来賓あいさつ

(1) 参議院議員	藤井 基之・本田 顕子
(2) 前衆議院議員	渡嘉敷奈緒美
(3) 沖縄県知事予定候補	佐喜真 淳
(4) 沖縄県議会議員	新垣 淑豊

4. 決意表明

神谷まさゆき・古謝げんた

5. 「がんばるぞ!」コール

沖縄県薬剤師連盟 幹 事 長 石川 恵市



前濱朋子
沖縄県薬剤師連盟会長



姫野耕一
日本病院薬剤師連盟 沖縄支部長



伊集院良憲
日本薬業政治連盟 沖縄支部長



山本信夫
日本薬剤師連盟会長



木平健治
日本病院薬剤師連盟会長



原口 亨
日本薬剤師連盟常任総務



渡嘉敷奈緒美
前衆議院議員



佐喜真淳
沖縄県知事予定候補



新垣淑豊
沖縄県議会議員



知名博樹
組織強化担当

来を考えた時に、子供達が笑顔で大人になれる沖縄を実現したいのが原点である。」「沖縄県内国公立大学への薬学部新設に向けて力を尽くしたい。慢性的な薬剤師不足を解消するだけでなく、創薬産業活性化にもつなげたい。」と訴えた。

終演に近づいたところで、石川恵市沖縄県薬剤師連盟幹事長が「薬剤師の他にも卸会社、

その他関係者が未来を期待して働ける環境をつくっていくためには、国会の中に薬剤師を送らないと仕組みは変えられない。積極的な多くの支援をいただきたい。」と述べ、「がんばるぞ!」コールを力強く高らかに叫び、より一層士気を高めた。

(報告:事務局 大城喜仁)

〔神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会スナップ写真〕



神谷まさゆき決意表明



本田顕子
参議院議員



藤井基之
参議院議員



「がんばるぞ！」コール
石川恵市 幹事長



力強く高らかに「がんばるぞ！」コール

〔神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会スナップ写真〕



古謝げんた決意表明



「若い薬剤師 未来をつくる即戦力」「かがやけ 未来の やくぎょうかい」

薬連だより

〔神谷まさゆき・古謝げんた〕



街頭演説（株式会社 琉薬の前にて）
左より、前濱朋子 会長、渡嘉敷奈緒美 前衆議院議員（神谷まさゆき氏代弁）、古謝げんた氏、
宮崎政久 衆議院議員。後列はのぼり旗を掲げる石川恵市 幹事長



株式会社琉薬にて個人演説会



沖縄東邦株式会社にて個人演説会



株式会社スズケン沖縄薬品にて個人演説会



株式会社アトル沖縄営業部にて個人演説会

支援・選挙活動スナップ写真]



世耕弘成大臣(左から5人目) が来沖(株式会社ダイコー沖縄にて)



前濱朋子
会長



本田顕子
参議院議員



古謝げんた
参議院議員候補



古謝亜希子氏
(古謝げんた氏の奥様)



渡嘉敷奈緒美
前衆議院議員



宮崎政久
衆議院議員



奥間 亮
那覇市議会議員



石川恵市
幹事長



知名博樹
組織強化担当



鈴鹿玲子
総務



標旗リレー：沖縄県薬剤師会館会長室にて標旗の受け渡し
沖縄県薬剤師連盟の前濱朋子会長から香川県薬剤師連盟の久間一徳会長・山本和幸幹事長へ

薬連だより

令和4年度 沖縄県薬剤師連盟評議員会

日時：令和4年6月19日（日）13:00～13:25

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞		司会・議長	副幹事長	名 嘉 紀 勝
会長あいさつ			会 長	前 濱 朋 子
議題				
報告	第1号 令和3年度会務経過報告		幹 事 長	石 川 恵 市
	第2号 令和3年度会務並びに会計監査報告		監 事	山 里 勇
議案	第1号 令和3年度決算承認の件		会計責任者	川 満 直 紀

沖縄県薬剤師会定時総会に先立ち、沖縄県薬剤師連盟定時評議員会が開催された。

司会進行の名嘉紀勝副幹事長より、本評議員会の議長について、本連盟会則第12条3項に「評議員会の議長は会長とする。ただし、会長は総務の中から議長を委任することができる。」とあることから、先だって、会長から委任されたことが述べられ、議長を務めた。

コロナ禍における今回の開催の取り扱いについては、県外往来、海外渡航、感染者への濃厚接触、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、また、参加に際しては、マスク着用や手指消毒等の感染予防を心掛け、濃厚接触を避けていただくこととし、どうしても出席を避けたい、他事由により出席できない場合は、「書面による議決権行使」もしくは「議決権の代理行使」を提出していただくよう案内していた。「書面による議決権行使」にて賛成と提出した評議員が19名、「議決権の代理行使」を議長に委任することで提出をした評議員が7名、現地参加した評議員が20名の計46名であった。本連盟会則第15条に、「評議員会は評議員の過半数の出席をもって成立し、承認および議決は出席者の過半数をもって決するものとする」とあ

ることから、評議員数46名全員が出席と扱いとなり、議長が開会を宣言した。

最初に、前濱朋子会長が、「2年に及ぶコロナ禍において、薬剤師職能に関して大きく認められ、沖縄県でもワクチン充填業務、コロナ相談窓口、自宅等療養者への医薬品配送に係る業務等に報酬がついた。これについては、現場の薬剤師の日頃の働きに加え、薬剤師議員の力が大きい。規制改革では薬剤師にとって追い風ばかりではない。追い風も一歩間違えば、向かい風となる危ういところである。このような時、薬剤師の職能を熟知した薬剤師議員の力が必要となる。現在、薬剤師議員は参議院に2名、政党違いで1名の計3名のみである。今期で藤井基之議員が勇退すれば、さらに1名減ることになる。幸い、今回、2名の新しい若い薬剤師が候補者となっている。去る6月15日には、神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会を、ここ沖縄県薬剤師会館で執り行った。即戦力となる若い2名の薬剤師に、薬業界の未来を託すべく、応援していこう。」と、あいさつした。

報告第1号「令和3年度会務経過報告」では、石川恵市幹事長が、コロナ禍で会務が滞っていた中においても執行することができた主な



神谷まさゆき最新メッセージ動画放映



司会・議長
名嘉紀勝 副幹事長



会長あいさつ
前濱朋子 会長



報告第1号
石川恵市 幹事長



報告第2号
山里 勇 監事



議案第1号
川満直紀 会計責任者

会務を報告した。主な会務は、「令和3年10月31日執行の第49回衆議院議員総選挙に係る沖縄4選挙区における支援活動」「令和3年11月30日から12月3日にかけての神谷まさゆき氏の沖縄県内薬局・卸会社訪問および若手フォーラムの開催」で、端的に報告した。また、来る7月予定の第26回参議院議員選挙に向けて、より積極的な支援活動への協力依頼をした。

報告第2号「令和3年度会務並びに会計監査報告」では、山里勇監事が次のように報告した。

本連盟規約第9条第11項に基づいて、令和3年度監査を江夏京子監事と共に、去る5月13日に本会館にて、前濱朋子会長、川満直紀会計責任者、関係職員同席のもと、決算報告書内訳および予算執行状況等関係書類を基に監査を行った。財務及び事業については適正に実施されていると認めた。監査意見については、

- (1) 収支決算書、貸借対照表、財産目録等は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支

状況及び財政状態を正しく示していると認める。

- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 役員の職務執行に関する不正の行為等の重大な事実はないと認める。

と、報告書を読み上げて監査報告とした。

議案に入り、議案第1号「令和3年度決算承認の件」を川満直紀会計責任者が説明した。

主に、日本薬剤師連盟より参議院議員通常選挙の活動助成金として2回（令和3年5月と令和4年1月）に交付を受けたこと、年末に実施した神谷まさゆき沖縄支部訪問関連の支出について説明した。

議案第1号について、挙手による採決で賛成多数で決議された。

閉会前に、日本薬剤師連盟次期参議院議員選挙組織内統一候補者の神谷政幸氏からの新しいメッセージ動画を閲覧し、令和4年度沖縄県薬剤師連盟評議員会は終了した。

（報告：事務局 大城 喜仁）

薬連だより

まさゆき 政幸だより

日本薬剤師連盟
副会長 神谷まさゆき



神谷まさゆき中央後援会総会 開催

4月から開始した重点地区訪問は愛知県、静岡県、大阪府を訪問し、5月に入り東京都、神奈川県、兵庫県を回っております。

さて、4月27日(水)には都内のホテルにおいて、国会議員や支援団体等の皆様をお招きして、神谷まさゆき中央後援会の総会が開催されました。中央後援会の岩本副会長の司会により、中央後援会の山本会長の挨拶の後、藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員、松本純前衆議院議員より心温まる励ましのお言葉をいただき、薬剤師問題議員懇談会会長で財務大臣の鈴木俊一衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員より励ましのメッセージをいただきました。

続いて、ご参加いただいた20の支援団体の代表者が紹介され、眞鍋淳日本製薬産業政治連盟会長(代読)、鹿目広行日本薬業政治連盟会長(代読)、首藤正一日本保険薬局政治連盟会長、根津孝一日本チェーンドラッグストア協会副会長、木平健治日本病院薬剤師連盟会長より激励のお言葉をいただき、佐野雅宏健康保険政治連盟会長より応援のメッセージをいただきました。

私からは、幼いころ人の役に立つ化学者にあこがれ、チーム医療の一員になりたいという夢をもって薬剤師になったこと、藤井基之先生の18年間の実績を継承し、薬剤師として国民が健康で安心して暮らせる社会を次世代につなぐ役割を果たしていきたいことなど、決意の言葉を述べさせていただきました。

グリーンのハチマキや法被を身につけた200名を超える参加者からの熱気をいただき、夏の決戦に向けて走り続ける決意を新たにしました。この思いを胸に最後まで駆け抜ける覚悟です。

神谷まさゆきへのさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

2年間ありがとうございました

令和2年3月25日の日本薬剤師連盟定時評議員会において、藤井基之先生の後継者として組織内統一候補に選任いただいてから、コロナ禍が続く中またたく間の2年3カ月でした。WEBも活用しながら、1年目は都道府県の役員の皆様へのご挨拶や各種集会への参加などを行い、2年目には2月から全国支部訪問、そして本年4月から6月までは、重点地区訪問を行いました。

新人候補として全国の会員の皆様に顔と名前を覚えていただくには、直接向き合うことが重要であることは言うまでもありませんが、コロナ禍の中ではそれもままならず、戸惑いと焦り、不安を感じることも度々ありました。訪問先の皆様には、日常業務のほかワクチン接種への協力等コロナ感染対策に関する業務でお忙しい中、感染状況や地域の実情に応じさまざまな工夫とご配慮をいただきました。お蔭さまで充実した訪問活動となり、皆様との強い絆を実感することができました。改めまして厚く御礼申し上げます。

人生100年時代を迎え、高齢者にも若者にも優しく、安心して働き、子育てができる社会を構築し、次世代に継承していくことが大きな課題となっています。地域のチーム医療の一員として、住民の健康の維持・増進に貢献するかかりつけ薬剤師・薬局を推進し、国民が健康で安心して生活できる社会を創るために活動していくことが私に課せられた役割と考えております。藤井基之先生からのバトンを受け継いで本田顕子先生との二人体制を堅持し、皆様とともに前に進んでいけるよう、全身全霊をかけて力を尽くす決意です。

より可能性に満ちた輝く未来に向けて、神谷まさゆきは行動します。これまで以上のご支援をよろしくお願い申し上げます。



薬連だより

オレンジ日記

自由民主党副幹事長・女性局長代理
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



国会議員としての励み

国会においては、当初予算、日切れ法案の審議を終え、各種委員会の本格的な審議が始まっています。4月21日には、厚生労働委員会で質問に立ち次の7項目を取り上げました。

- 化学テロリズム対策
- 感染症対策としての下水サーベイランスの体制整備と進捗状況
- DMAT事業の令和4年度厚労省予算
- 災害時や感染症パンデミック時の迅速かつ的確な医薬品の供給体制
- 「ワクチン開発・生産体制強化戦略」におけるデュアルユース設備の導入等支援
- 薬価の毎年改定による薬剤費の伸びに対する認識及び特許期間中の新薬の薬価維持
- 調剤業務の外部委託

国会議員となって議員立法により法律を作ることが大きな仕事なのだと先輩議員から聞いていますが、国会において質問したことが政策の進捗に影響を及ぼしていることを実感することも大きな励みと喜びに繋がるのではないかと思います。

私が質問で取り上げた、感染症対策としての下水サーベイランスの体制整備は、新型コロナウイルス感染のクラスター対策等に適用しようとするものです。2021年1月から問題意識を持って関係省庁に状況確認等を進めていたものでした。2022年4月19日には新型コロナウイルス等感染症対策本部でも取り上げていただき、有識者のヒアリングを行っていただけるまでになりました。厚労委員会での質問後、下水サーベイランスの活用に関する実証事業の公募が4月27日から始まり、5月下旬まで行われるとのことでした。

まさに思いを伝えていくことで政策は作られ、場合によって法律となったり、必要に応じて法律を改正することができる、それが国政であることを実感しています。新しい検査体制を模索し、日本の分析技術の底上げにも繋がっていくようにと思います。

薬剤師の窓口として

5月17日、私は参議院厚生労働委員会の質疑で「敷地内薬局」を取り上げました。敷地内薬局については、令和2年11月の厚労委員会でも質問を行っており、日本薬剤師会では令和3年5月、厚労大臣に要望書を提出しておりますが、有効な対策が講じられぬまま、事態は黙認され、民間病院までその影響が広がっています。このため再度、政府の対策を確認すべく質問を行いました。

その際、なぜ、経済的にも機能的にも独立していることが必須となるのかを、私は医薬分業の本旨として「処方箋を交付する医療機関から独立した薬局において薬剤師により調剤を行うことが患者の薬物療法をより安全でより効率的にするための人類の英知である」と伝えました。

そして、医薬分業の起源といわれている、約780年前のプロイセンの王、フリードリヒ2世による5カ条の法律の制定について、また、薬を調剤する権利証書の薬剤師への交付式の絵が沖縄県薬剤師会館に飾られていることにも触れさせていただきました。

古賀副大臣からは、敷地内薬局については本年度の診療報酬で対応したこと、今後、厚労省のワーキンググループにおいて課題整理等を行うとの答弁をいただきました。

質問時、私が触れたフリードリヒⅡ世の話は、以前私が日本薬剤師連盟副会長として全国を回らせていただいていた頃にも先生方にお伝えしていた内容であり、まさに「現場から国政へ」を実現できたことを改めて実感しました。

今後とも薬剤師の先生方の身近な窓口として頑張っていきたいと思います。引き続きご指導をよろしくお願い申し上げます。

薬連だより

国会レポート

参議院自由民主党政策審議会長

参議院議員・薬剤師

藤井 基之



薬機法改正案の審議

緊急時の薬事承認制度の創設等を盛り込んだ薬機法改正案は、4月19日の衆議院本会議で全会一致にて可決し、参議院に送付されました。参議院では、4月22日の本会議にて提出法案の趣旨説明が行われ、審議がスタートしました。

厚労委員会は26日から薬機法改正案の審議を行い、自民党のトップバッターとして今国会で初めて質問に立ちました。

最初に、昨年の第5波が急速に収束したのに比べ、今般の第6波が緩やかな減少となっていることについて尋ねました。厚労省はアドバイザリーボードの見解として、第5波ではワクチン接種及び自然感染による免疫の獲得による一過性の集団的な免疫獲得、そして感染拡大時の接触機会の減少などがあるとしています。一方、第6波では様々な接触機会の増加と、BA2系統への置き換えが強く影響していると説明しました。

次に、新型コロナウイルス感染症のワクチンや治療薬の国内開発が遅れた理由を質した上で、研究開発や生産体制整備への費用助成は、平時から永続的に行うことが重要であることから、その点を強く要請しました。

緊急承認制度について、その具体的なメリットを確認した上で、薬事承認制度は通常承認の他、条件付早期承認、特例承認、そして緊急承認が加わることとなり、申請者が緊急承認制度を適切に活用するためには、その具体的な運用基準を早急に示すよう求めました。また、条件付早期承認で申請中の製品について、改正法が施行された段階で緊急承認制度への切替えが可能なことも確認しました。

この他、電子処方箋をスムーズに普及、運用するための方策の確認、及び大麻取締法の見直しの検討状況を確認して、質問を終えました。

委員会の詳細は、参議院ホームページ録画映像や議事録でご確認ください。

令和4年度補正予算

令和4年度補正予算は5月31日に開催の参議院本会議にて可決、成立しました。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症により国民生活や経済への影響が継続するなか、ロシアによるウクライナ侵略等を背景に、原油や穀物等の価格や供給の不安定化など先行きの不確実性は高くなっており、今後の新型コロナウイルス感染症の再拡大や原油価格、物価の更なる高騰等による予期せぬ財政需要に迅速に対応し、国民の安心を確保するため、原油価格高騰対策に係る経費及び新型コロナウイルス感染症対策予備費等、約2兆7千億円を計上しています。

また、政府は「経済財政運営と改革の基本方針2022」（いわゆる骨太の方針2022）を6月7日に閣議決定しました。本方針では、新型コロナウイルス感染症対策について、医療提供体制の強化を進め、1日も早い経済社会活動の正常化を目指すとともに、これまでの新型コロナウイルス感染症対応を客観的に評価し、次の感染症危機に備えて、本年6月を目途に、危機に迅速・的確に対応するための司令塔機能の強化や保健医療体制の確保など、中長期的観点から必要な対応を取りまとめるとしています。

この他、オンライン資格確認について、保険医療機関・薬局に、2023年4月から導入を原則として義務付けるとともに、患者によるマイナンバーカードの保険証利用が進むよう、関連する支援等の措置を見直すこと。2024年度中を目途に保険者による保険証発行の選択制の導入を目指し、さらにオンライン資格確認の導入状況等を踏まえ、保険証の原則廃止を目指すこと等も記されています。

国会は6月15日に会期末を迎え、論戦の場は国会から選挙戦へと移ります。後継の神谷政幸さんに確実にバトンを渡せるよう、国会議員として最後の大切な役目を果たして参りたいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

薬連だより

ファーマシーニュースブレイク

転載記事

2022年6月6日月曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2143号



地方議員との交流の場、相次いで発足

渡嘉敷氏「薬剤師もウイングを広げて」

薬剤師と地元の市町村議員が交流する場が、相次いで発足している。仕掛け人は前衆院議員の渡嘉敷奈緒美氏（大阪7区）。薬剤師業務への理解者を増やすことで、地方議会や自治体において薬剤師の存在感を高めていく狙いだ。今夏の参院選など国政選挙も見据え、「薬剤師議員以外にも、ウイングを広げていく必要がある」と意気込みを語る。

渡嘉敷氏は昨年12月、選挙区の吹田、摂津両市など府内の市議や町議でつくる薬剤師問題議員連盟を立ち上げた。薬剤師ではない議員にも薬剤師の取り組みをもっと知ってもらおうと同時に、地方選や国政選で相互に助け合うのが主な目的。まずは薬剤師と議員の意見交換の場を設け、交流を深めている。

「多くの地方議員はカウンターの内側の薬剤師しか知らない。薬剤師側も何をやっているかアプローチしてこなかった」。交流を通して感じた印象を渡嘉敷氏はこう語る。地域包括ケアシステムや地域医療構想など、地域事情に応じた医療・介護体制づくりが求められている中で、「薬剤師は医療と介護の橋渡しができる存在。地域でもっと活躍するには、国政だけでなく身近な地方政治との連携が大切になる」と訴える。

大阪での経験を踏まえ、縁のある沖縄県でも若手の地方議員を中心にした勉強会を設立。医療・介護分野の検討会などに薬剤師を招いていない自治体もあったが、地方議員との交流を通じて、参加が決まるという実績も出始めているという。

●地方議員も「薬剤師政策」携え薬局巡り

地方政治・行政へのアプローチのほか、選挙を通じた関係づくりも後押しする。沖縄では渡嘉敷氏に同行する形で、地元議員が薬剤師向けの政策を携えて薬局巡り。渡嘉敷氏は、参院選に向けて神谷政幸氏（日本薬剤師連盟の統一候補、全国比例）や古謝玄太氏（薬剤師、沖縄選挙区）の応援を、地元議員は自らの選挙の支援を呼び掛けているという。「薬局には入りづらかったという声も聞く。薬剤師と地方議員が普段から接するきっかけにしてほしい」と語る。

神谷氏をバックアップする日薬連盟は、「薬剤師票」固めを進めている。渡嘉敷氏は「薬剤師だけでなく薬剤師以外にもアプローチしないといけない」と指摘。そのためにも地域ごとに薬剤師と議員が交流する場の必要性を訴えている。

●政治で「変わる」実体験の先に

渡嘉敷氏自身も地方議員の経験がある。杉並区議として、薬剤師との意見交換を通じ、災害時に医療従事者が着る衣服について、白衣からジャケットに変更させたことがあるという。「3月の議会で提案し、7月には導入されていた。薬剤師発のアイデアや提案で、世の中が変わっていくことを実体験してほしい」と話す。

「大切なのは、薬剤師と政治が連携した方が地域に貢献できることを双方が理解すること」。渡嘉敷氏は、交流や連携の先に、議員としての取り組みに関心を持つ薬剤師も現れるとみる。「薬剤師の仲間が立候補したときの応援態勢をとるためにも、薬剤師自身が『政治を自分の近くに寄せていくと力になる』ということを知ってほしい」と呼び掛けている。

（折口 慎一郎）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

薬連だより

ファーマシーニュースブレイク

転載記事

2022年6月7日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2144号



古謝氏政策発表、「薬学部新設と創薬活性化」

参院沖縄選挙区



7月10日投開票の日程が有力視されている参院選で、沖縄選挙区に立候補を予定する自民党新人の古謝玄太氏は4日、那覇市で政策を発表した。その中で、薬学部のない県内への薬学部新設と創薬産業の活性化を掲げた。古謝氏は元総務官僚で薬剤師資格を持つ。

古謝氏の政策は、産業発展や子育てなど9つの柱で構成。薬学部新設は「人材育成」の項目で触れ、「国公立大学への薬学部の新設による薬剤師不足解消と、創薬産業の活性化を目指す」とした。

このほか医療関係では、▽新型コロナウイルス感染症に対応できる医療体制の整備、対応薬の開発促進▽日本版 CDC(感染症対策センター)の設置によるアジアの医療拠点化▽西普天間住宅跡地を中心とした国際医療研究拠点構想を推進一などを盛り込んでいる。

2022年6月22日水曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2155号

薬剤師計4人、参院選に立候補へ

比例。選挙区各2人、22日公示

第26回参院選が22日、公示される。薬剤師資格を持つ立候補予定者は、全国比例区では自民党新人、立憲民主党元職の計2人。選挙区では自民新人1人とNHK党新人1人が準備を進めており、計4人が国政に挑む見通しだ。

比例区では、日本薬剤師連盟の統一候補で自民新人の神谷政幸氏が立つ予定。神谷氏は愛知県出身の43歳で、福山大薬学部を卒業後エーザイに入社。2006年からは地元。豊橋市の薬局に戻り、県薬剤師会などの役員を務めてきた。

比例区には、立憲元職のはたともこ氏も立候補を予定する。はた氏は広島県福山市出身で明治薬科大薬学部卒。11年から参院議員を1期務めた。現在は、衆院岡山5区(倉敷市、笠岡市など)を拠点に活動している。

●日本医師連盟も推薦、沖縄選挙区の古謝氏

選挙区では沖縄選挙区に、元総務省官僚で薬剤師資格を持つ自民新人の古謝玄太氏が、「オール沖縄」の支援を受けて再選を目指す無所属現職の伊波洋一氏に挑む。古謝氏は那覇市出身で東京大薬学部卒の38歳。日薬連盟や日本医師連盟のほか、県内の医療団体らが支援している。

NHK党新人で37歳の山崎藍子氏は、兵庫選挙区で立候補する意向を示している。

参院選は7月10日投開票。昨年10月の衆院選で現職の薬剤師議員2人が落選した中、薬剤師の声を国政に届けられる議員を増やせるかが注目される。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

2022年6月16日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2151号



国会閉幕で事実上の選挙戦へ突入

参院選、薬系候補予定者の合同集会も

通常国会が閉幕した15日、与野党は参院選に向けて事実上の選挙戦に突入した。7月10日の投開票まで1カ月を切る「短期決戦」。薬剤師の立候補予定者は、自民党新人2人が那覇市の集会でそろって氣勢を上げたほか、立憲民主党の元職も準備を進めている。

全国比例での立候補を予定する日本薬剤師連盟の統一候補、神谷政幸氏は15日、沖縄県選挙区で立つ元総務省官僚で薬剤師資格を持つ古謝玄太氏と、合同の決起大会に出席。那覇市の県薬剤師会館に集まった支援者を前に、「薬剤師の声をしっかり届けていく覚悟を持っている。（後発医薬品の供給不安の中でも）医薬品流通業は提供体制を途切れさせず、社会インフラとしての実績を果たしている」と主張。「病棟業務での病院薬剤師の役割や、経済安全保障の観点から製薬や卸業の重要性もしっかり訴えていきたい」と支援を求めた。

古謝氏は、総務省入省前にドラッグストアでOTC医薬品を販売していたエピソードを披露。「未来を考えたときに、子どもたちが笑顔で大人になれる沖縄を実現したいのが原点だ」とした上で、沖縄県初の薬学部新設に向けて力を尽くす考えを示した。「（沖縄県の）薬剤師不足を解消するだけでなく、創薬産業活性化にもつなげたい」と訴えた。

●閉幕直後の現職も激励

2人の決起大会には、国会閉幕直後にもかかわらず現職の薬剤師参院議員2人が駆けつけた。今期で引退し、神谷氏に日薬連盟統一候補の道を譲る藤井基之氏は、神谷氏への支援を重ねて要望。古謝氏に対しては、「数少ない私の大学（東京大）の薬学部の後輩。（政界に挑戦しようという）こんな男は何十年に1回しか出てこない貴重な存在だ」とたたえた。本田顕子氏も、医薬分業の未来をつくるのは薬剤師自身とした上で、「みなさんの協力なくして薬業界の明日はない。共に頑張っていきましょう」と呼び掛けた。

この日の決起大会には、前衆院議員の渡嘉敷奈緒美氏も登壇。古謝氏を前に、「薬剤師のためにやってくれますよね」と迫る一幕もあり、会場は笑いに包まれた。

大会は県薬剤師連盟に加え、日本病院薬剤師連盟と日本薬業政治連盟の各沖縄支部の主催。日薬連盟の山本信夫会長も挨拶し、「若い方が期待を持って薬剤師として働ける環境をつくっていく。そのためには、国会の中に薬剤師を送らないと仕組みは変えられない」と語った。

●立民、はた氏も立候補予定

立憲民主党は今月7日、元職のはたともこ氏を公認。比例区での立候補に向けて準備を進めている。このほか、NHK党からも薬剤師資格を持つ候補が立候補を予定している。（折口 慎一郎）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

2022年6月23日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2156号



参院選公示、薬剤師候補も第一声

18 日間の選挙戦スタート



参院選は 22 日公示され、選挙区・比例代表に計 545 人が立候補した。薬剤師資格を持つ候補も各地で第一声を上げ、7 月 10 日の投開票に向けて 18 日間の選挙戦をスタートさせた。

日本薬剤師連盟の統一候補で自民党新人の神谷政幸氏は、都内で出陣式を開催。集まった支持者を前に、「薬業界の現場の声を、現場出身の薬剤師の言葉で国政にしっかりと届けさせてほしい。その先に、国民が健康で充実した生活を送れる社会があると信じている」と訴えた。具体的な課題としては、▽スイッチ OTC 化の推進▽リフィル処方箋制度の普及▽薬業連携の充実一などを挙げ、後発医薬品の流通不安も「解決して、製薬産業を成長する産業にしていく。現場の視点で向き合っていく」と呼び掛けた。

●岸田派・林外相の姿も

出陣式には、今期で引退し、神谷氏に統一候補の座を譲った現職の藤井基之氏ら同党の薬剤師議員らが登壇。また、藤井氏の所属する岸田派のナンバー 2 で外相の林芳正氏も出陣式前に激励に訪れ、薬剤師や製薬、卸業の関係者に「経済成長だけでなく、社会の充実と経済発展を回していくのが新しい資本主義。その一番大事なところにいるのが皆さま方。国会でしっかりした声を出してほしい。そのためには神谷さんが必要だ」と呼び掛けた。

神谷氏を擁立した日薬連盟の山本信夫会長のほか、日本保険薬局政治連盟の首藤正一会長や、日本病院薬剤師連盟の木平健治会長も必勝を呼び掛けた。神谷氏は出陣式後、地元・愛知県に移動。選挙期間中は県内を軸に活動するという。

●選挙区にも薬剤師候補

同党の候補では沖縄選挙区に、元総務省官僚で薬剤師資格を持つ新人の古謝玄太氏が立候補。この日は県内各地の街頭に立ち、「これまでの経験で沖縄の声を届ける即戦力になれる。沖縄の、日本の、子どもたちの未来のために働かせてほしい」などと訴えた。

薬剤師候補はこのほか、比例区に立憲民主党元職のはたともこ氏が立候補。兵庫選挙区には、NHK 党新人山崎藍子氏が立候補を届け出ている。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

薬連だより

ファーマシーニュースブレイク

転載記事

2022年7月12日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2169号



薬剤師のためのニュースメディア

PHARMACY NEWSBREAK

© 2022じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

当選は「さまざまな課題」と「国民の期待」の表れ

神谷氏、薬業界全体の支援に感謝



日本薬剤師連盟の組織内統一候補として、10日に投開票が行われた参院選で初当選した神谷政幸氏(自民)は11日、支援者への報告会を開き「薬局や病院、製薬産業、医薬品流通業、薬学教育、薬業界全体の声のおかげ」とあらためて感謝を述べた。当選という結果は、薬業界を巡る「さまざまな課題」と「国民からの期待」があることの表れだと指摘。今後6年間で

期待に応える働きをし、信頼される存在になることを誓った。

神谷氏は10日の参院選で、自民党が獲得した比例議席18のうち17番目の得票数となる12万7172票を獲得。接戦の末、投開票日翌日の11日午前6時5分ごろにNHKの開票速報で当確が示された。19番目となった候補者とは、9000票未満の僅差だった。

報告会では、神谷氏に後を託すことが正式に決まった参院議員の藤井基之氏が「これがスタートだ」と強調し、6年間という限られた期間で仕事をしていくためのサポートの必要性を訴え、引き続きの支援を呼び掛けた。

他方、本田顕子参院議員は藤井氏の引退により若手2人体制になることへの不安を吐露しつつ、選挙結果は日薬連盟と支援団体の多くの関係者の力が結集したことによって得られたものだと述べ、「しつかりとお返しをしないといけない」と神谷氏を鼓舞した。

報告会後の会見で神谷氏は、特に力を入れて取り組みたい施策を問われ「かかりつけ薬剤師・薬局を浸透させていくこと」と発言。医薬分業を根付かせていくことにつながると述べ、選挙戦を通じて重要性を実感した「地域で安心・安全を住民と共につくり上げていく」ことを必ず実現したいと語った。

●薬剤師議員2人体制の維持、影響は「じわじわと」山本会長

会見時に、参院の薬剤師議員2人体制を維持できたことの意義に問われた日薬連盟の山本信夫会長は、これまで1人体制の期間が長かったことなどから、この3年間で明確に何が違うという個別具体的な事例を挙げることは難しいとの認識を表明。ただ、「いなかったときとは明らかに違う」とも述べ、即時的な効果ではなく「じわじわと」影響が出てくるものだという見方を示した。

ここ数年の間に起きた、医薬品医療機器等法の改正や診療報酬改定での調剤料の再編、リフィル処方箋の導入などが実現したことも、背景には2人の議員がさまざまな場で薬剤師の重要性を主張し続けたことも影響していると語った。

●薬剤師候補、古謝氏らは落選

神谷氏以外の薬剤師候補は苦戦。沖縄選挙区に立った、元総務省官僚で自民党新人の古謝玄太氏は現職相手に僅差で落選。11日朝には自身の力不足を謝罪し、支援に感謝するメッセージを発表した。

比例区に立候補していた立憲民主党元職のはたともこ氏も落選。告示直前に党から出馬を要請された経緯をツイートで振り返り、「何のための立候補かと自問自答の選挙でしたが、全力投球は当然」とした。支援者に感謝した上で、今後も政治活動に取り組む考えを示している。兵庫選挙区から立ったNHK党新人の山崎藍子氏も支持が広がらなかった。(盛川太一・折口慎一郎)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

2022年7月12日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2169号



神谷氏が初当選、「現場の声に向き合い仕事」

11日朝に当確



10日に投開票が行われた参院選で、日本薬剤師連盟の組織内統一候補である神谷政幸氏（自民）は翌11日朝に初当選を決めた。午前6時5分ごろ、NHKのデータ放送で当選確実が示されると、東京・四谷の選挙事務所に集まっていた支援者から大きな歓声が沸き起こった。自民党の比例候補者のうち17番目だった。組織内統一候補としては、過去最も遅い時間の当確だという。神谷氏は喜びをあらわにした上で、「現場出身の薬剤師として現場の声に向き合い、現場のために仕事をしていく」とあらためて決意を強調した。

11日未明になっても比例候補者の当確状況がなかなか更新されない中、開票が進み得票順位を徐々に上げていくたびに事務所内の拍手が大きくなった。当確が示された瞬間には大歓声に包まれ、直後、事務所に姿を現した神谷氏に対する拍手はしばらく鳴り止まなかった。日薬連盟の山本信夫会長は支援者に対し、2年3カ月にわたる支援に謝意を表明した。

参院沖縄選挙区、薬剤師候補敗北

元総務官僚の古謝氏、猛追も及ばず



10日投開票の参院選で沖縄選挙区（改選数1）は、元総務省官僚で薬剤師資格を持つ自民党新人の古謝玄太氏の敗北が確実になった。沖縄県薬剤師連盟をはじめ各種業界団体が支援し、岸田文雄首相ら大物国会議員が相次いで沖縄入りして応援。知名度のほとんどない「無名の新人」のスタートから猛烈な追い上げを見せたが、わずかに及ばず、無所属現職の伊波洋一氏が当選確実を決めた。

古謝氏は集まった支援者を前に「現職の背中ここまで迫ることができたのは、ひとえに皆さまのおかげです」と感謝。その後あった囲み取材で記者団から今後の政治活動について問われると、「まだ全然考えていない」と答えた。

古謝氏は選挙中、目指す沖縄の将来像について、産業発展や子育て支援環境の整備などを主張。薬学部のない県内への薬学部新設については、「国公立大への薬学部の新設による薬剤師不足解消と、創薬産業の活性化を目指す」と訴えていた。

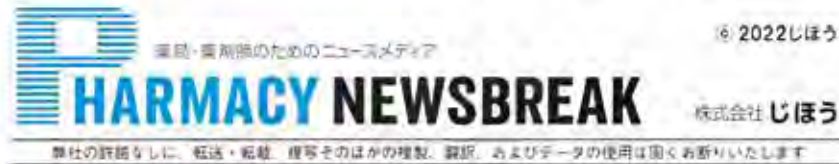
※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク

2022年6月7日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2144号



薬剤師不足解消に奨学金の返還補助

薬学部ない県で広がる取り組み

薬学部のない県を中心に、薬剤師を地元呼び込もうと、卒後の奨学金返還を補助する制度が広がっている。佐賀県では在学期間中に奨学金として毎月10万円を貸与する取り組みも。「理系人材」枠として理工学系の学生・卒業生と合わせた支援策もある。

島根県は、登録した薬局や医療機関への就職を条件に、最長12年（144カ月）、毎月2万円を助成する返還補助事業を始めている。補助する2万円のうち1万円は、採用した薬局側の負担になる仕組み。対象は県外の薬学生や既卒薬剤師が対象で、初年度の2021年度は定員10人に対して7人から応募があった。

受け皿となる登録薬局は5月12日時点で11店舗。昨年度から同事業に参加している「つくし薬局」（出雲市）の勝部靖隆代表取締役は、「経験者を途中で採用するより、経験のない若い人を長く育てていきたい」と理由を話す。従業員の薬剤師も年を重ねる中で世代交代を意識し、「これからの薬局や地域医療を支えてくれる人材を求めている」という。

同様の奨学金補助制度は沖縄県にもある。2年間で毎月3万円を助成。18年度から始め、21年度までに78人が利用したという。

● 5-6年生対象、返済免除付き貸与も

卒後の返還補助ではなく、在学中の奨学金を貸与する取り組みもある。佐賀県と県薬剤師会は、指定薬局で「貸与年数×1.5倍」の就業を返還免除の条件にした貸与事業を15年度から開始。対象は薬学の5、6年生らで、当初は県内高校の卒業者に限っていたが、20年度から撤廃し範囲を広げた。毎年10人程度に貸与し、これまで20人以上が県内に就職しているという。

理系人材という枠組みで、地元就職を促す動きもある。福井県は、理工や建築、情報系などの分野と合わせて、5年間で最大100万円を奨学金返還で支援する制度を用意。富山県は10年間、登録された企業で働けば奨学金の全額分を補助する。鳥取県にも他分野とともに支援メニューがある。

この中で、薬学部があるのは富山県のみ。島根、沖縄、佐賀、福井、鳥取の5県には薬学部はない。いずれも、補助・貸与する金額の財源に「地域医療介護総合確保基金」を活用していない。

● 「効果不透明」「定住後押し」賛否の声

一方で、奨学金返還補助が地元就職などを後押ししているか疑問視する声もある。同様の事業の立ち上げを検討しているある県の担当者は「実際に補助事業が、地元就職やU・I・Jターンを後押ししているかは効果が読めない。移住を決めた後に、支援策を決めているだけかもしれない」とみる。実際にこういった支援事業のある県に就職した若手薬剤師も「就職先を決めてから、どんな助成があるか探した」という。

ただ、奨学金の返還補助事業などは、一定期間の就労を条件にしたものがほとんど。「県内就職のきっかけにはならなかったとしても、定住に向けた後押しにはなるのではないか」という意見もある。

(折口 慎一郎)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

沖縄県難病相談支援センター発刊の難病情報誌「アンビシャス」に、本会の吉田典子理事（薬事情報センター長）の執筆記事が連載されています。

Vol.236 (2022年1月号)

今月のおくすり箱

「ポリファーマシー」という言葉を知っていますか？



「ポリファーマシー」とは多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたりきちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。単に服用する薬が多いことではありません。「薬が多すぎて飲みたくない」、「飲み忘れて薬が余っている」といった患者さんの声も聞かれます。薬が多くなると、飲み合わせ、薬の重複などに関連した副作用等も心配されます。

特に高齢者では複数の慢性疾患を持っている事も多く、それに伴い受診する医療機関が増え、ポリファーマシーの状態になりやすいとされています。

高齢者を対象にした調査では、服用している薬が6種類以上になると、副作用を起こす人が増えるというデータもあります。気になる症状があっても勝手に薬をやめたり、減らしたりするのはよくありません。薬によっては急にやめると症状が悪化したり、思わぬ症状がでることがあります。

日頃から、かかりつけの医師や薬剤師を持って、処方されている薬の情報を把握してもらっておくと安心です。お薬手帳は1冊にまとめて、処方されている薬を確認してもらいましょう。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

Vol.237 (2022年2月号)

今月のおくすり箱

新型コロナウイルス追加接種
(3回目接種)の副反応について



新型コロナウイルス追加接種については、3回目接種が進められているところですが、副反応の事を心配されている方もいらっしゃると思います。全国の新型コロナウイルス追加接種の接種状況(1月18日時点)を見ると2回目の接種を終えられた方は74.03%にのぼります。ファイザー社のワクチンを初回接種(1回目・2回目接種)及び3回目に接種した方を対象とした国内の調査では、37.5℃以上の発熱、接種部位の痛みの頻度は初回接種と同程度でしたが、接種部位の腫れ、熱感、3回目の方が高い傾向がみられました。実際の症状としては「接種後5〜6時間で腕が上がりなくなった」、「翌日まで頭痛、鼻水、全身のだるさが続いた」等の声が聞かれました。副反応の症状や出方は個人差がありますが、殆どの場合2日目ピークに現れ数日で自然に回復しています。接種後の発熱等つらい時にはアセトアミノフェン等の鎮痛薬の服用を勧めますが、接種前の服用はワクチンの効果に影響を与える可能性があるため予防的な服用は控えましょう。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

Vol.238 (2022年3月号)

今月のおくすり箱

帯状疱疹について



帯状疱疹は幼少期に水ぼうそうにかかったことのある人に発症します。神経節内に潜伏していたウイルスが何らかの原因で再活性化し、水泡を伴う赤い発疹が帯状に現れます。ピリピリ、チクチクした強い痛みを伴う事もあり、発疹が治っても痛みが続いたり麻痺が残る場合もあります。ウイルスが再活性化する要因として過労や免疫機能の低下、ストレスなどがあげられます。

現在、3回目の新型コロナウイルス接種が行われていますが、接種後の帯状疱疹も国内外で報告されています。これは、一時的なリンパ球減少やコロナ禍でのストレスによる免疫低下も原因と考えられています。湿疹や水疱に気付いたらすぐに皮膚科を受診してください。蕁麻疹や虫刺されと自己判断し治療が遅れると重症化することがあります。できるだけ早い時期にアシクロビルやバラシクロビルなどの抗ウイルス薬で治療を行う事が重要です。また、免疫抑制剤や抗がん剤で治療を行っている方は帯状疱疹を発症しやすいため、注意が必要です。50歳以上の方は、帯状疱疹を予防するワクチンも接種可能ですので詳しいことについては医療機関へご相談ください。


沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.239 (2022年4月号)

今月のおくすり箱

漢方薬の服用方法と服用時間



漢方薬には大きく分けて「煎じ薬」と「煎じ薬を粒状、粉末にした「エキス製剤」があります。保管や携帯がしやすいため「エキス製剤」が一般的に流通しています。漢方薬は独特な匂いと味そのものが効果を高めるとされ、エキス製剤はお湯に溶かして服用する事で本来の効果が得られるとも言われています。味が気になる方は、あらかじめ水または白湯(さゆ)を口に含んでから漢方薬をその上に落として一気に飲むと飲みやすくなります。

漢方薬を飲むタイミングについては、通常は食前あるいは食間等、胃に食物がないときに服用します。風邪の引き始めに飲む葛根湯等に含まれる麻黄は胃もたれを生じることがあるため、食後指示の場合もあります。薬は定期的に服用することが大切なので、指示通りの服用が難しい場合には薬剤師にご相談ください。また、漢方薬は長期に飲まない効き目が無いと思われがちですが、体質や症状によって効果の服用期間が異なります。多くは1週間から2週間で何らかの効果を実感していただけますが、こむらえりに効く芍薬甘草湯は速い方で服用後10分程度で効果が現れます。


沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.240 (2022年5月号)

今月のおくすり箱

服薬支援グッズのご紹介



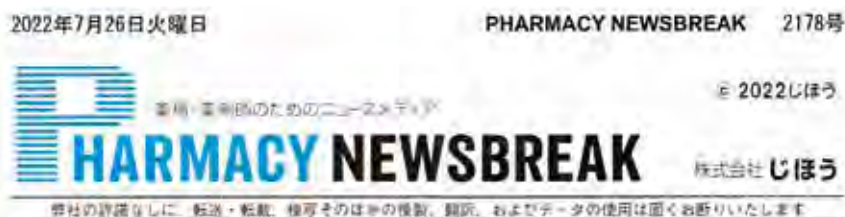
今回は便利な服薬支援グッズをご紹介します。お薬カレンダーや携帯ピルケース、ゼリータイプの嚥下補助剤は知られているところですが、赤ちゃん等の服薬に、シロップ剤では目盛線が斜めにつけられている目盛りキャップ、目盛り付きスポイトが便利です。口の中を傷つけないようスポイトの先が丸くなった形状のものもあります。幼児や嚥下困難な方等首を曲げづらい方へは、飲むときに鼻が当たらないよう上部をU字にカットしたデザインの目盛り付きコップなどもあります。また、点眼薬の容器を固定し、正確に点眼できる点眼自助具、肩や背中など手が届かない部分に軟膏を塗ったり湿布を貼る補助具、PTP包装シートから錠剤やカプセル剤を取り出す器具、ドリンク剤のキャップを開けやすくする器具なども販売されています。錠剤を半分にかットしたり、つぶす器具もありますが、お薬によっては苦みや湿気を含んで薬の効果が影響が出る場合もあります。これらの服薬支援グッズをご購入、使用する場合には是非薬剤師にご相談ください。


沖縄県薬剤師会
吉田典子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

ファーマシーニュースブレイク



軽い風邪症状「まず市販薬で対応を」

沖縄県薬、重症化リスク低い療養者向けメッセージ

沖縄県薬剤師会は、新型コロナウイルス感染症に罹患した重症化リスクが低い人を対象に、軽い風邪症状の場合はまず市販の解熱剤などで対応するようホームページで呼び掛けている。併せて、処方薬と同等の成分を含む市販薬のリストも公開している。

タイトルは、「コロナに罹患し自宅療養中の軽症の方へ」。発熱など比較的軽い風邪症状がある場合について、「すぐに病院を受診するのではなく、まずは市販の解熱剤などで対応」を勧めている。ただし、▽呼吸が速い・苦しい▽もうろうとしている▽高熱が3日続いている一場合などは、かかりつけ医への相談や救急外来を受診することを推奨。公開した市販薬のリストでは、小児も服用できるアセトアミノフェン単剤などを、販売名や対象年齢とともにまとめている。

重症化リスクが低い人向けのメッセージ。リスク因子についても、60歳以上や肥満症、喫煙者といった因子を列挙し周知を図っている。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

お知らせ

Facebook をご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

令和4年4月

- 4月○令和4年度第1回理事会準備委員会 県薬研修室
- 6水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 書面表決 宮城常務理事
- 6水○琉球血栓症セミナー WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 7木○Heart Attack Conference WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 9土○令和4年度第1回理事会 県薬研修室
- 11月○沖縄県保健医療部長・統括官表敬訪問 沖縄県保健医療部長室 前濱会長、川満副会長、大城次長
- 13水○令和3年沖縄県（委託・補助）事業実績報告監査 県薬研修室 大城次長、玉寄課長
- 13水○令和4年度第1回広報委員会 県薬研修室
- 14木○令和4年度九州厚生局沖縄事務所との連絡会議 県薬研修室 長嶺主任
- 14木○沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・沖縄県医師会医療事故調査支援委員会合同会議 沖縄県医師会 前濱会長、吉田理事、中尾滋久（薬事情報委員会）
- 17日○令和4年度第1回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 17日○令和4年度学校薬剤師部会新人研修会 県薬ホール
- 19火○令和4年度第1回管理者会議 県薬研修室 前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、大城次長、小泉試験検査センター長、玉寄課長、當山主任
- 19火○令和4年度第1回保健・福祉委員会 県薬研修室
- 20水○令和4年度第1回災害対策委員会 県薬研修室
- 21木○令和4年度第1回地域医療提供体制対策委員会 県薬研修室
- 23土○2022年度第1回病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会 WEB 佐藤常務理事
- 24日○令和4年度第2回地域医療提供体制対策小委員会（健康サポート薬局関係） 県薬ホール
- 25月○松野官房長官との新型コロナワクチンに関する意見交換会 沖縄県医師会 前濱会長、姫野理事、大城次長、長嶺主任
- 25月○令和4年度第1回九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 WEB 佐藤常務理事、兼城崇（薬学生実務実習受入委員会）
- 26火○令和4年度第1回学術研修委員会 県薬研修室
- 27水○令和4年度スポーツファーマシスト連絡会議 県薬会議室 吉田理事、笠原大吾、平良恭子、西平克子、小島進、喜久川有子、南雲翔太
- 27水○令和4年度第1回医療保険委員会 県薬研修室
- 28木○職業紹介責任者講習（オンライン講習） WEB 大城次長、事務局平安山

令和4年5月

- 9月○神村相談役との話し合い 県薬会長室 前濱会長、神村相談役、大城次長
- 10火○大塚製薬来訪（災害薬事取り組みについて） 県薬会議室 姫野理事、長嶺主任
- 10火○Expert Meeting in Okinawa WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 11水○令和3年度沖縄県薬業連合会会計監査 県薬研修室 大城次長、玉寄係長
- 11水○第67回沖縄県薬業連合会理事会・総会 県薬研修室 前濱会長、大城次長、玉寄係長
- 11水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 12木○ドローンによる医薬品配送に関する話し合い 県薬会議室 前濱会長、吉田理事、大城次長
- 12木○心疾患セミナー WEB 主催：バイエル薬品株式会社

- 13金 ○ 令和3年度下期監事監査 県薬研修室 前濱会長、川満副会長、江夏・山里両監事、大城次長、玉寄課長、上原主任、事務局城間
- 14土 ○ 第79回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(15迄) WEB 盛本常務理事、中曽根鳴香
- 14土 ○ 令和4年度第2回理事会 県薬研修室
- 15日 ○ 沖縄復帰五十周年記念式典 沖縄コンベンションセンター 前濱会長
- 17火 ○ 令和4年度第2回管理者会議 県薬研修室 前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、大城次長、小泉試験検査センター長代理、玉寄課長、當山主任
- 18水 ○ 第2回Nephrologist Expert Seminar WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 18水 ○ 2022年度宜野湾がねこ地域薬学ケア協働・連携懇話会 WEB 主催：国立病院機構沖縄病院
- 19木 ○ 沖縄県HIV/AIDS薬薬連携セミナー WEB 主催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
- 19木 ○ 令和4年度第3回地域医療提供体制対策委員会(薬薬連携関係) 県薬研修室
- 20金 ○ 令和4年度那覇市政功労者表彰式 パレット市民劇場 被受賞者：新垣秀子
- 20金 ○ がんサポーターブケアセミナー ダブルツリー byヒルトン那覇首里城及びWEB配信 主催：大鵬薬品工業株式会社
- 22日 ○ 令和4年度第2回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 23月 ○ 沖縄県コロナ対策本部来訪 県薬会長室 前濱会長、吉田典子理事、大城次長
- 23月 ○ 令和4年度第2期薬局実務実習オリエンテーション 県薬ホール 佐藤常務理事、兼城崇、宮本直樹
- 23月 ○ 令和4年度第1回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 24火 ○ 第2回COVID-19流行下における内視鏡診療 WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 24火 ○ 心不全診療研究会 WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 25水 ○ 日本薬剤師会令和4年度第1回都道府県会長協議会 日本薬剤師会 前濱会長
- 27金 ○ 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会 福岡県薬剤師会館 前濱会長
- 27金 ○ 令和4年度第1回九州山口各県薬代表者会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長、川満副会長
- 27金 ○ 九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長、川満副会長
- 30月 ○ パキロビッド薬物相互作用対策に関する研修会(薬事情報委員会) 県薬ホール

令和4年6月

- 2木 ○ 大塚製薬株式会社来訪 県薬会長室 前濱会長、吉田理事、大城次長
- 2木 ○ 沖縄県国民健康保険団体連合会来訪 県薬会長室 前濱会長、吉田理事、大城次長
- 3金 ○ 沖縄県薬剤師会職員向け研修会 県薬ホール
- 4土 ○ 沖縄県病院薬剤師会講演会 WEB 主催：武田薬品工業株式会社
- 5日 ○ 沖縄県女性薬剤師部会総会 県薬研修室
- 5日 ○ 沖縄県女性薬剤師部会特別講演会 県薬研修室
- 5日 ○ 令和4年度第3回学校薬剤師部会役員会 県薬ホール
- 6月 ○ 令和4年度第3回理事会準備委員会 県薬研修室
- 8水 ○ 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 8水 ○ 第1回 オピオイド地域連携会議 県薬研修室 西川常務理事、宮里伊一郎、南雲翔太、大城次長、稲嶺係長、事務局伊江
- 9木 ○ 個別指導・新規個別指導 八重山合同庁舎 幸地理事

- 10金 ○ 令和4年度第2回医療保険委員会 県薬研修室
- 11土 ○ 令和4年度第3回理事会 県薬研修室
- 12日 ○ **健康サポートのための多職種連携研修会【A研修】** 県薬ホール 西川常務理事、盛本常務理事、上原理事、宮本直樹、饒平名千春、松本圭五、稲嶺係長、事務局伊江
- 12日 ○ **健康サポートのための薬剤師の対応研修会【B研修】** 県薬ホール 西川常務理事、盛本常務理事、上原理事、宮本直樹、饒平名千春、松本圭五、稲嶺係長、事務局伊江
- 13月 ○ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会に係る説明会 県薬研修室 盛本常務理事、上里美矢子、草壁瑞恵、長嶺主任
- 16木 ○ 個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美
- 16木 ○ 心不全治療の新展開 WEB 主催：大塚製薬株式会社
- 19日 ○ **沖縄県薬剤師会第86回定時総会** 県薬ホール
- 21火 ○ 令和4年度第3回管理者会議 県薬研修室 前濱会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田薬事情報センター長、大城次長、小泉試験検査センター長代理、玉寄課長、當山主任
- 21火 ○ CKD up to date seminar in 南部 WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 23木 ○ **沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊** ひめゆりの塔 前濱会長、神村相談役、大城次長、玉寄係長
- 24金 ○ 日本薬剤師会決算委員会 日本薬剤師会 川満副会長
- 25土 ○ 日本薬剤師会第100回定時総会（26日迄） ホテルイースト21東京 前濱会長、川満副会長
- 25土 ○ 日本薬剤師会 懇親会 ホテルイースト21東京 前濱会長、川満副会長
- 25土 ○ 令和4年度第1回沖縄県認知症疾患医療連携協議会 WEB 中尾滋久
- 27月 ○ 令和4年度第4回理事会準備委員会 県薬研修室
- 28火 ○ 令和4年度第5回地域医療提供体制対策委員会-薬薬連携 県薬研修室
- 29水 ○ 大分県立大分上野丘高等学校教諭来訪 県薬研修室 前濱会長、佐藤常務理事、吉田薬事情報センター長、大城次長、事務局伊江
- 29水 ○ 第2回心不全地域医療連携セミナー in OKINAWA WEB 主催：アストラゼネカ株式
- 29水 ○ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会に係る打ち合わせ 県薬研修室 盛本常務理事、草壁瑞恵、長嶺主任
- 29水 ○ これからの不整脈診療を考える会 WEB 主催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 30木 ○ スズケン沖縄薬品来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 30木 ○ 沖縄県保健医療部衛生薬務課来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 30木 ○ 令和4年度国民体育大会第42回九州ブロック大会 夏季大会監督会議 沖縄県体協スポーツ会館 吉田典子理事

令和4年7月

- 2土 ○ 令和4年度第4回理事会 県薬研修室
- 3日 ○ **令和4年度新任・新人薬剤師研修会** 県薬研修室
- 4月 ○ 心疾患WEBセミナー WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 4月 ○ オピオイド地域連携会議 県薬研修室 西川常務理事、赤嶺彩子、喜友名朝史、宮里威一郎、南雲翔太、事務局：大城次長・稲嶺係長・伊江
- 6水 ○ 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部運営委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 7木 ○ 令和4年度沖縄県学校保健会理事会 県庁 前濱会長
- 7木 ○ 令和4年度学校保健及び学校安全表彰候補選考委員会 県庁 前濱会長

- 8金 ○不整脈診療スキルアップセミナー in中北部地区 WEB 主催：第一三共株式会社
- 8金 ○沖縄県肺高血圧症カンファレンス WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 10日 ○令和4年度第4回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 10日 ○第50回沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会総会 県薬ホール
- 10日 ○令和4年度学校薬剤師部会主催研修会 県薬ホール
- 11月 ○CKD Management Conference WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 12火 ○第5回臨時理事会準備委員会 県薬研修室
- 13水 ○令和4年度第2回広報委員会 県薬研修室
- 14木 ○昭和薬科大学との薬剤師確保に係る意見交換会 県薬研修室 前濱会長、大城次長
- 14木 ○吸入支援OkinaWa Advanceコース WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 15金 ○神経内科で遭遇する痛みについて考える会 WEB 主催：第一三共株式会社
- 15金 ○令和4年度第1回表彰選考諮問委員会 県薬会議室
- 17日 ○第80回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（18日迄） WEB 新垣智恵美、枡井亮太
- 19火 ○令和4年度第4回管理者会議 県薬研修室 前濱会長、城間・宮里・中曽根各会営薬局管理
薬剤師、吉田薬事情報センター長、小泉試験検査センター長代理、大城次長、玉寄課長、
當山主任
- 19火 ○Diabetes Seminar ～災害と糖尿病診療～ WEB 主催：田辺三菱製薬株式会社
- 19火 ○日本医療薬学会「地域薬学ケア専門薬剤師制度」における連携研修マッチングに係る全国
説明会 WEB 村田副会長、宮城常務理事、知名理事、事務局：稲嶺係長・伊江
- 20水 ○ジレンマに向き合う糖尿病診療セミナー in沖縄 WEB 主催：住友ファーマ株式会社
- 22金 ○無料職業紹介事業 定期指導 受検 沖縄労働局 事務局：大城次長・平安山
- 25月 ○令和4年度第2回九州山口各県代表者会議 WEB 前濱会長
- 25月 ○高齢者の糖尿病治療を考える WEB 主催：第一三共株式会社
- 26火 ○令和4年度第1回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合
第1会議室 佐藤常務理事
- 26火 ○令和4年度第1回会営薬局委員会小委員会 県薬会議室
- 27水 ○日本薬剤師会第2回都道府県会長協議会 WEB 前濱会長
- 27水 ○令和4年度第1回沖縄県保険者協議会 男女共同参画センター 上原理事
- 28木 ○令和4年度「健康づくり支援事業」第1回推進委員会 書面開催 盛本常務理事
- 28木 ○第1回スポーツ医・科学委員会 体協スポーツ会館 吉田理事、笠原大吾
- 28木 ○令和4年度第2回学術研修委員会 県薬研修室
- 29金 ○令和4年度沖縄県高齢者福祉対策推進協議会 八汐荘屋良ホール 佐藤常務理事
- 29金 ○腎臓と高血圧in OKINAWA 沖縄県医師会 主催：大塚製薬株式会社
- 29金 ○第42回薬タッチャーの会 WEB 主催：中外製薬株式会社/中部薬剤師会
- 31日 ○暮らしに役立つ薬膳療法講座（女性薬剤師部会主催） 県薬ホール

沖縄県薬剤師連盟

令和4年4月

- 6水○沖縄県薬剤師連盟地区代表総務連絡会議 県薬研修室
- 7木○沖縄市長選挙推薦団体実務者会議 沖縄商工会議所 大城次長
- 9土○衆議院議員コクバ幸之助自由民主党総裁特別補佐就任激励会 ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 知名組織強化担当
- 11月○古謝玄太参議院議員候補者へ推薦状と政策協定の交付 自由民主党沖縄県連合会 前濱会長、川満副会長、大城次長
- 11月○沖縄市長選挙総決起大会 沖縄市民会館 石川幹事長、知名組織強化担当、江夏監事、佐藤常任総務、坂本総務、大城次長、玉寄課長、稲嶺係長、長嶺主任、事務局平安山
- 13水○沖縄市長選挙に向け沖縄市内薬局周り 沖縄市内薬局 知名組織強化担当、長嶺主任、事務局平安山
- 17日○沖縄市長選挙出陣式 沖縄市胡屋十字路 江夏監事
- 23土○自由民主党沖縄県第四選挙区支部沖縄未来セミナー ロワジールホテル那覇 亀谷相談役
- 23土○沖縄市長選挙打上式 沖縄市胡屋十字路 江夏監事、佐藤常任総務、大城次長、玉寄課長、稲嶺係長、事務局平安山
- 27水○令和4年度第1回日本薬剤師連盟全国会長・幹事長拡大会議 ホテルイースト21 前濱会長、石川幹事長

令和4年5月

- 1日○第1回沖縄県知事選挙選考委員会 沖縄ハーバービューホテル 前濱会長
- 2月○茂木敏充自民党幹事長と各種団体・企業の選挙対策会議 沖縄ハーバービューホテル 前濱会長
- 令和4年度第2回理事会準備委員会 県薬研修室 大城次長、玉寄係長
- 7土○古謝玄太参議院選挙沖縄選挙区第一支部長へ日本薬剤師連盟・日本病院薬剤師連盟の推薦状交付 自由民主党沖縄県参議院選挙区第一支部 山本信夫日本薬剤師連盟会長、前濱会長、姫野副幹事長、大城次長
- 13金○令和3年度沖縄県薬剤師連盟監事監査 県薬研修室 江夏・山里両監事、前濱会長、川満副会長、大城次長、玉寄課長、上原主任、事務局城間
- 14土○第2回沖縄県知事選挙選考委員会 沖縄ハーバービューホテル 前濱会長
- 14土○岸田文雄内閣総理大臣との意見交換会 沖縄ハーバービューホテル 前濱会長、川満副会長、大城次長
- 21土○第3回県知事選挙選考委員会 ハーバービューホテル沖縄 前濱会長
- 23月○神谷まさゆき支援依頼のための薬局訪問 宜野湾市、西原町 知名組織強化担当、長嶺主任、事務局平安山
- 28土○沖縄県知事選挙候補予定者公開演説会並びに最終選考委員会 ハーバービューホテル沖縄 前濱会長
- 29日○参議院議員候補「古謝げんた」役員及び支部長・事務局長 全体選対会議 古謝げんた選挙対策本部事務所 前濱会長
- 31火○古謝げんた各種団体選挙対策会議 古謝げんた選挙対策本部事務所 大城次長

令和4年6月

- 1水○那覇市議会議員よしみね努議会報告会 テンブス館ホール 新垣紀子副幹事長、盛本常任総務
- 2木○令和4年度第1回沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室 大城次長
- 4土○第26回参議院選挙「古謝げんた」政策発表 ロワジールホテル那覇 前濱会長
- 11土○那覇市長選挙候補者選考委員会設立会議 沖縄ハーバービューホテル 前濱会長
- 11土○東海ブロック神谷まさゆき総決起大会 日本特殊陶業市民会館フォレストホール 石川幹事長、知名組織強化担当
- 12日○「古謝げんた」選対役員会議 古謝げんた選挙対策本部事務所 前濱会長
- 14火○古謝げんた各種団体選挙対策会議 古謝げんた選挙対策本部事務所 大城次長
- 15水○神谷まさゆき支援依頼のための薬局訪問 読谷村内 知名組織強化担当、長嶺主任
- 15水○神谷まさゆき・古謝げんた総決起大会 県薬ホール
- 18土○古謝げんた選挙事務所女性部幹部会 古謝げんた選挙事務所 前濱会長、吉田久子沖縄県薬剤師連盟顧問、与儀和子総務、草壁瑞恵（女性薬剤師部会長）
- 19日○沖縄県薬剤師連盟定時評議員会 県薬ホール
- 19日○茂木敏充幹事長を囲む車座集会(意見交換会) 古謝げんた選対事務所 前濱会長、与儀和子
- 21火○都道府県薬剤師連盟実務担当者会議 品川プリンス 石川幹事長、長嶺主任
- 22水○古謝げんた参議院候補出陣式 イオン那覇前道路広場 玉寄課長、事務局伊江、當山主任、金城みどり
- 24金○神谷まさゆき・古謝げんた街頭演説会および個人演説会 株式会社琉薬 前濱会長、石川幹事長、知名組織強化担当、古謝玄太、大城次長、稲嶺係長、事務局伊江
- 24金○神谷まさゆき支援依頼のための薬局訪問 株式会社薬正堂、那覇市内薬局 知名組織強化担当、玉寄課長、長嶺主任
- 24金○香川県薬剤師連盟へ標旗リレー 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 24金○「古謝げんた」那覇街頭総決起大会 パレットくもじ前 中村副会長、知名組織強化担当、吉田久子顧問、大城次長、玉寄課長、稲嶺係長、長嶺主任、事務局伊江
- 25土○古謝げんた必勝！女性部大会 古謝げんた選挙事務所 吉田久子顧問、与儀和子総務、太田節子
- 27月○世耕弘成大臣来訪（古謝玄太候補、宮崎政久衆議院議員同席） 株式会社ダイコー沖縄 前濱会長、大城次長
- 29水○神谷まさゆき・古謝げんた個人演説会 株式会社スズケン沖縄薬品 前濱会長、石川幹事長、古謝亜希子夫人（古謝玄太奥様）、奥間亮那覇市議会議員、大城次長、伊江

令和4年7月

- 1金○古謝げんた「岸田総裁来たる」自民党街頭演説会 パレットくもじ前広場 中村副会長、姫野副幹事長、吉田久子顧問、渡嘉敷見、事務局：大城次長・玉寄課長・稲嶺係長・長嶺主任・平安山・伊江
- 1金○「古謝げんた」支援拡大会議 古謝げんた選挙対策本部 前濱会長、大城次長
- 4月○神谷まさゆき・古謝げんた個人演説会 沖縄東邦株式会社、株式会社アトル沖縄営業部 前濱会長、本田顕子参議院議員、古謝玄太氏奥様、石川幹事長、知名組織強化担当、大城次長、玉寄課長

- 4月 ○神谷まさゆき支援依頼のための薬局訪問 那覇・浦添市内 本田顕子参議院議員、石川幹
 事長、姫野副幹事長、長嶺主任
- 6水 ○古謝げんた選対本部での電話作戦 古謝げんた選対本部 事務局：稲嶺係長・長嶺主任・
 平安山
- 6水 ○古謝げんた選対会議（那覇市対策会議） 古謝げんた選対本部 新垣紀子副幹事長、大城
 次長
- 9土 ○古謝げんた参議院選挙期日前打ち上げ式 沖縄県立博物館・美術館前交差点 前濱会長、
 亀谷相談役、中村副会長、川満副会長、石川幹事長、知名組織強化担当、姫野副幹事長、
 新垣紀子副幹事長、鈴鹿総務、阿部理事、吉田理事、姫野さやか、宮本直樹、小泉試験
 検査センター長代理、事務局：大城次長・玉寄課長・稲嶺係長・長嶺主任・上原主任・城間・
 平安山・伊江
- 15金 ○島尻安伊子衆議院議員来訪 県薬会長室 前濱会長、大城次長
- 21木 ○沖縄県薬剤師連盟令和4年度第2回総務会 県薬研修室

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧ください！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

川武 政子 先生（享年83歳） 令和4年5月30日ご逝去

新垣 順子 先生（享年74歳） 令和4年6月28日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
 （香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・城間）：098-963-8930

お知らせ



国が実施する事業復活支援金を受給した皆さま

沖縄県では、おきなわ事業者復活支援金として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆さまへ

法人事業者最大 **50万円**

個人事業者最大 **10万円** を給付します

【申請期間】

2022年

5月30日月

8月31日水

＜対象者＞ 次のすべての要件を満たす事業者

① 国が実施する2021年11月から2022年3月までを対象とした事業復活支援金を受給していること。

※国の事業復活支援金を上限額受給していない事業者は対象外となります。

② 沖縄県内に住所を有する個人事業者または法人事業者であること。

③ 2021年11月から2022年3月までの間に発出された営業時間短縮等の要請に基づく

第10期 沖縄県感染拡大防止対策協力金(うちなーんちゅ応援プロジェクト)を

受給していないこと。



申請方法など詳しくは次頁をご覧ください

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

沖縄県実施

おきなわ 事業者復活支援金

新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年11月から2022年3月までのいずれかの月の売上が、2018年11月から2021年3月までの同月比で30%以上または50%以上減少し、国が実施する「事業者復活支援金」を上限額受給した県内事業者（沖縄県内に住所を有する個人事業者または法人事業者）を対象に、売上高減少率、事業形態、売上規模に応じて県独自の支援金を給付します。

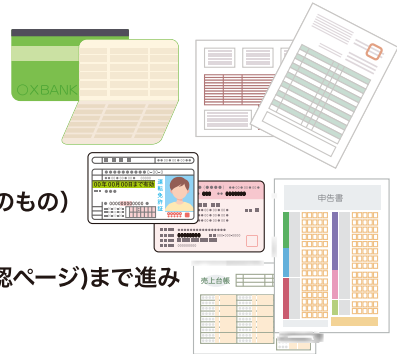


【給付上限額】

売上高減少率	個人	法人(基準月をその期間内に含む事業年度の年間売上高)		
		(1億円以下)	(1億円超～5億円以下)	(5億円超)
▲50%以上	10万円	20万円	30万円	50万円
▲30%以上～50%未満	6万円	12万円	18万円	30万円

電子申請での添付書類

- ①「事業者復活支援金の振込みのお知らせ」通知の表面及び中面の写し
- ②口座の通帳の表紙及び表紙うら面の写し
- ③本人確認書類の写し(有効期限内のもの)
★個人事業者の場合:身分証明書の写し(住所が沖縄県内のもの)
★法人事業者の場合:履歴事項全部証明書(本店所在地が沖縄県内のもの)
- ④国の事業者復活支援金の申請フォーム画面(申請済)の写し等
(マイページ→詳細ボタン→申請内容を閲覧する→最後のページ(確認ページ)まで進みWebキャプチャ、スクリーンショット又はPDF化して添付)



電子申請のみの受付となります
詳細・電子申請はコチラ→

<https://fukkatsu.okinawa>


＜お問い合わせ先＞

おきなわ事業者復活支援金事務局コールセンター

電話番号: 098-953-8294

Eメール: info@fukkatsu.okinawa

運営期間: 2022年5月24日(火)～2022年9月予定
9:00～17:00(月～金 平日のみ)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

ついにNAHAマラソンが帰ってきます！！
先日7/8（金）【那覇の日】にNAHAマラソンが3年ぶりに開催されることが発表された。大会は12/4（日）、例年より参加人数を少なくし感染対策も十分に講じた上で実施される。しかし、この発表のわずか4日後の7/12（火）、県内の新型コロナ新規陽性者数が過去最高の3436人を記録し、さらにその2日後の7/14（木）には3565人と過去最高を更新した。今後の感染拡大や県・国の対策方針がどうなるかわからないが、新型コロナ感染症が世に出始めて早2年半、その特性・特徴や毒性、対策方法など学んできたことはたくさんあるはず。その経験をフルに生かしながら医療のひっ迫を防ぎ、日常生活を取り戻していく時期に入っていると思っている。なんとかNAHAマラソンは開催までこぎつけて欲しいが、まずは3万人から2万人に縮小された参加枠に漏れないことを祈る。
（ハンバーグ）

8月に健康診断が控えているので、6月からダイエットを始めました。今回はその経過について書いていきます。自分は食べることが好きで、ここ数ヶ月暴食を続けていた結果、体重が過去最高記録を叩き出していました。友人や職場の方からも「太ったんじゃない？」と言われ、さすがに体重を落とさないといまいと思ったので、ダイエットを始めました。まずは、自分が摂取したカロリーを記録することとジムに行って運動することから始めました。カロリー記録をしてみると、日頃自分が食べていたものがいかにハイカロリーだったか気づくことができました。食事制限と運動の効果もあってか1ヶ月で約6kg落とすことができました。今までは体重計から目を背けていたが、体重も徐々に落ちているので今では体重計に乗ることが日課になっています。健診まであと1ヶ月あるので、ここからさらに4kg減量していきたいと思います。（ちゃげ）



沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報

第313号 令和4年8月1日発行

◇次号は、令和4年10月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・運天芳生・宮本直樹
 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
 八重山地区通信員／安村慶子 事務局／大城喜仁

印刷：株式会社 東洋企画印刷

誌上ギャラリー

(会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

